



3つのひかり 未来をつくる

広島市立大学  
Hiroshima City University

大学案内2020

国際学部  
International Studies

情報科学部  
Information Sciences

芸術学部  
Arts







TALK TERIA TALK TERIA



Enjoy  
Eat & Talk!





## Contents

p.011 建学の基本理念  
p.012 学長メッセージ  
p.013 学部構成図  
p.015 教育の特色  
p.017 全学共通系科目  
p.019 外国語系科目／資格取得関係科目  
p.020 国際交流  
p.021 留学体験記／Voices(留学生)

### 国際学部

p.024

p.025 学部長メッセージ  
p.026 求める人物像・教育方針  
p.027 5つのプログラム  
p.029 国際学部 年次チャート  
p.030 ■国際政治・平和プログラム  
p.031 ■公共政策・NPOプログラム  
p.032 ■多文化共生プログラム  
p.033 ■言語・コミュニケーションプログラム  
p.034 ■国際ビジネスプログラム  
p.035 国際理解・少人数教育の重視/  
HIROSHIMA and PEACE  
p.037 CALL英語集中  
p.038 ユニークな研究紹介  
p.039 海外研修  
p.041 Voices(在学生)

### 情報科学部

p.044

p.045 学部長メッセージ  
p.046 求める人物像・教育方針  
p.047 学科・コース  
p.049 情報工学科 年次チャート  
p.050 ■コンピュータコース  
p.051 ■ネットワークコース  
p.052 ■コミュニケーション基盤コース  
p.053 知能工学科 年次チャート  
p.054 ■知能ソフトウェアコース  
p.055 ■知能メディアコース  
p.056 ■知能サイエンスコース  
p.057 システム工学科 年次チャート  
p.058 ■人間・ロボット共生コース  
p.059 ■インタフェースデザインコース  
p.060 医用情報科学科 年次チャート  
p.061 ■医用情報科学科  
p.063 ユニークな研究紹介  
p.065 Voices(在学生)

### 芸術学部

p.068

p.069 学部長メッセージ  
p.070 求める人物像・教育方針  
p.071 学科／専攻・分野  
p.073 美術学科 年次チャート  
p.074 ■日本画専攻  
p.075 ■油絵専攻  
p.076 ■彫刻専攻  
p.077 デザイン工芸学科 年次チャート  
p.078 ■現代表現  
p.079 ■視覚造形  
p.080 ■立体造形  
p.081 ■映像メディア造形  
p.082 ■金属造形  
p.083 ■染織造形  
p.084 ■漆造形  
p.085 ユニークな研究紹介  
p.087 創作工房・実習アトリエ  
p.089 Voices(在学生)

### 大学院・ 広島平和研究所

p.092

p.094 大学院の目的と特色  
p.095 全研究科共通科目群  
p.096 国際学研究科  
p.097 情報科学研究科  
p.098 芸術学研究科  
p.099 平和学研究科  
p.101 広島平和研究所

### 附属施設

p.104

p.105 附属施設  
p.109 地域に貢献する広島市立大学

### キャンパスライフ

p.116

p.117 学生座談会  
p.121 特色のある課外教育プログラム  
p.123 探そう「私」の広島三ツ星  
p.129 キャンパスカレンダー  
p.131 大学生活サポート  
p.133 クラブ&サークル  
p.137 キャンパスマップ

### 就 職

p.140

p.141 就職  
p.142 就職活動体験談  
p.143 キャリア形成・就職サポート  
p.148 就職データ  
p.149 就職先・進路 ■国際学部  
p.151 就職先・進路 ■情報科学部  
p.153 就職先・進路 ■芸術学部  
p.155 ウェブサイト紹介  
p.157 入試情報  
p.159 大学基礎データ  
p.161 アクセスマップ



## 科学と芸術を軸に 世界平和と地域に貢献する 国際的な大学

広島市立大学が建学の基本理念として掲げる「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という言葉には、科学・文化の発展と世界平和を希求する広島市の意志と、公立大学としての地域貢献への期待が込められています。

そうした本学の使命は、学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究し、次代を担う感性と創造力の豊かな人材を養成するとともに、優れた教育研究の成果を地域に還元し、もって文化の向上と社会の発展に寄与することにあります。

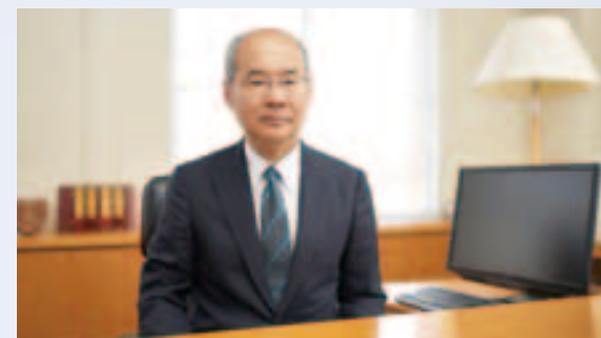
国際平和文化都市を都市像とする広島市に設置された本学は、国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部、そして大学院として、国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科、平和学研究科を有する総合大学です。

また、世界平和と人類の幸福を実現するための研究や提言を行うことを目的として、広島平和研究所を設置しています。

広島市立大学は、特色のある教育研究活動を通じて、世界と地域が求める時代の要請に応え、本学が目標とする「国際平和文化都市の『知』の拠点—地域と共生し、市民の誇りとなる大学—」を築き上げていきます。

## 広島市立大学

Hiroshima City University



### 「国際平和文化都市」広島から世界へ

広島市立大学長 若林 真一

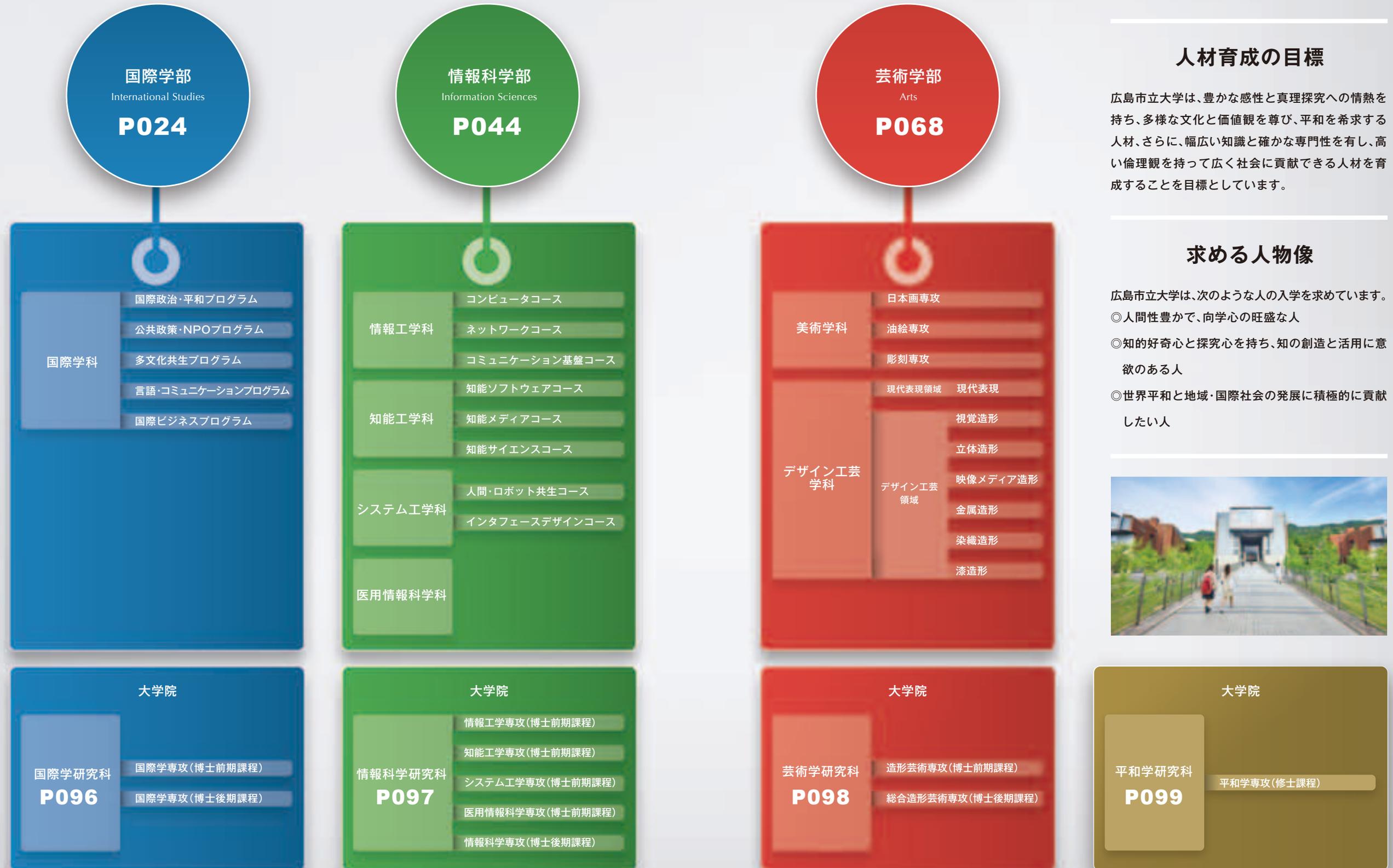
広島市立大学は大学院生を含めて学生数が約2,000名、3学部から成る比較的小規模な大学ですが、文系の国際学部、理系の情報科学部、さらに芸術学部という特色ある学部構成を持つ総合大学であり、約200名の専任教員による少人数教育を実践しています。

1994年の建学以来、2019年度には創立25周年を迎え、「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」の建学の基本理念を具現化する基盤はしっかりと形作られ、「国際平和文化都市」広島市の知の拠点として地域に根付いてきました。

3学部の専門分野の教育研究に加えて、「いちだい知のトライアスロン」事業をはじめとするユニークな全学共通教育(教養教育)、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」にも選定された地域貢献人材育成、海外学術交流協定大学等への留学や2018年に新設した国際学生寮「さくら」を活用したグローバル人材育成は本学の教育を特色づけるものです。また、人類史上最初の被爆都市である広島市が設立した公立大学として、2019年4月には大学院に平和学研究科を設置し、平和に関する教育研究にも全力で取り組んでいます。

国際平和文化都市で、国際学、情報科学、芸術学、そして平和学を学び、広島から世界に羽ばたいてみませんか。広島市立大学は、勉学とともに、課外活動、留学、地域貢献、あるいは芸術活動などに積極的に取り組む学生を全力で支援します。未来を目指してがんばる皆さんの入学を心からお待ちしております。

## 学部構成図



01

徹底した少人数教育

1:2

本学では、1学年の学部学生約430名に対し、約200名の専任教員を配置しています。教員1名当たりの1学年の学生数は約2.2名です。このような恵まれた教育体制を特徴とし、演習科目や多くの授業で少人数教育を実践しています。少人数教育で教員と学生相互の緊密な人間関係を築き、学習面のみならず、課外活動や進路選択など学生生活全般にわたってきめ細かい指導を行っています。

02

3学部合同基礎演習

「3学部合同基礎演習」は1年次前期に開講される全学必修科目です。3学部の学生10数名が学部を超えて少人数クラスを作り、与えられた課題をグループワークで解決するなど、学部の専門性を超えた多様な知識や価値観を身に付けます。また、「知のトライアスロン」スタートアップコースを授業に取り入れ、読書、映画鑑賞、美術鑑賞を通して幅広い教養を身に付けると同時に、レポート作成やプレゼンテーション、ディスカッションによりコミュニケーション能力を養います。学部の枠を超えて少人数のゼミを体験することで、大学生活に必要な能動的な「学び」の姿勢が身に付きます。

03

キャリア教育の推進

本学では2014年4月にキャリアセンターを設置し、学生の卒業後の進路や職業選択に向けたキャリア形成支援を全学的に推進しています。教育課程には、全学共通系科目の一区分として「キャリア形成・実践科目」を設けています。1年生を主な対象とする授業科目「キャリアデザイン」では、大学入学後の早い段階で学生自身が自らの大学卒業後の将来をイメージしながら、その実現に向けて大学4年間の学習や生活の目標設定を行うことをサポートします。また、2年生・3年生を対象とする授業科目「キャリアサポートベーシック」では、キャリアデザインの実現のために必要な知識・スキルを学び、具体的な実践力を養っていきます。さらに、企業等における就業体験や小・中学校等における学校支援活動、芸術分野の各種プロジェクトへの参画といった学外における活動の成果を単位認定する仕組みを、各学部の専門教育課程に位置付けています。



04

いちだい知のトライアスロン

「いちだい知のトライアスロン」は、「知る・考える・伝える」能力の向上と豊かで幅広い教養を培うことを目的として、3学部の特徴を生かし、質とともに量を重視した読書、映画鑑賞、美術鑑賞を大学全体で推進する教育プログラムです。このプログラムでは、大学で開発した専用のウェブシステムを使い教職員・学生が読んだ本や鑑賞した作品の推薦コメントをオンラインで提出し、感想を共有します。なお、毎年度、優秀な感想を提出した学生を「コメント大賞」受賞者として表彰しています。そして、附属図書館、語学センター、芸術資料館などの学内施設では、学生がより多くの作品に挑戦できる環境を整えています。また、広島市内の美術館や広島市映像文化ライブラリー等とも連携し、これらの学外施設を会場に本学教員による講演やギャラリートーク、映画上映会等を組み合わせた「出張講座」を年に数回開催しています。スタートアップコースから次第にレベルを上げていき、最終段階のトライアスロンコースを完走した学生は「知の鉄人」として表彰されます。



「知の鉄人」表彰式

05

グローバル教育の推進

本学はグローバル人材育成のための科目が充実しています。全学共通の外国語系科目では、第1外国語の英語に加えて、第2外国語としてドイツ語、フランス語、中国語をはじめとして多様な言語がどの学部の学生も受講できるようになっています。17校の海外学術交流協定大学があり、半年から1年間の学生派遣、留学生の受け入れを積極的に行っています。また、アメリカ、フランス、ロシア、中国の協定校への短期語学研修があり、研修学生には単位が与えられます。その他、海外学術交流協定大学への派遣留学助成など、次代を担うリーダー人材育成のためのグローバル教育の推進に努めています。



ハノーバー専科大学の教員Ute Heuer先生のワークショップ

# 全学共通系科目

## 学部を超えた共通科目の学修で、知識・感性・人間性を磨く

本学では、学部の専門的な科目に加えて、「総合共通科目」「一般情報処理科目」「保健体育科目」の3分野で構成された全学共通系科目を設置。各専門分野をはじめ、人間と文化、社会、科学との関わりや創造と表現、コンピュータリテラシーなどを学び、社会人に求められる理解力・判断力・表現力を総合的に身に付けていきます。

区分		科目	
全学共通系科目	総合共通科目	総合科目	地球環境論 <b>創作と人間</b> メディアと社会 <b>情報と企業</b> 地域再生論入門 心の健康・身体の健康 情報社会論 NPO論
		広島科目	広島の産業と技術 <b>広島の観光学</b> <b>ひろしま論</b> 地域課題演習
		平和科目	<b>平和と人権A(ヒロシマと国際平和)</b> 平和インターンシップ 平和と人権B(現代世界と人権) 国際化時代の平和 広島からの平和学:実践の方法
		共通科目A (人間と社会)	哲学A・B 歴史学 法学(日本国憲法) 社会学 経営学 世界の宗教 現代史A・B 政治学 文化人類学 心理学 世界の文学 経済学 自然人類学
		共通科目B (数理と自然)	数学概論 基礎物理学 基礎化学 基礎生化学 物理・化学実験 物理学概論 化学概論 生物学概論 情報科学概論
		共通科目C (芸術)	デッサン概論 日本画入門 プレゼンテーション概論 油絵入門 立体造形概論 デザイン工芸概論 コンピュータ・アート
		基礎演習	3学部合同基礎演習
		キャリア形成・実践科目	キャリアデザインi・ii キャリアサポートベーシックA・B 国際交流演習I・II・III・IV
		一般情報処理科目	情報活用基礎
		保健体育科目	健康科学 体育実技I・II

※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

### ユニークな科目

#### 創作と人間

芸術学部を有する本学の特徴を最大限に生かし、全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養い、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を造る喜びを伝える本学ならではの科目です。絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間的な創作について考察します。

#### 情報と企業

ICT(情報通信技術)を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ingことを目的としています。国内外のさまざまな企業の第一線で活躍中の講師を迎え、ICTを中心とした各企業での取り組みについて講義をします。また、この科目は、遠隔講義環境を利用して、慶應義塾大学、同志社大学、広島市立大学の3拠点をネットワークで結び、本学から参加できるようにしています。両大学における講義を聴講するだけでなく、質疑応答等も含め双方向の対話が可能です。

#### 広島の観光学

広島市を中心とする広域圏が有する自然、歴史・文化、食などの地域資源の魅力と可能性について学び、地域資源の付加価値を高める取り組み、地域での創意工夫と観光による地域活性化についての理解を深めていきます。観光は地域を変革し、活性化するパワーを持っています。人々はなぜ観光をするのか、観光の要素、観光を支える仕組みの基礎知識を修得しながら、地域活性化における観光の役割と地域での創意工夫について学んでいます。

#### ひろしま論

3学部1研究所で構成する本学の特色を生かした科目です。広島をキーワードに幅広いテーマを設定し、各テーマに造詣の深い講師がオムニバス形式で授業を行います。さまざまな観点から広島の歴史、文化、経済、産業、行政などをひもとくことでその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と発展を思考できる幅広い見識を持った人材を育てることを目的としています。また、国際平和文化都市・広島の原因である被爆体験や広島の平和の取り組みについても学びます。

#### 平和と人権A (ヒロシマと国際平和)

人間が生まれながらに持つ権利(人権)と個人が備え持つ固有の価値(尊厳)が保障され、守られる状態を広い意味での「平和」と捉えるなら、人権や人間の尊厳が傷つけられ、侵される最も顕著な例は戦争です。講義では、広島の戦争経験のうち、今から約75年前に投下された原子爆弾による被爆体験に焦点を当てます。その上で、先の大戦の経緯や原子爆弾の投下過程と被害の実相、現代世界における核兵器の存在状況や意味を考えながら、平和を実現するための課題について探究します。広島平和研究所や国際学部・情報科学部・芸術学部の教員、さらには学外の有識者や被爆者などを講師として迎え、講義では映像や図像等も積極的に活用します。

## 外国語系科目

### 地球社会に生きる国際人に必要な語学力の習得

最新の設備や機器を備えた語学センターや外国人教員による直接の指導、多彩な教材など、ハード・ソフトの両面から外国語の学習環境を提供。読むこと、書くこと、話すこと、聞くこと、考えることという総合的で実践的な語学力を身に付け、21世紀の国際人として活躍できる力を養います。

● 外国語系科目	英語応用演習 I・II・III・IV	フランス語 I・II・III・IV	アラビア語 I・II・III・IV	スペイン語 I・II・III・IV
CALL英語集中 I・II・III・IV	科学英語演習 I・II	中国語 I・II・III・IV	ロシア語 I・II・III・IV	日本語 I・II・III・IV
eラーニング英語 I・II・III・IV	ドイツ語 I・II・III・IV	ハンガール I・II・III・IV	イタリア語 I・II・III・IV	※学部等により履修できない科目もあります。

### ● 徹底した訓練を行う「CALL英語集中」

本学では、コンピュータ利用による英語訓練授業「CALL英語集中」により、英語力の養成を図っています。この授業では、語学センターや情報処理センターのコンピュータを使って、1年次は英語のリスニング、リーディング、文法を集中的に学習。2年次はそれらに加えて、スピーキングやライティングを学習し、英語表現を徹底的に身に付けます。授業は、指定された約2カ月間に自分の都合やペースに合わせて学習を行うもので、学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験。国際社会に不可欠な英語力を確実に高めていきます。

### ● 能力別少人数の「英語応用演習」

「CALL英語集中」とは別に、1クラス10～15名という少人数授業「英語応用演習」を開設。ここではスピーキングとライティングの技能を集中して鍛えるための授業を行います。このクラスは能力別の編成を行い、各クラスのレベルに適したシラバスとテキストを使って、きめ細かな指導を行います。

## 資格取得関係科目

本学では、教育職員免許状受領資格や学芸員資格を取得するための科目を開設しています。

### 取得可能な資格

国際学部	情報科学部	芸術学部
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校教諭一種免許状(英語)</li> <li>● 高等学校教諭一種免許状(英語)</li> <li>● 博物館、美術館などの学芸員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高等学校教諭一種免許状(数学) ※医用情報科学科を除く</li> <li>● 高等学校教諭一種免許状(情報)</li> <li>● 博物館、美術館などの学芸員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中学校教諭一種免許状(美術)</li> <li>● 高等学校教諭一種免許状(美術)</li> <li>● 博物館、美術館などの学芸員</li> <li>● 高等学校教諭一種免許状(工芸) ※デザイン工芸学科に限る</li> </ul>

資格取得関係科目は以下のとおりです。

区分	科目				
教育職員免許状受領資格取得関係科目 (教育の基礎的理解に関する科目等)	教師論 教育原理 教育心理学 特別支援教育論 教育経営学 教育課程論	教科教育法(英語)AI・AII・BI・BII 教科教育法(数学)I・II 教科教育法(情報)I・II 教科教育法(美術)AI・AII・BI・BII 教科教育法(工芸)I・II	道德教育論 総合的な学習の時間論 特別活動論 教育方法・技術論 生徒・進路指導論	教育相談論 教育実習I・II 教職実践演習(中等)A・B・C 学校インターンシップ 教職特講	
学芸員資格取得関係科目	生涯学習概論 博物館概論	博物館経営論 博物館資料論	博物館資料保存論 博物館展示論	博物館教育論 博物館情報・メディア論	博物館実習

## 国際交流

広島市立大学は、広島ならではのメッセージを世界に発信できる特別な都市にあることから、建学の基本理念としても、国際的な大学となることを強く期待されています。大学の国際化をより一層強力に推進するため、国際交流推進センターを設置し、学生の海外留学派遣および留学生受け入れのための企画・実施等を全学で一元化し運営する体制を整えています。今後も、各種国際交流プログラムをさらに

### ● 海外からの留学生の積極的な受け入れ

本学では建学の理念である国際的な大学を実現するため、外国人留学生入試の実施や海外大学との学術交流協定に基づく交換留学の実施などにより、留学生の受け入れに積極的に取り組んでいます。2018年度の実績では、受け入れ留学生数は102名、うち海外学術交流協定大学からの交換留

充実させるなど、学生の語学や専門知識・技能の習得はもとより、異文化環境の中で活躍できるグローバル人材の輩出に取り組んでいきます。加えて、2018年4月に留学生と日本人学生が共同生活を行う「国際学生寮」が開寮しました。寮生活を通じ、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力に優れたタフな人材を育成していきます。

学生24名で、公立大学の中でも国際交流が盛んな大学です。本学で受け入れた留学生の学習や日本での生活がスムーズに進むよう、日本語や日本の事情を学ぶ科目を充実させるとともに、奨学金制度を紹介するなど、さまざまなサポートを行っています。

### ● 海外学術交流協定大学等への学生派遣

現在、

- ハノーバー専科大学(ドイツ)
- オルレアン大学(フランス)
- マレーシア科学大学(マレーシア)
- 上海大学(中国)
- アラヌス大学(ドイツ)
- レンヌ第2大学(フランス)
- 国連平和大学(コスタリカ)
- 西京大学校(韓国)
- ベルリン・バイセンゼー芸術大学(ドイツ)
- ハワイ大学マノア校(アメリカ)
- 西南大学(中国)
- 梨花女子大学校(韓国)
- ヴァインガルテン教育大学(ドイツ)
- エミリー・カー美術デザイン大学(カナダ)
- 国際関係学院(中国)
- 慶北国立大学校人文大学(韓国)
- ベルリン・フンボルト大学(ドイツ)
- コンコルディア大学(カナダ)

等と協定を結び、交流・学生交換留学を推進しています。派遣留学は、本学に在籍したまま、半年あるいは1年間留学するため、派遣先の大学で修得した単位は、一定の条件のもとで

本学の単位に認定されます。

2018年度は24名の学生が派遣留学をしました。

### ● 短期語学留学プログラム

語学力を向上させるとともに、主体性、積極性、協調性などを培い、長期留学の促進を図ることを狙いとして、2週間から4週間程度、海外の大学での語学集中講義や歴史・文化研修などからなる研修プログラムを実施しています。2018年度は、ハワイ

大学マノア校(アメリカ)、オルレアン大学(フランス)、モスクワ国立大学(ロシア)、西南大学(中国)での研修を実施し、合計37名が参加しました。なお、この研修への参加を単位認定する仕組みや、大学から助成金を支給する制度を設けています。

### ● 海外交流プログラム

海外の学生との交流やホームステイ等を通じて、国際交流の楽しさを実感するとともに、短期語学研修プログラムや長期派遣留学への参加意欲を高めること等を狙いとして、1週間から10日間程度、海外に赴くプログラムを実施しています。

2018年度は、シンガポール、アメリカ(サンフランシスコ)、マレーシア(ペナン)での交流プログラムを実施し、合計22名が参加しました。このプログラムにも、大学から助成金を支給する制度を設けています。

## 留学体験記



### 西村 そあら

国際学部国際学科3年

2018年8月から15日間、ロシア・モスクワ大学語学留学に参加

私は昨年の夏季休暇中にモスクワ大学へ2週間の短期語学留学に行きました。現地での生活は毎日が新鮮で充実したものでした。ロシア語の授業では生徒数が6人の少人数授業で基本的にロシア語のみで授業を受けました。授業を受ける中で、次第に理解できる事が増えていき、日々語学能力の向上を実感できました。授業後や休日にはモスクワを観光しました。教会や赤の広場、モスクワシティー、モスクワ川のクルーズなどたくさんの観光地を巡って、街をまるごと楽しむことができました。ロシア人で日本語を話すことができるユリアさんという方や、授業と一緒に受けた韓国人の女性たちとの出会いはかけがえのない思い出です。帰国してからは、ロシアを今までよりも身近に感じるようになり、日本でのロシア語の授業への意欲が高まりました。そして語学への関心だけでなく文化や食、歴史に対する興味も強くなり、自分の視野を広げることができたと感じます。



左端が西村さん

### 赤星 利樹

芸術学部美術学科油絵専攻4年

2017年9月から9日間、マレーシア交流プログラムに参加

2019年2月から半年間、ドイツ・ハノーバー専科大学に派遣留学



大学2年生の時に「マレーシア交流プログラム」に参加し、それをきっかけに留学を決意しました。参加の理由は、外国を訪れたことが一度もなく、異文化に興味があり、英語力も試してみたかったからです。「アジア」を体験するのに、マレーシアは想像を超えて素晴らしい国です。マレーシアはイスラム系、中華系、インド系の人々が暮らす多民族社会です。さまざまな文化が融和した町並みで、文化の多様性を感じられます。またマレーシアではマレー語と英語が公用語となっていて、現地の学生と英語で積極的に会話することができました。マレーシア科学大学の学生はとてもフレンドリーで、島中を連れて回ってくれて、かけがえのない思い出を山ほど作りました。このプログラムで強烈な体験を得た僕は、今度は、同じく多文化社会であり、日本からより遠い場所のドイツに留学することを決めました。まだ海外経験のない人、マレーシアを知らない人に、マレーシア留学を強くオススメします！



中央が岩田さん

### 岩田 千佳

情報科学部システム工学科4年

2018年2月から1年間、ドイツ・ハノーバー専科大学に派遣留学

私はドイツのハノーバー専科大学に1年間交換留学生として在籍していました。北ドイツにあるハノーバーは、ヨーロッパの中でもかなり治安が良く、緑が豊かで過ごしやすい街です。また広島との姉妹・友好都市であり、広島との交流も多く、老若男女問わずさまざまな人と出会うことが出来ました。たとえば、広島ハノーバー友好会という集まりがあり、春には桜祭り、8月6日には灯籠流しを現地の方々と一緒に行いました。さらに、ドイツで有名なオクトーバーフェスト、クリスマスマーケットなどに、現地の友達と一緒に訪れ、素敵な思い出を作ることが出来ました。大学では主に、留学生のために開講されている情報と経済の授業を英語で受けました。このような出会いを通して、日本とは異なる文化やさまざまな価値観を受け入れる事が出来るようになりました。いま、留学をしたいけど、不安で一步踏み出せない、という人がいたら、ぜひとも新しい世界を体験して欲しいです！



## Voices (留学生)



### ビクター・ドーク(ガーナ)

国際学研究科(博士後期課程)国際学専攻1年

I am grateful to God for being here in Hiroshima and Hiroshima City University (HCU), which is an act of divine favor. I wished to be in a calm and extraordinary city, and then HCU offered me this great opportunity to pursue a doctoral program with the Graduate School of International Studies.

Great assistance is being offered to me by staff members of the International Exchange Center (IEC), and knowledgeable and professional academic advisors who give me lectures in my study area. My language skills and academic life is progressing steadily thanks to the facilities and lecturers in the university.

I love Japanese food (anago zushi and yakiniku are my favorite) and Japanese culture of discipline very much. I have made good friends (Japanese and other nationals) in and out of the university. My student life in Sakura dormitory is wonderful as we co-exist and learn about cultures and personalities to broaden our scope on harmonious living.

The knowledge and experience so far is shaping me for the impact I want to make on Hiroshima and the world at large. I believe in what Napoleon Hill said: "Patience, persistence and perspiration make an unbeatable combination for success."



### 成 亦兵(中国)

情報科学研究科(博士後期課程)情報科学専攻3年

「世界最先端の技術を見たい」——このような気持ちから中国での仕事を辞めて日本に留学することになりました。私は友人の強い勧めにより、広島市立大学大学院を私の新たな人生の出発点に選びました。大学の先生方また事務の方々のおかげにより、広島での生活に早く慣れることができました。サウンドデザイン研究室で初めて骨導音と体内伝導音に触れ、この技術を用いて新たな技術や発展が期待できると思いました。2016年、中国・ハルビンで開催されたICICIC2016の国際学会に参加し、研究成果の発表を行いました。大学院博士前期課程修了後、迷わずこの方向で私の研究を続けることを決断し、大学院博士後期課程でより多くの経験と学びを得ることができました。昨年、本研究室と広島県下の音響関連研究室が中心となり、振動・音響分野において世界最大規模の国際会議であるICSV25を開催し、世界50カ国以上の国々から800人を超える参加者が集いました。この会議への発表者と学生ボランティアとしての参加を通じて、多くの学びと経験を得ることができました。博士後期課程修了後には中国に戻り、広島市立大学で得た多くの見識と経験を中国での仕事や教育に還元できるように努力したいと思います。



右から2番目が成さん

### マリア・オルキナ(ドイツ)

芸術学部 特別聴講生

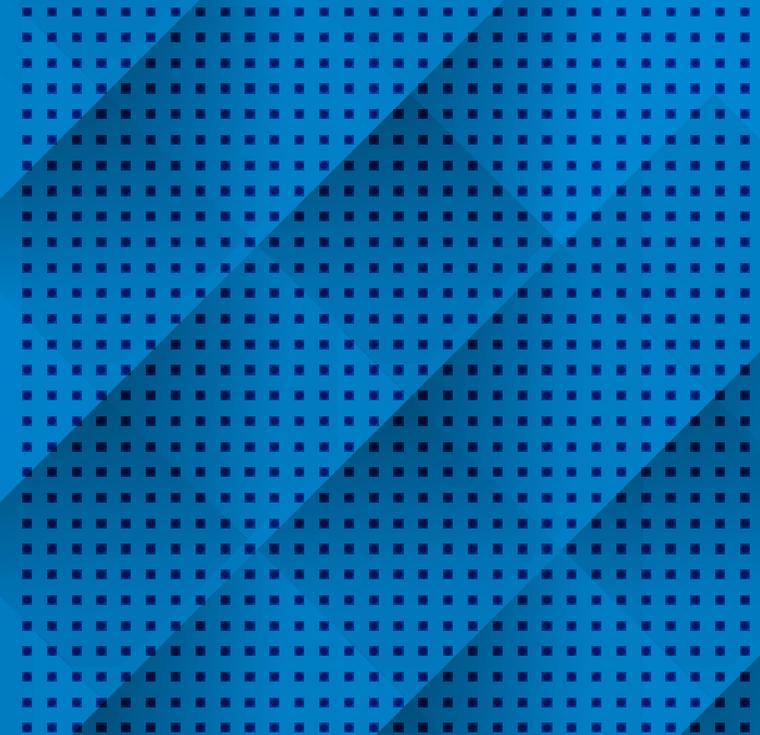
私は2018年9月の終わりに日本にきました。私の出身はドイツのハノーバーです。ハノーバー専科大学ではメディアデザインを専攻していますが、広島市立大学では油絵を専攻しています。これまで油絵を学んだことがないので、たくさんの貴重な新しい経験を積んでいます。例えば色の混ぜ方や木炭の書き方などです。その他、日本語やアメリカ文学の授業もあります。日本語の授業では、文法や漢字を勉強しています。アメリカ文学の授業でのディスカッションはとても充実しています。日本に来てからいろいろな国の友達ができ、旅行もして、貴重で新しい経験を積むことができています。最初はあまり自信がなかったのですが、日本語を使うことができませんでしたが、だんだん自信が出てきました。今は日本語で話すことがあまり怖くありません。例えば迷子になっても誰かに道を尋ねることができるようになりましたし、今では先生と日本語で話せます。私の日本語はまだまだ完璧ではないので、もっと上達したいです。





国際学部

International Studies



見つめる先は国際社会、自由なアプローチで豊かな人間性を培う

## 国際学部

International Studies



### 今、国際学部だからこそできる、新しい学びの形を

国際学部長 大庭 千恵子

国際学部は、21世紀のHIROSHIMAと世界をつなぐための教育プログラムを持つ学部です。核兵器による最初の被爆地として人間の尊厳を伝えていく使命を持つ「ヒロシマ」。中・四国地方における社会・経済活動の一拠点として、地域と世界をつなぐ「広島」。国内外から多様な文化や価値観を持つ人々が訪れ、集う「HIROSHIMA」。

そして今、国際学部での学びは、縦横の糸を組み合わせるようにより新しくなります。5つのプログラム「国際政治・平和」「公共政策・NPO」「国際ビジネス」「多文化共生」「言語・コミュニケーション」を連携させて、多面的な問題解決力を養成する専門科目を縦糸に。英語を含むさまざまな言語を用いてコミュニケーション力を育む科目と、国内外での活動につながるアクティブ科目を横糸に。

1人ひとりの関心を国際学部での学びを通じて深め、CARPability(創造力Creativity、他者と関わりつつ行動する力Action with collaborative skills、客観的に振り返る力Reflectiveness、そして「次」への企画力Planning for the next step)を身に付けましょう。

Challenge yourself to do what you can here in HIROSHIMA and out in the world.

身に付けた外国語を生かしたい、  
ビジネスの現場で活躍したい、  
日本や世界、各地域の問題に  
強い関心があるなど、  
21世紀社会を担う意欲を持った  
人を歓迎します。

### 求める人物像

#### ◎関心・意欲

国際社会や地域社会が抱える課題に関心を持ち、かつその解決に意欲を持つ人。

#### ◎知識・技能

国際学部の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき現代社会についての基本的な知識・教養を持っている人。また、外国語を含む言語の基本を修得し、基本的な運用能力を身に付けている人。

#### ◎思考力・判断力・表現力

- ・社会の諸課題について、根拠に基づいて筋道を立てて考え、自分の意見をまとめることができる人。
- ・日本語と外国語を使って、自分の考えを分かりやすく表現できる人。

#### ◎主体性・協働性

- ・何事にも主体性を持って行動し、海外留学やさまざまな活動に積極的に関わる意欲を持つ人。
- ・国際社会や地域社会で起こっている人間の営みに関連する諸課題の解決にむけて、さまざまな意見を持つ人とも対話し、協働して活動することができる人。

### 教育方針

一人ひとりの興味や卒業後の  
進路を見据えて選択した学びを、  
より効率的に進め、  
深めていくために、  
国際学部では、右のコンセプトで  
カリキュラムを編成しています。

#### ◎「学際性」の実現に向けて

既存の枠にとらわれず、私たちの周りや世界各地の異質で多様なものを、多面的・複眼的に関連付けて理解できる学際的なカリキュラムを設けています。

#### ◎5つのプログラムの可能性

学生の関心や目標に応じた5つのプログラムを用意し、それらを組み合わせて学習することができる多様で柔軟なカリキュラムを編成しています。

#### ◎少人数クラス・ゼミの魅力

学生同士はもちろん、学生と教員がしっかりと議論ができるように、演習科目や各授業クラスを少人数で編成しています。

#### ◎丁寧で適切なサポート体制

通常の授業だけではなく、課外活動を含めて、豊かな学生生活と学生一人ひとりの目標を実現できるよう、きめ細かなサポート体制を整えています。

国際政治・  
平和プログラム

多文化共生  
プログラム

プログラム  
共通科目  
(地域研究)

公共政策・  
NPOプログラム

言語・コミュニケーション  
プログラム

国際ビジネス  
プログラム

## 5つのプログラムをベースにした国際学部の教育プラン

21世紀の国際社会で求められる人材を育成するために、国際学部では6つの目標を設けています。

それは、●幅広い教養を身に付けること ●教養科目と専門科目とを連携させ学際的に学び知識を身に付けること ●国際的・学際的な視野を持って多様な問題を解決できる能力を高めること ●高い外国語能力を身に付けること ●問題解決のための行動力を身に付けること ●一人ひとりの関心、興味、ニーズに応じ、専門的な研究へ発展させられることの6項目です。この目標を実現できるように、5つのプログラムを中心とした教育カリキュラムを提供しています。

<言語とコミュニケーション  
力を育む科目>

英語  
+  
9つの第二外国語



<専門科目>

5プログラムの  
専門科目を軸に  
多面的に考える  
力を養う



<アクティブ科目>

国際学部の学びを  
国内外での行動に  
つなげCARPability  
を培う

## 5つの領域から21世紀を捉える

国際学部には、●国際政治・平和 ●公共政策・NPO ●多文化共生 ●言語・コミュニケーション ●国際ビジネスと、21世紀を担う人材に求められている国際的・地域的な課題を解決に導くための能力を養う5つのプログラムがあります。関心のある分野を深く学ぶ、あるいは複数のプログラムにまたがって幅広く学ぶなど、柔軟な学習が可能です。

## 複数プログラムの履修が可能

各自の関心や将来の目標に応じて複数のプログラムを履修することが可能です。各プログラムの科目は、互いに関連し合っているので、複数のプログラムを組み合わせることで、理解が深まり、より高度な知識の修得が期待できます。また、各プログラムで得た知識を、特定の地域研究と結びつけることによって、専門プラスアルファの視点・考え方を身に付けることができます。

## プログラム専門科目とアクティブ科目を連動させた領域認定

1プログラムにつき、学部で規定された以上の単位を修得することによって、そのプログラムで提供された専門科目を学修したことが認定されます。これを領域認定と呼びます。国際学部の学生は、各プログラムの専門科目での学びを深めるとともに、海外大学への留学や短期語学留学、国内外でのインターンシップ、卒業論文につながる演習などの「アクティブ科目」を履修して、領域認定を受けます。



国際学部

●年次チャート

<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>
●全学共通系科目 ●外国語系科目 ●資格取得科目			
<p>●5つのプログラムを核とする専門科目 それぞれの関心や将来設計に応じて、さまざまな専門科目が受講できます。</p> <p>●国際政治・平和プログラム ●言語・コミュニケーションプログラム ●公共政策・NPOプログラム ●国際ビジネスプログラム ●多文化共生プログラム</p>			
<p>●基礎演習 小グループでの演習が1年次からスタートします。</p> <p>●国際研究入門 国際研究への興味関心、問題意識を喚起します。</p> <p>●プログラム入門科目 5つのプログラムの案内をします。</p>	<p>●発展演習 学ぶ力と解決する能力を育みます。</p>	<p>●専門演習 最も関心のある分野に絞り込んで密度の濃い研究を行います。複数の専門演習(ゼミ)を選んで、多面的にテーマに接近することも可能です。</p>	<p>●卒論演習 卒業論文作成、また卒業後に向けて、温もりのあるサポートをします。教員1人が平均2人の学生を指導。</p> <p>●卒業論文 一人ひとりがテーマを見出し、それを統一的視点によって明らかにします。</p>
●卒業論文の提出・発表			
<p>●アクティブ科目 海外短期語学留学や長期留学などの国際交流、国内外でのインターンシップ、演習科目などを通じて、CARPabilityを磨きます。</p>			

## 国際政治・平和プログラム

地球規模の課題を理解し、その解決方法を探る

現代の国際社会には、紛争、テロ、難民、開発、環境などのさまざまな地球規模の課題があります。これらの課題を理解し、解決方法を見出すための鍵となる国際関係の理論や歴史、そして平和研究の方法や実践について一緒に学びましょう。

こんな科目が受講できます

### ●比較政治学

さまざまな国の政治を比較することで、国際政治、ひいては現在の世界の姿が見えてきます。例えば民主主義の概念や憲法の成り立ちは国によって共通点と差異があります。各国の政治をその歴史を踏まえながら比較し、日本の政治についても考察を深めます。

### ●ヨーロッパ政治論

2015年以後に増加した難民・移民の受け入れをめぐって、各国が揺れ動く一方、英国によるEU離脱にむけた交渉は難航しています。いまヨーロッパでは何が起きているのでしょうか。第二次世界大戦後から現在に至る現状について考えます。

### ●国際人権法

「人権」とは、それなしでは私たちが人間らしく生きることができない、日々の生活に密接に関わる考え方・行動の仕方・社会の制度です。「人間の尊厳」を取り戻そうとする街・広島で、時事的な国内外の人権問題も踏まえつつ、人権保障の仕組みと課題を一緒に考えていきましょう。

### ●開発政治論

戦後に独立した多くの国々が、民族対立などによる政治的混乱や低経済成長に悩んでいます。その一方で、同じく多民族国家であるにも関わらず、政治的安定と経済成長を実現している国々が東南アジアには存在します。この講義では、これらの国々の開発政策の特徴を考察します。

### こんな人にお薦め

- ◎外交の歴史や他国との関係に興味のある人
- ◎戦争や核兵器をめぐる問題に関心のある人
- ◎内戦の解決や平和の構築を支援する活動に関わりたい人

### ゼミ訪問

#### 斎藤ゼミ



地域研究のアプローチによって隣国ロシアを多角的に捉えることを目標にしています。研究対象は国際政治や歴史、文化など多岐にわたり、ゼミ生各自が関心のある事柄について掘り下げて学んでいきます。ヨーロッパやアジアなど、さまざまな国・地域との独特な関係が見えてくるのは、ユーラシア大陸に跨るロシアを研究する醍醐味のひとつです。

\*科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

カリキュラムの詳細は  
 広島市立大学 国際学部 カリキュラム



国際学部



国際学部

## 公共政策・NPOプログラム

望ましい社会を創造するために、経済や社会、文化のあり方を知る

望ましい社会を創造するために、人びとの生活の基礎である経済や社会、文化のあり方について学びましょう。市民、NPO(非営利組織)、企業、政府などの果たす役割や協力し合う仕組みを考えましょう。社会のために働きたい人を歓迎します。

こんな科目が受講できます

### ●国際開発学

国際開発とは、貧しい人たちが豊かな生活を送ることができるように助けることです。しかし、「貧しい／豊かな生活」とはいったいどんなものなのでしょう？この講義では、政治学、経済学、社会学、文化人類学のそれぞれが「貧しさ」や「豊かさ」をどのように考えるのかを学びます。

### ●経済政策論

ある目的のために政策を実施すると、そのことで人びとの行動が変化し、思わぬ結果を招くかもしれません。例えば自動車がより安全になればドライバーはよりスピードを出すようになり交通事故が増えるかもしれません。このような人びとの行動の変化を織り込んだ経済政策を学びます。

### ●非営利組織論

「非営利組織って何？」「誰がどのように運営しているの？」「本当に役に立っている？」この講義では、実はよく知られていない非営利組織の成り立ちや運営また社会的影響力などについて考え、環境、福祉、まちづくり、国際協力などの公共政策との関係についても学びます。

### ●国際教育論

OECDによるPISA調査に見られるように、学力競争もグローバル化しています。国際教育論では、グローバルな視点で教育や学校の動向を理解するとともに、世界各地の教育について学びます。そして比較文化的な観点から、持続可能で平和な社会づくりに向けた教育について考えます。

こんな人にお勧め

- ◎ネットワーク社会の仕組みに関心がある人
- ◎市民、NPO、企業、政府の関係に興味がある人
- ◎さまざまな観点から公共政策の役割を考えてみたい人
- ◎人びととのつながりと社会の機能について関心がある人

ゼミ訪問

### 山根ゼミ

ゼミ生が興味を持つ「人の考えや行動のパターン」「社会問題」の原因・結果を経済学的視点から推論し、それを検証するための統計調査・分析のスキルを実践的に学びます。2018年は、しまなみ海道で観光客にアンケートを行い、観光地需要と同地域固有の魅力(自然や食べ物)との関係进行分析しました。



しまなみ海道を自転車で移動

## 多文化共生プログラム

多様な考え方を持つ人びととの共生について考える

世界は新たな発見に満ちた知の現場です。国家・地域・民族・文化の垣根を乗り越え、多様な考え方を持つ人びと「共に生きる」を合言葉に、文化的対話の方法や可能性について理論と書物とフィールドから学びましょう。

こんな科目が受講できます

### ●共生の哲学

現代世界では背景を異にする人びとと社会を築くことが避けられなくなっている一方で、異質な人びとを排除しようという動きも見られます。こうした状況を見据えながら、他者との共生という生そのものの基本的な条件を掘り下げ、私たちが他者と共に生きる可能性を探っていきましょう。

### ●ジェンダーとセクシュアリティ

「男らしさ」「女らしさ」とはなんでしょうか。講義では「男・女」「異性愛・同性愛」などの区別の「あたりまえ」を問い直します。社会と文化においてジェンダーがどのように形成され、どのような差別が組み込まれるのか、またLGBTの問題についても一緒に考えていきましょう。

### ●アフリカ研究

皆さんのアフリカのイメージは「野生動物」「飢餓と貧困」でしょうか。こうしたイメージはアフリカを遠ざけていきます。そのイメージは私たちの固定観念から生み出されています。同じ時代と世界に生きるアフリカの人びとの生活を共に感じていきましょう。

### ●中国文化論

日本ではあまり知られていない文化の紹介(誤解の是正)に重きをおいています。焼き餃子は「王道」の餃子なのか、チャイナドレスは本当に中国の民族衣装なのかなどを取り上げ、最新の研究成果と共に中国理解への入り口となるような内容を毎年心がけています。

こんな人にお勧め

- ◎異文化体験に興味ある人
- ◎好奇心旺盛で、自分とは異なるものに魅かれる人
- ◎現代日本とは異なる世界観を学びたい人
- ◎人間とは何か根本から考えてみたい人

ゼミ訪問

### 井上ゼミ(メディア論)



テレビや新聞などマスメディアの問題点や影響、そしてSNSによる社会の変化まで、「激動するメディアの世界」を研究します。毎年、ゼミプロジェクトに取り組み、研究成果を大学祭で発表しています。また、大学を飛び出してテレビ局、新聞社、出版社で研修、そして学年をまたいだ活動を行うなど、「濃いゼミ」です。



国際学部



国際学部

## 言語・コミュニケーションプログラム

コミュニケーションに関わる諸問題を学ぶとともに、外国語の実践能力を高める

人の社会的営みの基本中の基本は言語によるコミュニケーションです。言語(外国語・日本語)や海外の文学・文化についての知見を深め、それらに生じるさまざまなコミュニケーションの問題について考えてみましょう。さらに、外国語の実践能力を高めていきましょう。

こんな科目が受講できます

### ●フランスの文学と文化

この授業では18世紀のフランス小説の講読と解説を行います。啓蒙思想家たちの実験的な小説から当時の大衆小説まで、小説が揺籃期にあった時代に創作されたさまざまな形式の作品を扱います。実際に作品の抜粋を読むことで、フランス文学の多様性と魅力を理解していきます。

### ●言語比較論

本課程の授業目的は通過日語と漢語の词汇、特别是日汉同形词的对比,让学生们获得对比语言学的基础知识,并加深对日語、漢語异同的了解。前半学期主要从语音、构词、语法等方面概观日語和漢語的语言特点,后半学期以动词、形容词、副词等为例,具体分析日語和漢語的异同。

### ●Special Lecture in British and American Literature

This class examines literary concepts, devices, and structures that shape English poetry and surveys the evolution of American literature, from the late 16th century to the present.

### ●通訳技法論

この授業では、日本語から英語、英語から日本語に「通訳する(訳す)」という行為を通じ、日本語と英語の間にはどのような表現の違いや発想の違いがあるのかを考えます。また、クイックレスポンスやシャドーイングなどの通訳訓練法を活用しながら、英語力の向上も目指します。

こんな人にお勧め

- ◎外国語の学習や使用に関心のある人
- ◎海外の文学作品や文化に関心のある人
- ◎外国語や日本語によるコミュニケーションに関心のある人
- ◎英語教員や日本語教員などをを目指す人

ゼミ訪問

### カーソンゼミ



In this seminar, we discuss and research how culture affects human thinking, behavior, and communication. The seminar is in English - a chance to use and improve English language skills.

## 国際ビジネスプログラム

経営学や経済学上の諸問題を学際的に思考する

将来就職をする人にも、起業したい人にも、ビジネスに関する知識は欠かせないものです。気付かなくても国際社会の中にいる今日、国際的視点でのビジネスの理解は、皆さんの将来をより明るいものにしましょう。

こんな科目が受講できます

### ●公会計論

私たちが払っている税金はどのように使われるのでしょうか？ 私たちの住んでいる自治体は行政サービスにいくらお金を使っているのでしょうか？ 公会計論では国や地方自治体をはじめとする公的組織の「お金」の問題について焦点を当て、これらの謎を明らかにしてゆきます。

### ●International Business

Understanding the impact of globalization and institutions on business is crucial. This course will prepare students for responding to the increasing diversity of international politics, economics, and culture.

### ●国際金融論

経済の自由化、グローバル化が進み、巨額マネーが国境を越え、ネットワークを通じて取引されています。円とドル、ユーロなど通貨交換も活発です。こうした国際金融の仕組みや市場取引のリスク、またそのリスクの回避方法など、具体例を挙げながら一緒に考えていきます。

### ●International Commerce

This course focuses on issues related to international commerce such as the trade war between the U.S. and China, the influence of a weaker dollar on trade wars, and competition among companies that operate online platforms.

こんな人にお勧め

- ◎企業や組織の経営に興味がある人
- ◎お金の流れに興味がある人
- ◎組織や人を見る目を養いたい人
- ◎調べるのが好きな人

ゼミ訪問

### 李(玲)ゼミ



李(玲)ゼミでは、消費者の購買行動から企業の戦略まで、マーケティングの諸問題について研究します。発表・討論を通じてマーケティング諸理論の理解を深めたいと、受講生の関心に応じて研究テーマを設定しグループ研究を行います。研究テーマ例:消費者の非計画購買行動、リアル店舗の価値、SNSの効果と活用、貧困層向けのマーケティング戦略など。

## 国際理解・少人数教育の重視

### 国際理解

海外学術交流協定大学との国際交流に加え、国際学部ではより多様な取り組みを通じて、国際理解を深めています。例えば、世界中から募った学生と一緒に平和について学び交流を行う「HIROSHIMA and PEACE」（詳細は下記）、短期語学留学、ドミニカ共和国にある広島東洋カーブの海外選手育成機関での企業インターンシップ（40ページに詳細）、研究室での海外へのスタディーツアーなど、さまざまな機会を提供しています。また、国際学部では、1年次前期の必修科目である「国際研究入

門」をはじめとして、カリキュラムの履修を通じて、多くの国々や地域の言語、文化、政治、経済、ビジネスを学ぶことにより、国際理解を深められるよう工夫しています。

さらに、国際学部の全教員に占める外国人教員、海外の大学院で学位を取得した日本人教員の割合がとて高く、国際学会、国際調査、国際プロジェクト等への参加経験が豊富な教授陣による指導と、そのネットワークを活用した海外研究者による学内での講演などを通じ、国際的な取り組みに触れることができます。

### 少人数教育の重視

1学年100名の定員に対し、40名以上の教員を擁する国際学部では、少人数教育を重視しています。

大学では、高校までとは違い、「明白な正解」が必ずしもない中で、学修と研究を進めていく必要があります。それを可能とするための基本的なトレーニングを行うのが、必修科目として開設されている「基礎演習」と「発展演習 I・II」です。1クラス10名程度で、1年次、2年次の2年間にわたり、読解力、分析力、記述力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、調査能力を

高めるための演習指導を受けることができます。

3年次では「専門演習 I・II」（いわゆる「ゼミ」）、4年次では「卒論演習 I・II」が必修となっており、研究室に所属して教員から指導を受け、各自の専門領域に関する学修と研究を行います。40名以上の教員の中から、自身の関心に応じて専門演習、卒論演習を履修することができ、両演習とも教員1名と数名の学生で構成されることがほとんどです。さらに、複数の専門演習を選択でき、興味や関心に応じて、少人数で深く学ぶことが可能です。

### Intensive Summer Course HIROSHIMA and PEACE

多様な国の学生と英語で「ヒロシマ」「平和」を学び、語り合う



#### 幅広い専門分野からの体系的学び

世界中から学生が集い、「ヒロシマ」と「平和」を学び語り合う講座が国際学部にあります。それが2003年に始まった夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」（以下H&P）です。非核と平和について基礎から最新の研究成果まで、国際政治学、歴史学、文学、環境学、メディア研究、社会学といった幅広い

専門分野から学びます。また、被爆証言を聞き、8月6日の平和記念式典に参列し、被爆地広島ならではの体験を海外からの参加者と共有し、学びを深めていきます。この講座はすべて英語で行われます。



#### 留学でも得がたい「H&Pの国際体験」

2003年から2018年までの受講生の国籍（日本を除く）は計54カ国・地域で、毎年10カ国以上の学生が参加しています。また、ウエルカム・パーティーに始まり、バーベキューや花火といった学生主催のイベントも企画され、参加者の交流は深まります。プログラム終了後も交流は続き、過去の受講生はロンドンで開かれた反核集会で「同窓会」を開きました。広島での学び、語り合い、平和の意識を共有することは、海外研修や留学でも得ることができない貴重な国際体験となることでしょう。



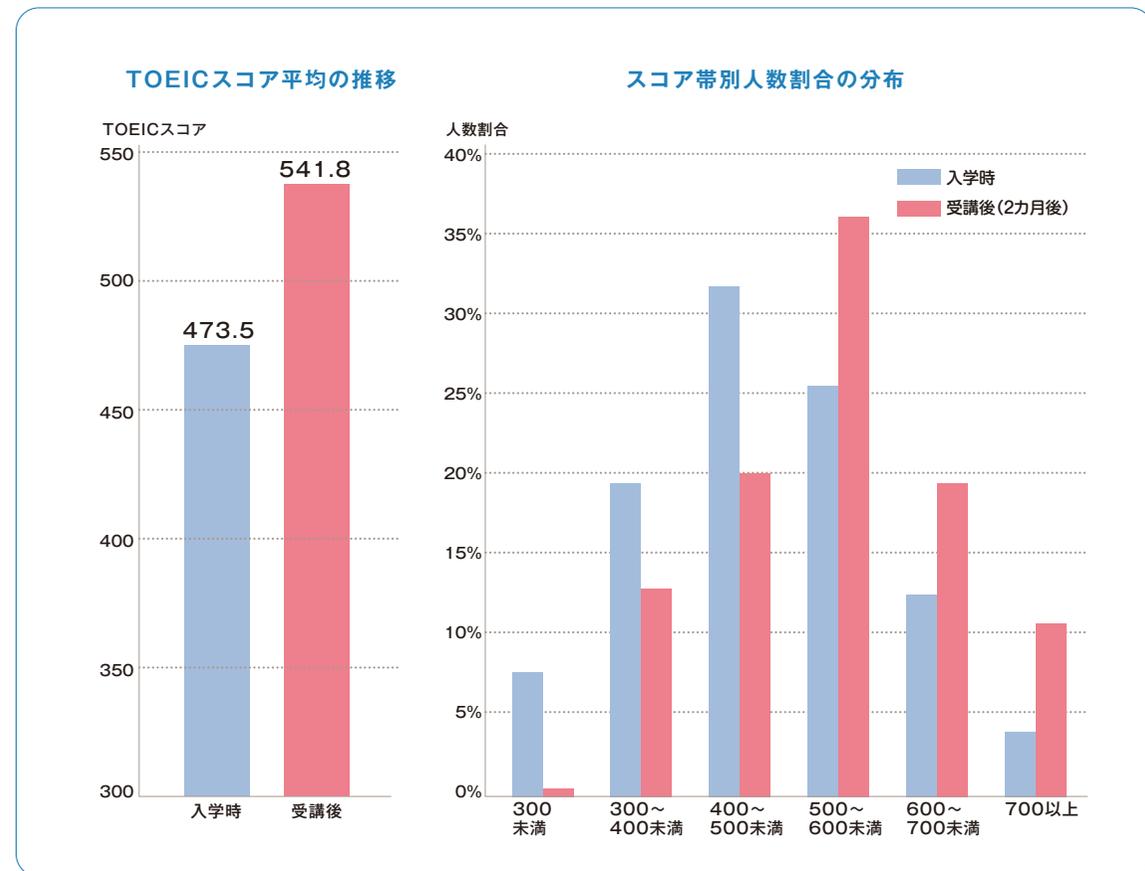
#### H&P本番に向けた英語討論能力の強化 Preliminary English Training (PET) Program

H&Pの国際学部受講生は、H&P本番前に約3カ月間の事前英語研修（PET）プログラムを受講します。このプログラムは、広島や原爆、平和問題について基本的語彙を学び、英語の討論能力、表現力、そして発信力を高めます。また、期間中に終日英語演習の研修（English Only Day）を実施し、H&Pへの参加意欲と参加者の連帯意識を高め、本番に向けての確実なスキルアップにつなげます。

実践的な英語力を鍛える

語学センターや自宅のコンピュータを用い、英語のリスニング、リーディング、文法、語彙を集中的に訓練するeラーニングによる授業です。週1回の一斉授業の形態を取らず、指定された期間中、各自の都合のよい時間に自分のペースで学習を行います。教材は4つのレベルに分かれており、各自の英語力に適した教材が配信されます。学習期間の開始前と終了後にTOEIC® Listening & Reading IPテストを受験し、英語力および学習効果を客観的に測定します。グローバル化する社会で活躍するために必要不可欠な英語基礎力を確実に高めていきます。下のグラフは、2018年に「CALL英語集中」を受講した国際学部1年生のTOEIC IPスコア平均の推移とスコア帯別人数割合

の分布を示したものです。入学時に比べ、受講後のスコアは68.3点アップし、541.8点になっています。スコア帯別人数割合の分布についても、受講後は分布がスコアの高い方に移動しており、英語力が底上げされていることが分かります。TOEICを運営する国際ビジネスコミュニケーション協会発行の「TOEIC® Program DATA & ANALYSIS 2018」によると、全国の大学1年生のTOEIC IPスコア平均は433点ですが、本学国際学部1年生のスコアは入学時点ですでに大学1年生の全国平均を上回っています。また、大学4年生の全国平均は514点ですが、国際学部1年生は前期終了の時点でそれを上回る学習成果を上げています。



英語の受容技能を訓練する「CALL英語集中」と発表技能を鍛える「英語応用演習」

eラーニングを利用した「CALL英語集中」により、リーディングとリスニングを中心とした英語の受容技能を訓練するとともに、1クラス10名前後という、大学共通教育としては異例の少人数授業「英語応用演習」で、発表技能であるスピーキングとラ

イティングの指導を受けます。「英語応用演習」は能力別クラス編成がなされ、各レベルに適したテキストを使用して指導が行われます。

健康的な生活を目指したAI(人工知能)による見守りシステム

健康心理 テニス  
教授 山口 光明

世界中で健康的に長生きしている人たちを調査した研究では、「自分の悩み事を相談できる親しい友人が2、3人いて、周りの人たちとも友好的に交流する人の健康寿命は長い」という論文が近年発表されています。人の介助を必要とせず、健康的な人生を送るには「人との繋がりが一番だ」ということは、言われてみれば当たり前のようにも聞こえますが、「スポーツ」や「食事」よりも上位にくるとするのは正直なところ、少し驚きです。これからの日本は、高齢化と同時に労働人口の減少という課題に直面していきます。そうした社会で、活動的な生活を自分でマネジメントするための手段として、IoT(インターネットとモノをつなぐこと)の活用が考えられます。大学では、高齢者の生体情報(心電図、体温、心拍など)をスマートウェアに装着したトランスミッターが発信し、アプリとクラウドコンピュータを介して、AI(人工知能)がストレス度や体調、危険度を知らせてくれる見守りシステムを情報科学部の専門家や連携している企業(ミツフジ、他大学とも連携しつつ、学生たちと社会の役に立つ活用方法について考えています。(写真はスマートウェアのイメージ、ミツフジのホームページより)



ダイバーシティとハラール・ビジネス

多国籍企業論 International Business 准教授 スルハイザル・アザム・アリフ  
近年、ビジネスのグローバル化に伴い、海外進出のみならず、国内市場の活性化や拡大への注目が高まっています。日本政府は観光立国の実現に向け、2020年までに訪日外国人旅行者数(インバウンド)4千万人、消費額8兆円を目標に掲げています。しかしながら、多様なインバウンドニーズへの対応は大きな課題であり、特に食事に関する禁忌への対応はまだ不十分とよく指摘されています。これは豚やアルコールの飲食が宗教上禁じられている、世界人口22%(16億人)

を占めるイスラム教徒の誘致において重要なことです。イスラム法上で許されている食材を「ハラール」といいますが、このような新しい知識、ノウハウ、多文化理解が必要になってきます。さらにその取り組みに対して、日本の食文化の観点からいかに理解し、展開できるかも重要になります。私は「ダイバーシティ」や「new institutional theory」といった概念・理論を切り口に、飲食店や食品製造会社といった日本のハラール産業の戦略と認証の国際化について研究しています。

(写真は、ハラールなどに対応したお好み焼きの開発に取り組んでいる広島市のお好み焼き店「銘々」をインタビュー調査した際に撮影したものです。)



**ハワイ大学  
短期語学留学**

学術交流協定大学であるハワイ大学マノア校での研修は、ホームステイでハワイの生活にとけこみ、英語とハワイの歴史・文化を学びます。午前中は英語集中授業を受けます。ハワイ大学の学生が会話の練習相手もします。午後は歴史・文化に焦点を当てフィールドスタディーで真珠湾アリゾナ記念館や博物館を訪問し、ハワイの歴史と文化に触れます。

**オルレアン大学  
短期語学留学**

学術交流協定大学であるフランス・オルレアン大学で、フランス語・フランス文化の集中講義を4週間にわたって受講します。ホームステイをしながら一般のフランス人の日常に接し、異文化を体験します。オルレアン市内見学、ロワール古城やモンサンミッシェルへのフィールド・トリップもあり、フランスの歴史、文化、言語を総合的に学べるプログラムです。



**モスクワ大学  
短期語学留学**

ロシア最高峰の大学であるモスクワ国立大学ロシア語・ロシア文化研究所において、ロシア語の集中講義を受講します。課外授業として、美術館や博物館、ロシアの日本企業を訪問し、“近くて遠い国・ロシア”への理解を深めるとともに、世界各国からの留学生との交流を通して国際的な視野を養います。



**西南大学  
短期語学留学**

学術交流協定大学である西南大学の国際学院で、中国語の授業を受講します。中国西部の長江上流に位置する重慶市は広島市の姉妹・友好都市で、自然豊かな美しい街です。参加者はレベルに合ったクラスで、中国語だけでなく中国の歴史や文化も学びます。世界各国からの留学生や現地の学生との交流を通して、国際感覚を磨きます。



**広島東洋カーブ  
企業インターンシップ  
(ドミニカ共和国)**

国際学部の学生はカーブアカデミーでの企業インターンシップ(半年ごとに1名:事前研修1カ月、現地研修5カ月)に参加できます。カーブアカデミーは、広島東洋カーブがドミニカ共和国に設置した海外選手育成機関です。ドミニカ研修では、スペイン語を活用しながらアカデミーの業務を補佐し、現地で自分の「知りたい」ことを積極的に探究していきます。



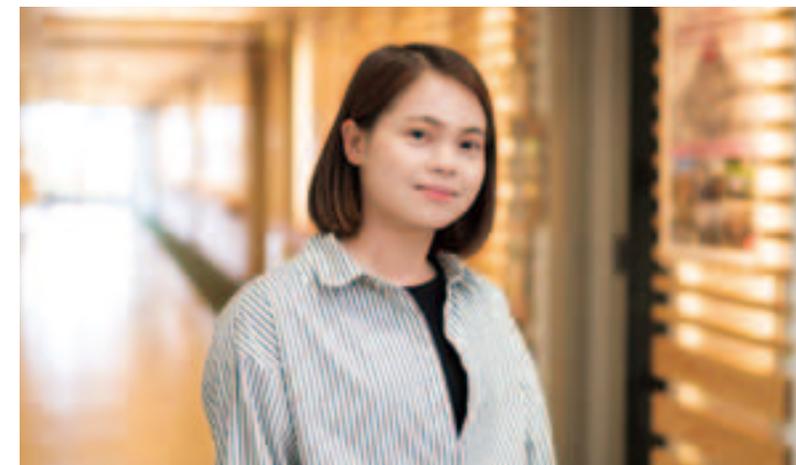


国際学部 国際学科 4年  
茶山 菜々子  
広島県立安古市高等学校出身

多様な価値観に触れながら、視野を広げ成長する。大切なことを教えてくれた仲間たちに感謝。

2年生の夏に広島市立大学の夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」に参加。世界中から学生をはじめさまざまな人が集まり平和について意見交換するのですが、周りの活発な発言に刺激を受け、私ももっと自分の意見を伝えたいという気持ちが芽生えました。最初は英語に自信がなかったのですが、講座が進むにつれいろいろな国の人と意見交換する楽しさを味わい、自分の意見について自信を持って発言できるように。その後フィジーに1カ月間留学した際も、自分なりの視点を交えてホストマザーに広島のこと

を紹介することができました。サークル活動も大学生生活の大きな楽しみの一つ。所属していたフットサルサークルは大人数でしたが、だからこそみんなで助け合うことの大切さを学べたと思います。大学に入学して多くの人と出会ったことで、広い視点を持つようになったことが私の最大の成長。彼らと過ごした時間はかけがえのない宝物です。大学では自ら積極的に動けば、自ずと素晴らしい仲間に出会うことができます。挑戦を恐れず、多様な価値観に触れることで、きっと自分を高めることができるはずですよ。



国際学部 国際学科 3年  
ゲン ティ ゴック リン  
LY TU TRONG HIGH SCHOOL  
FOR THE GIFTED出身

勇気を持って未知の世界に挑戦！ 行動力と周りの温かいサポートで、一歩ずつ着実に前へ。

一度はベトナムの大学に進学が決まっていたのですが、縁あって日本語学校の先生と出会って日本語を学ぶようになり、来日して広島市立大学に入りました。最初は母国を離れた寂しさや言葉が通じない苦労もありましたが、熱心に日本語を教えてくれる先生や周りの親切な人たちのおかげで今の私があると、心から感謝しています。大学ではNPOや財務管理などの関連分野を中心に学んでいます。入学後は何をするのも私にとってはチャレンジでしたが、最も勇気を持って挑んだのは塾講師のアルバイト。指導経験も

なく、日本の子どもたちに教えるための日本語力も必要とされるのに、何を思ったのか応募して(笑)。プレッシャーは大きかったのですが、とても楽しく、人生を変えたといっても過言ではない貴重な経験となりました。この大学は留学生向けのサポートが充実しています。日本語を学べる講義、学費免除や奨学金などの経済的補助、生活面での相談など、手厚い対応で助かっています。語学や平和学習、英語で進められる専門科目の講義など、広く深く学べるので、外国人に限らず視野を広げたい人には大変お勧めです。



国際学部 国際学科 3年  
可知 宗頻  
岐阜県立恵那高等学校出身

誰かに迫られて決めるのではなく、迷いながらも自分の意思で進み、一つ一つの出会いを大切に。

強い海外志向があって国際学部を選び、現在は国際学生寮「さくら」で外国人留学生と共同生活を送っています。多彩な国の学生と交流するのはとても楽しいです。基本は、思い立ったら即行動。留学や語学研修で1年生の時にオーストラリア、2年生の時に中国とベトナムを訪れたほか、広島市立大学塾やインターンシップなどにも参加し、国内外問わず大学が提供するプログラムを中心にさまざまな経験を積んできました。その全てに共通する最大の価値は「人との出会い」。数々の出会いが私を成長させてくれました。中

でも私の最大のエネルギー源となっているのが「笑顔」。この価値観に気づいたことが、今後のビジョンに大きな影響力を持つことは間違いありません。目指すのは「カッコイイ」大人。人前で堂々と胸を張って自分の信念を伝えられる人、誰かに付いていくだけでなく、自らの意思で立ち進んでいける人は素敵ですね。進路が見えないうちは、無理矢理絞る必要はないと思います。ただ、漠然とでもなりたいたい自分を描いて、受け身にならず経験を積み、出会いを大切にしていけば、可能性は無限に広がるはずですよ。

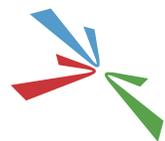


国際学部 国際学科 2年  
長澤 駿平  
石川県立金沢西高等学校出身

自分が動かなければ何も変わらない。周りに流されず、信念を持って堂々と自分で選んだ道を歩きたい。

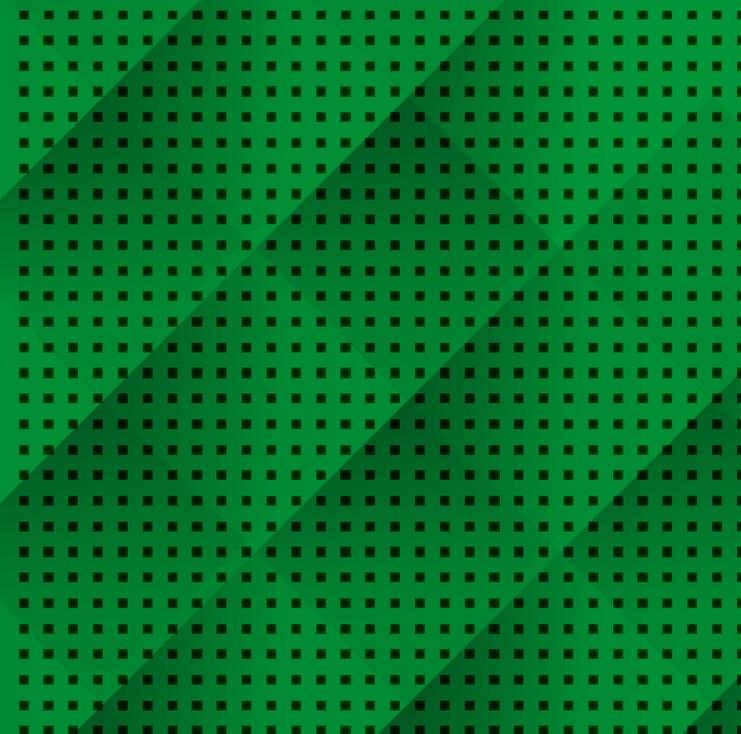
1年生の後期から広島市立大学塾に入り、塾のテーマ「新時代を担うリーダーの育成」に沿って、企業の経営者など学外からさまざまな立場のゲストを招き、ディスカッションしています。学外での活動もあり、例えば沖縄研修では現地の学生と一緒に沖縄戦について学習。その中で3日間、あえて食事制限をして空腹状態で戦跡をひたすら歩いたのですが、完全に理解するのは無理でも戦時中の人々の気持ちを考えるきっかけになり、現代の恵まれた環境の有り難みをあらためて実感しました。塾に参加して分かったのは、自

ら動かなければ周りも変わらないということです。理想のリーダー像は、信念を持っている人。周りに流されず自分が信じる道を貫く人に、自分もついていきたいと思うから。今後は大学の語学研修プログラムなどを利用して海外で学び、将来は海外でのビジネスに挑戦してみたいですね。大学受験ではプレッシャーもあるし、親、友達、先生など周りの影響を受けて迷いが生じることも多いですが信念を貫いて自分に正直に。周りが選んだ道ではなく、自分で選んだ道を、自らの足で歩むことが大事だと思います。



情報科学部

Information Sciences



## 高度情報化社会を支える「情報通信技術」の分野をリードする能力を養う

## 情報科学部

Information Sciences



## 情報科学で地域社会の課題を解決しよう！

情報科学部長 角田 良明

広島市立大学は広島市の西風新都に誕生し、25年が経過しています。情報科学部は情報科学の幅広い分野の多数の教授陣を揃え、中・四国地域を代表する情報科学の学び舎として知られています。

世界で生活するヒトだけでなく、自動車などのモノもネットワークで即座に結ばれる時代になり、情報の重要性はますます大きくなっています。情報科学の知識や技能は幅広い分野に活用できます。グローバルな視点で情報を捉え、世界の中の地域社会で発生している課題の本質を理解し、それを情報科学で解決する意欲を持ちましょう。

情報科学部では、数学やプログラミングなどの情報科学の基礎的な科目からグローバル社会で活躍するための英語などの実用的な科目まで学べる学習環境を提供しています。

これらの科目を自主的に修得することにより、情報科学の知識や技能に基づいた思考力や判断力、主体性や協働性などの将来、実社会で役に立つ素養や能力も身に付けることができます。

西風新都の風光明媚な自然環境の中で、地域社会の課題を解決するために情報科学を学び、未来を創造するリーダーを目指しましょう。

## 「情報科学の分野で

自分の適性を見つけ

十分な学力や技術力を身に付けて

科学技術の進歩に貢献することを

目指す気概がある人」の入学を

期待しています。

## 高度情報化社会を支える

「情報通信技術」(ICT)に関する

研究開発を担う研究者および

専門技術者を養成するため

右の教育方針を定めています。

## 求める人物像

## ◎関心・意欲

情報工学・情報科学に関心があり、自ら積極的に情報工学・情報科学を学修する意欲を持つとともに、学んだことを活用して国際社会や地域社会の発展に貢献したいという大志を抱いている人。

## ◎知識・技能

情報工学・情報科学を学ぶうえで土台となる高等学校等で修得すべき数学、理科および語学の知識・技能を有している人。

## ◎思考力・判断力・表現力

- ・物事を多面的にとらえ、総合的かつ論理的に思考して合理的に判断することができる人。
- ・自らの考えを分かりやすく説明するよう努力できる人。

## ◎主体性・協働性

- ・国際社会や地域社会で起こっている情報工学・情報科学に関連する課題を意識し、その課題の本質を理解し、自ら率先して解決しようとする熱意を持っている人。
- ・共通の目的を達成するために、他人の価値観を尊重し、他人と協調して活動する主体的なコミュニケーション力を身に付けている人。

## 教育方針

◎学生が興味関心、適性に基づいて  
専門分野を選択できる仕組みの提供

入学後、情報科学の基礎知識を修得した後に、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を適切に選択できる仕組みを提供します。

## ◎情報科学に必要な基礎学力の育成

情報科学を専門的に学ぶ上で基礎となる数学、プログラミング、英語などの学力を十分身に付けます。

## ◎情報通信技術を活用できる技能の養成

先端的な情報通信技術 (ICT) を知的生産の道具として活用できる能力を身に付けます。

## ◎専門分野に関する体系的な知識の修得

教育内容を厳選、体系化した上で、効果的な専門教育を行います。これにより、専門分野に関する体系的な知識を修得します。

## ◎体験的・総合的学習を重視した教育プログラムの実施

21世紀の知識基盤社会で問題解決ができる人材を育成するため、実験、実習、演習、口頭発表など体験的・総合的学習を重視した教育プログラムを実施します。

## ◎知識や学力の多様化した学生への効果的な教育の実施

知識や学力の多様化した学生への効果的な教育を実施します。

少人数教育を推進するとともに、習熟度別クラス編成、グループ学習などを導入します。

情報科学部  
Information Sciences

コンピュータコース

情報工学科

知能ソフトウェアコース

ネットワークコース

知能メディアコース

コミュニケーション  
基盤コース

知能工学科

人間・ロボット  
共生コース

知能サイエンスコース

システム工学科

医用情報科学科

インタフェース  
デザインコース

# 情報工学科

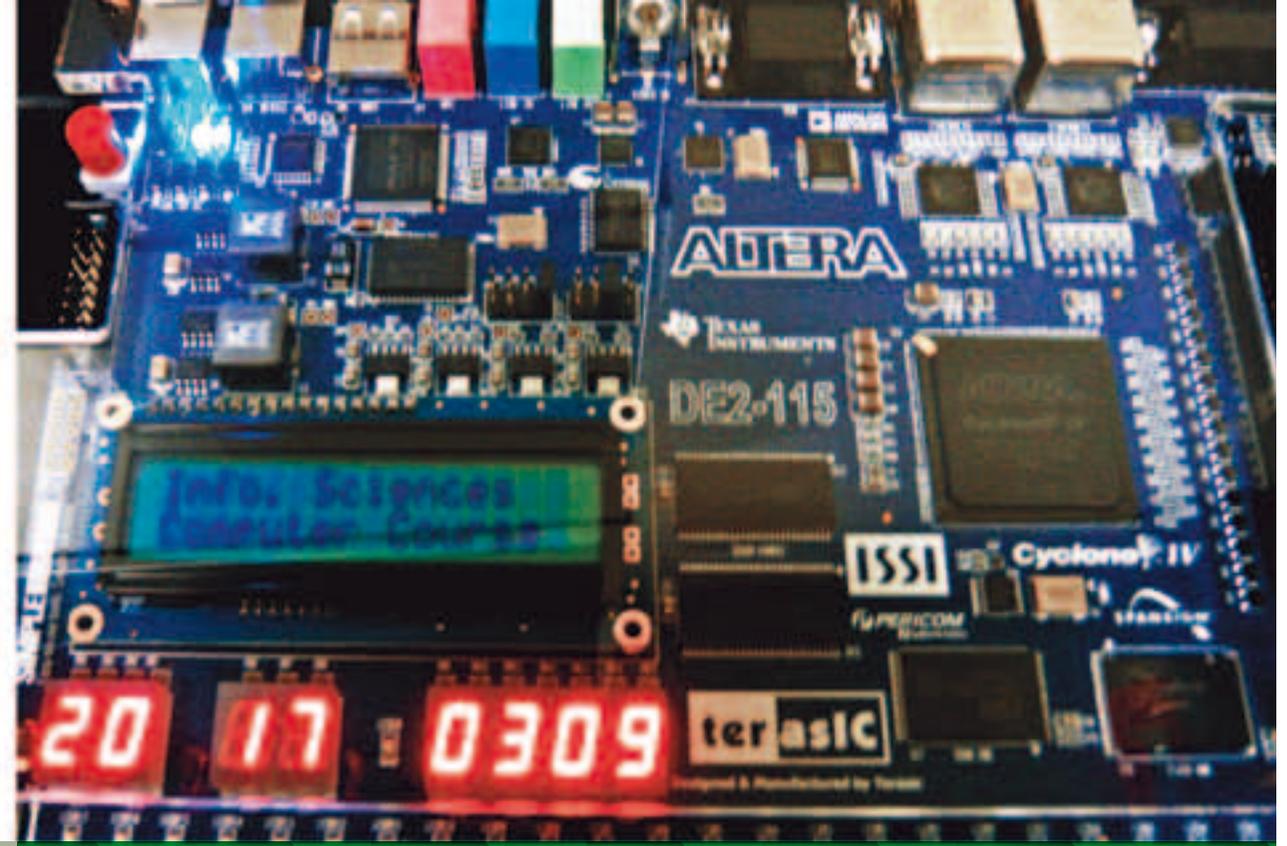
コンピュータコース  
P050

ネットワークコース  
P051

コミュニケーション基盤コース  
P052

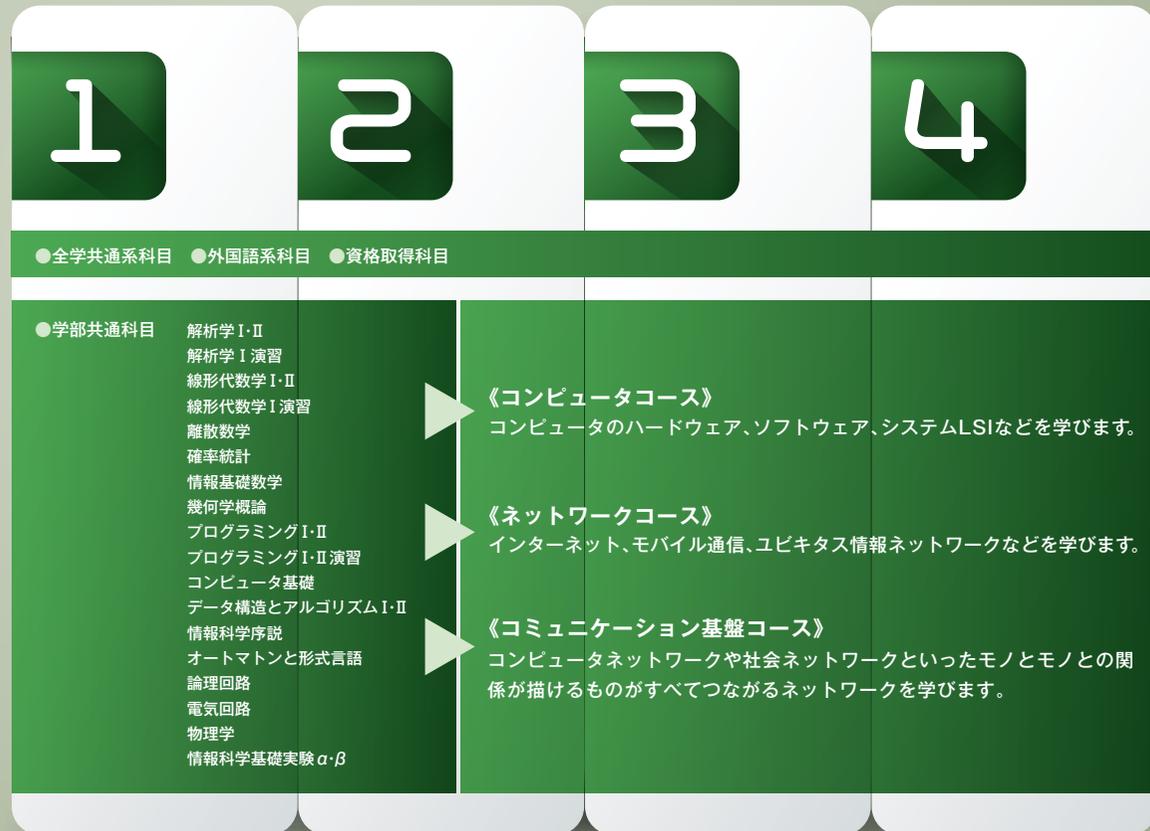
さまざまな情報通信システムの基本となるハードウェア(回路など)とソフトウェア(プログラムなど)の仕組みや作り方を勉強します。

情報工学科では、コンピュータとネットワークに関するハードウェア技術およびソフトウェア技術を広範囲に勉強します。これらの技術をベースに、コンピュータとネットワークの融合技術や新しいコミュニケーション技術を開発したり、効率的に使用したりできる人になれます。



情報科学部 情報工学科

●年次チャート



※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。  
 ※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

## コンピュータコース

「ナカミ」を学ぶ

ハードウェアとソフトウェアの基礎を学び、めまぐるしく変化する情報化社会の中で即戦力として活躍するための勉強をします。

コンピュータはハードウェアと呼ばれるものとソフトウェアと呼ばれるものから作られています。ハードウェアとはコンピュータを構成する回路などを指します。このハードウェアが高速に動作することで人が計算すると何年もかかってしまう計算を一瞬で計算することができます。一方、ソフトウェアはハードウェアに対して指示を与える指令書です。このソフトウェアが賢くなることで、高い計算能力を持つハードウェアを効率的に使うことができます。これらのハードウェアとソフトウェアの両方がそろって、現在のような高度な情報化社会が実現できています。コンピュータコースではコンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについて深く勉強します。

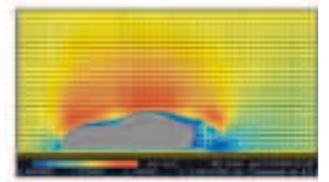


パスワード照合回路をツールを用いて設計している様子

### 研究紹介

エンジン動作を速く  
 正確にシミュレート

自動車やそのエンジンの開発では、今日では主にコンピュータ・シミュレーションが行われます。昔は実際に自動車を試作してテストすることで、改良を繰り返していたのですが、その場合よりずっと費用を抑えて短期間でできるからです。しかしながら、そのためのシミュレーションは、たとえコンピュータであっても、上手にやらないと時間がかかったり多くの誤差が生じたりします。例えば、1秒間のエンジンの動作を一般的なパソコンでシミュレーションすると、2000秒以上かかることがあります。私たちの研究では、その1秒間の様子を10秒以下でシミュレーションするためのハードウェアとソフトウェアの研究をしています。



自動車の周りの空気の動きをシミュレーションしている様子

カリキュラムの詳細は  
 広島市立大学 情報工学科 カリキュラム



情報科学部 情報工学科



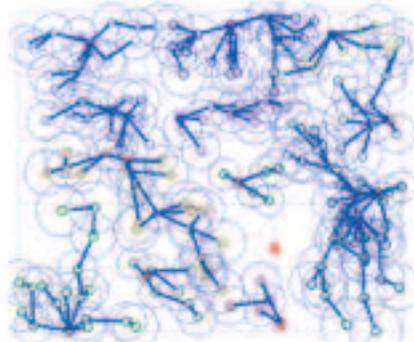
情報科学部 情報工学科

## ネットワークコース

### 「つなぐ」を学ぶ

コンピュータ同士をつなぐ技術について学び、ユビキタスネットワークなど、最新のネットワークに対応するための勉強をします。

現在のコンピュータは単独で使われることはほとんどなく、ネットワークを通じてお互いつながっています。例えば、自動車の中には数百個以上のコンピュータが搭載されていますが、それらはネットワークを通じて接続されていて、お互い必要な情報を交換することで自動車の運転を快適にしています。このコンピュータをつなぐ技術は元々は線と線を直接つなぐ有線方式が主流でしたが、現在では電波を使ってつなぐ無線方式も当たり前になっています。ネットワークコースではこのコンピュータとコンピュータをつなぐ技術について深く勉強します。



スマートフォンや車など移動するコンピュータ間のネットワーク接続が変化の様子を可視化

### 研究紹介

#### ネットワークにつながる自動車の安全を確保

自動車に関する研究としては自動運転が有名ですが、自動運転は、エンジンや前方の様子などの情報を取得するセンサーが車内のネットワークを通じて集められることで実現されています。このように、いろいろなモノがネットワークにつながることで便利になる反面、遠隔からネットワークを経由して自動運転の車が乗っ取られるようなリスクも増えてきます。そこでネットワーク通信の暗号化や信頼できる情報のみ取得する認証の仕組みを確立することで、安全・安心な社会の実現に向けて研究や実験を行っています。



GPSアンテナ 携帯電話ネットワークにつなぐアンテナ  
車内ネットワークの様子を表示  
車内ネットワークと外部との通信車内ネットワークの実験環境

## コミュニケーション基盤コース

### 「伝える」を学ぶ

価値の高い情報を効率的に伝える技術について学び、さまざまなモノがつながる情報化社会に対応するための勉強をします。

インターネットの登場によって「コミュニケーションの高度化」が始まりました。例えば、それまでは人と人が文章でやり取りするには手紙を送る必要がありましたが、インターネットによってメールという形で一瞬で文章を送れるようになりました。現在でも、このコミュニケーションの高度化は進んでおり、現在のインターネットにはコンピュータだけでなく、センサーや冷蔵庫など、ありとあらゆるモノがインターネットでつながれた社会になっています。このような社会では「何を」伝えるのが大事になります。コミュニケーション基盤コースでは、ネットワークを通じて伝える技術について深く勉強します。



ネットワークを介して、遠隔会議をしている様子

### 研究紹介

#### 移動中でも動画をスムーズに再生

人のつながりのみならず、身の回りのすべてのものがつながるのが前提のインターネット。インターネットでは情報を小さな単位(パケット)に分割して送るのですが、家、移動中、学校や職場など使うネットワークが変わるとそのたびにパケットが少しずつ消失し、通信が切れてしまいます。つまり、移動中に動画を再生していると、動画の再生が止まったりしてしまいます。そこで、使うネットワークが変化しても一瞬たりともつながりが切れず、快適・安全に通信する方法を研究しています。



どこでもつながるネットワーク

# 知能工学科

知能ソフトウェアコース  
P054

知能メディアコース  
P055

知能サイエンスコース  
P056

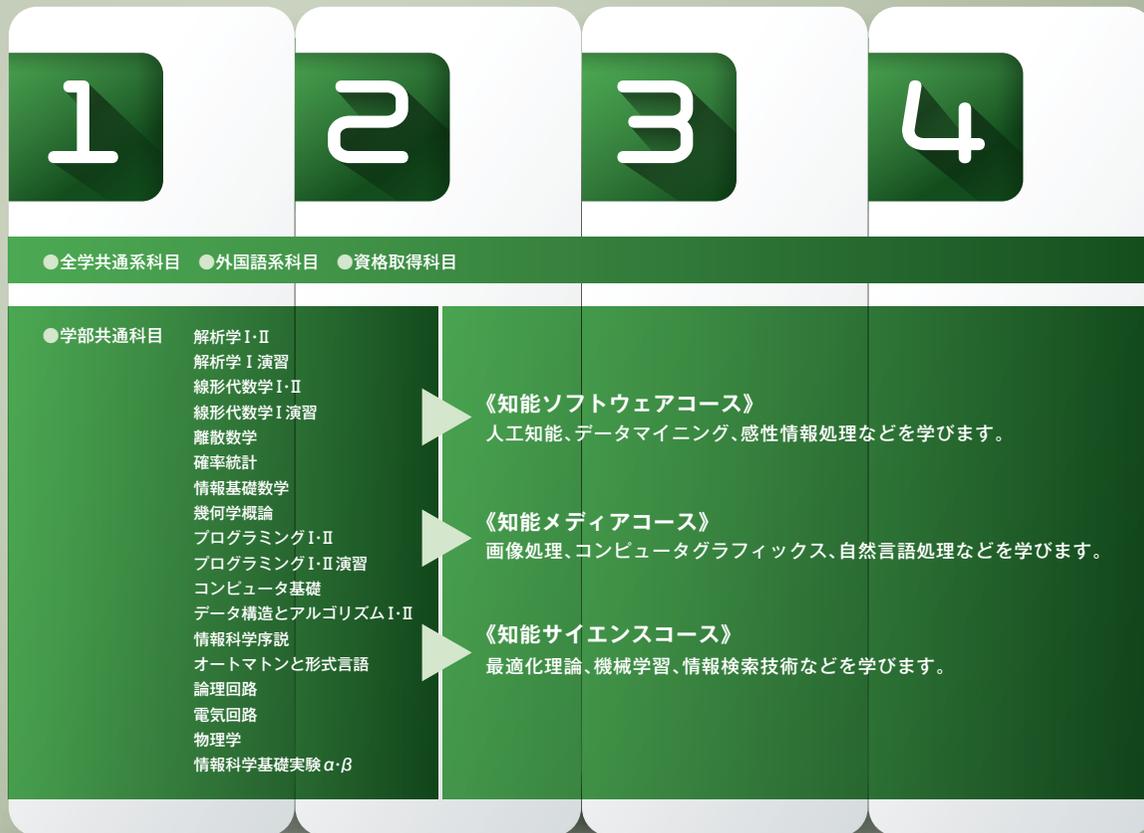
人と人、人と機械のコミュニケーションを円滑にしたり、創造的活動の手助けをしたりするための、人工知能などの知的なシステムの仕組みについて学びます。

知能工学科では、人が目で見たものや話し言葉を理解するのと同じようにコンピュータに五感を備えるための音声・画像認識技術や、囲碁や将棋の棋士のように高度な思考ができる人工知能技術、膨大なデータから法則性を見つけ出すビッグデータ解析技術などの基礎を学ぶことができます。



情報科学部 知能工学科

●年次チャート



※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。  
 ※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

## 知能ソフトウェアコース

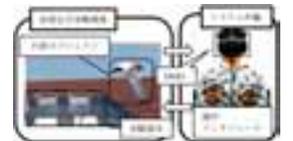
### 知能をつくる

知能ソフトウェアコースでは、コンピュータを鍛えて  
 どんどん賢くするための機械学習や、私たちの勉強やトレーニングを  
 楽しく効果的なものにするための学習工学などについて学ぶことができます。

人間の知的能力をコンピュータで実現するため、人間の脳に対応する知識・思考・学習などに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。例えば、インターネットで買い物をする時他のお薦め商品を紹介してくれるようなシステムでは、上手に推薦するために、過去の膨大な販売履歴から法則性を見つけ出すビッグデータ解析技術が用いられています。このように社会の中の非常に多くのデータから重要な知識や規則を抽出する、問題解決のためのさまざまな解決方法の中から効率的に適切な解を見つけ出す、コンピュータ自身が自分で問題解決のための知識を獲得する、人間の持っている感覚や経験をコンピュータで実現して社会に役立つ有用な規則を発見することなどを対象としています。そのため、これらの知識情報処理に必要な人工知能、データマイニング、機械学習、知的情報検索エンジン、エージェント、発見的探索などを学びます。

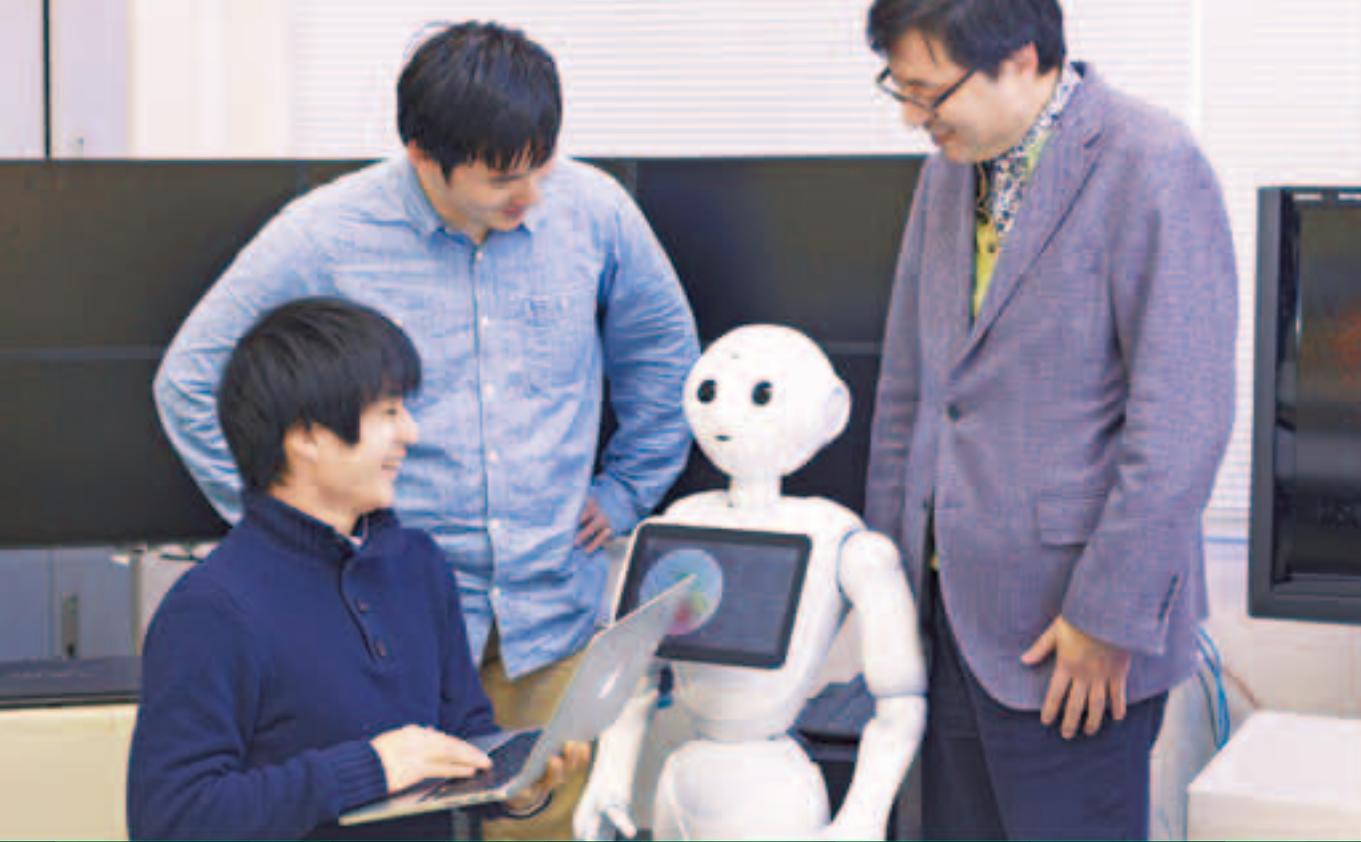
### 研究紹介

VR/AR技術を用いた  
 先進的な学習支援システム



VRやARの技術を活用して仮想空間の中で能動的に学習活動が行えるシステム開発を研究しています。学習者がいつでもどこでも楽しく安全に化学の実験をしたり、その他の科目のスキル学習を自発的、能動的に行えたりできることを目指しています。





情報科学部 知能工学科



情報科学部 知能工学科

## 知能メディアコース

### コンピュータに「五感」を

知能メディアコースでは、画像や話し言葉・書き言葉の認識・理解技術のほか、リアルで魅力的な映像を自由に作り出すコンピュータグラフィックス技術について学ぶことができます。

前の車にぶつかりそうになったら自動的にブレーキをかけてくれる自動車が増え、いよいよ自動運転車の実現も近づいています。これには私たちの代わりに歩行者や周りの車をしっかり見てくれる「機械の目」が必要です。

人間の知的能力の中でも人間の目や耳などに対応する人間の感覚や知覚、人間とコンピュータ間のコミュニケーションなどに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。具体的には、画像、映像、幾何データ、音声、文書などのメディア情報処理を中心とします。例えば、画像や映像から物体を抽出・計測する、実際の映像と違和感のない人工的な映像を作り出す、人間とコンピュータが自然な言語で会話することなどを対象としています。そのため、これらのメディア情報処理技術に必要な画像情報処理、コンピュータグラフィックス、自然言語処理などを学びます。

### 研究紹介

CGで世界を豊かにする技術、AR(拡張現実感)

原爆ドームにスマートフォンのカメラを向けると、画面の中に被爆前の建物がCG(コンピュータグラフィックス)により浮かび上がるアプリを開発しています。このように、CGを用いて現実世界を豊かにする技術をAR(拡張現実感)といいます。昔の建物が本当にその場によみがえったように見せるには、高精細な映像を作り出すCG技術が必要になります。さらに、カメラの向きが変化しても現在の原爆ドームとCGがずれないようにするために、カメラに写った画像を高速に処理し、画像の中のドームの位置を求める画像認識技術が用いられます。



## 知能サイエンスコース

### コンピュータの賢さを支える

知能サイエンスコースでは、ぴったり同じでなくとも似たものを見つけ出すパターン認識技術、動物の群れから発想された計算法、さらにその基礎となる統計学や微分方程式などの数学を学ぶことができます。

コンピュータは正確に計算するのは得意ですが、あいまいな判断や動物のように動的に変化する行動は不得意だと思いませんか?このような人間の知的能力を理解し実現するために必要となる数理モデル、解析モデル、アルゴリズムなどに着目した知能情報処理に関する基礎技術の教育研究を行っています。例えば、アリは個々は単純でも集団になると高度な仕事ができます。このような動物の群れから発想された計算法や生物進化のモデルを理解し知能情報システムの機能や性能を最適化するために応用すること、データを解析し有用な知識を抽出するためのアルゴリズムを考案すること、解読しにくい暗号化や効率の高い符号化のための数学的な基礎を学び安全で効率的な通信に応用すること、渡り鳥の影響と病原体の進化を考慮した感染症のシミュレーションモデルを構築して感染予防のために利用することなどを対象としています。そのため、これらの知能情報処理に必要な数理モデル化、最適化アルゴリズム、統計的情報処理、確率的情報処理、シミュレーションなどを学びます。

### 研究紹介

自分の好みが発見できる「対話型進化計算」

人には好みがあり、好きな絵、音楽、配色などは人それぞれです。コンピュータと対話しながら自分の好みに合うものを探すのが「対話型進化計算」です。例えば、スーツ・シャツ・ズボンの好みのカラーコーディネートを決定できます。まずコンピュータが複数の候補を表示します。人はそれらを評価し好みをコンピュータに伝えます。コンピュータは生物進化のメカニズムにより評価が良いものを組み合わせる新しいコーディネートを生成し表示します。人とコンピュータが協力し、評価と進化を繰り返すことにより好みのものを見つけ出すことができます。



# システム工学科

人間・ロボット共生コース  
P058

インタフェースデザインコース  
P059

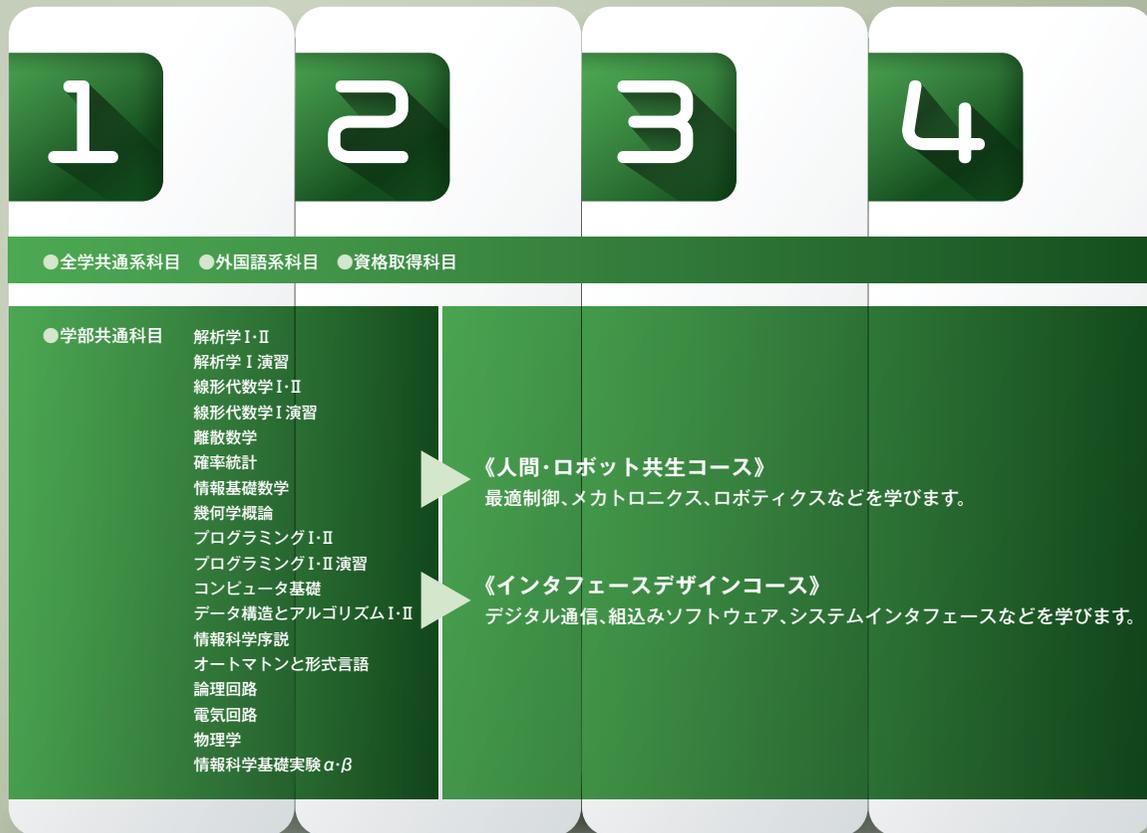
人間・コンピュータ・情報システムの調和を図りユビキタス社会を実現

システム工学科では、人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、今後ますます重要となるロボットを開発するためのシステム化技術ならびに、人間がロボットや情報機器をより快適に使うためのインタフェースデザインに関する技術を広範囲に教育・研究します。



情報科学部 システム工学科

●年次チャート



※情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。  
※科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

## 人間・ロボット共生コース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図り  
人間・ロボット共生社会を実現

人間が安全・安心・快適・便利に生活するための社会システムの実現を目指し、今後ますます重要となるロボットを開発するためのシステム化技術ならびに人間とロボットが共生する社会を実現するためのさまざまな要素技術を広く教育・研究します。

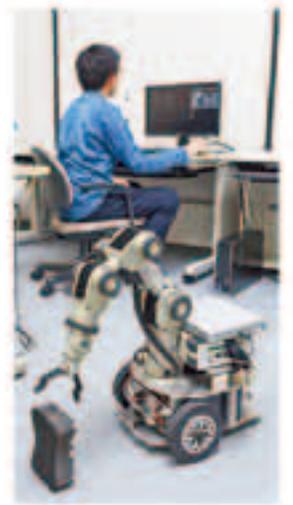
深刻な少子高齢化社会を迎える我が国では、労働者人口の激減や高齢者支援に対応するため、人間社会のあらゆる場面でロボットが活躍する時代がもうすぐ到来します。本コースではこのような「人間・ロボット共生社会」の到来を念頭に、家庭・介護福祉施設・病院・オフィス・工場等で活躍するさまざまなロボットを開発するためのシステム化技術と、それらの基礎学問であるメカトロニクス・制御工学・ロボティクス・プログラミング・数理科学等に関する教育・研究を行います。ロボットを教材にソフトとハードの両方を修得することができ、自動車・家電・機械・IT・ネットワーク機器等のメーカーをはじめ、さまざまな情報技術業界で即戦力として活躍可能なエンジニアを育てます。



研究紹介

実世界クリッカー

体の不自由な被介護者が周りの実物体操作に関する意思を簡単かつ正確に介護支援ロボットに伝達するための介護支援システムです。実世界にある物体を、パソコン内のアイコンと同様に、クリックやドラッグ&ドロップすることでロボットに簡単かつ正確に指示を出すことができます。



カリキュラムの詳細は





## インタフェースデザインコース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図り  
人に優しいインタフェースをデザインする

技術的に高度化し続ける現代社会において人が快適に機械と共存するための  
さまざまな形態の専門分野で、インタフェースデザインの方法論を確立し、  
具現化するためのさまざまな技術を広く教育・研究します。

世の中に無数に溢れる機械や情報機器は誰でも使えるほど優しい設計にはなっていません。本  
コースでは、人間・機械・コンピュータを有機的に結び付けることで、「いつでも、どこでも、だれ  
でも」直感的に使うことができるような優しいインタフェースの実現を目指し、それに必要な  
デザイン技術を学びます。特に、障がい者・弱者・高齢者支援、環境（自動車など）への応用を狙  
い、ヒューマンインタフェース・人間工学・音  
響工学・リアルタイムシステム・セキュリティ  
等の基礎技術を修得します。それらを基に、  
リアルな音質に迫る人工的音響空間のデザ  
イン、直感的で効率的なコンピュータ操作  
インタフェースデザイン、情報機械を効率  
的に動かすためのプログラムデザイン等の  
研究を進める中で、技術とデザインの両者  
を理解する骨太な人材を育成します。



眼球運動測定装置

### 研究紹介

#### 電力線通信(PLC)

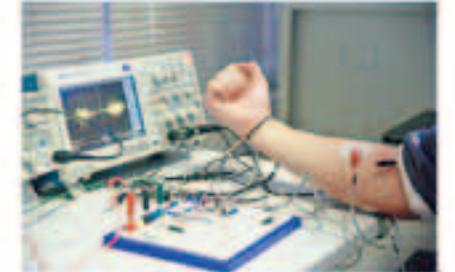
スマートグリッドは情報通信技術(ICT)を活用した次世代の送電線網であり、電力線通信(PLC)はそれを支える通信方式の1つです。電力線通信では既存の電力線を通信路として使用するため、導入コストが極めて低いという利点があります。ところが、電化製品の稼働状況により通信路特性が変動するため、高効率な通信は困難です。本研究では家電モニタリング機能を利用することで、安定かつ高効率な電力線通信の実現を目指しています。



## 医用情報科学科

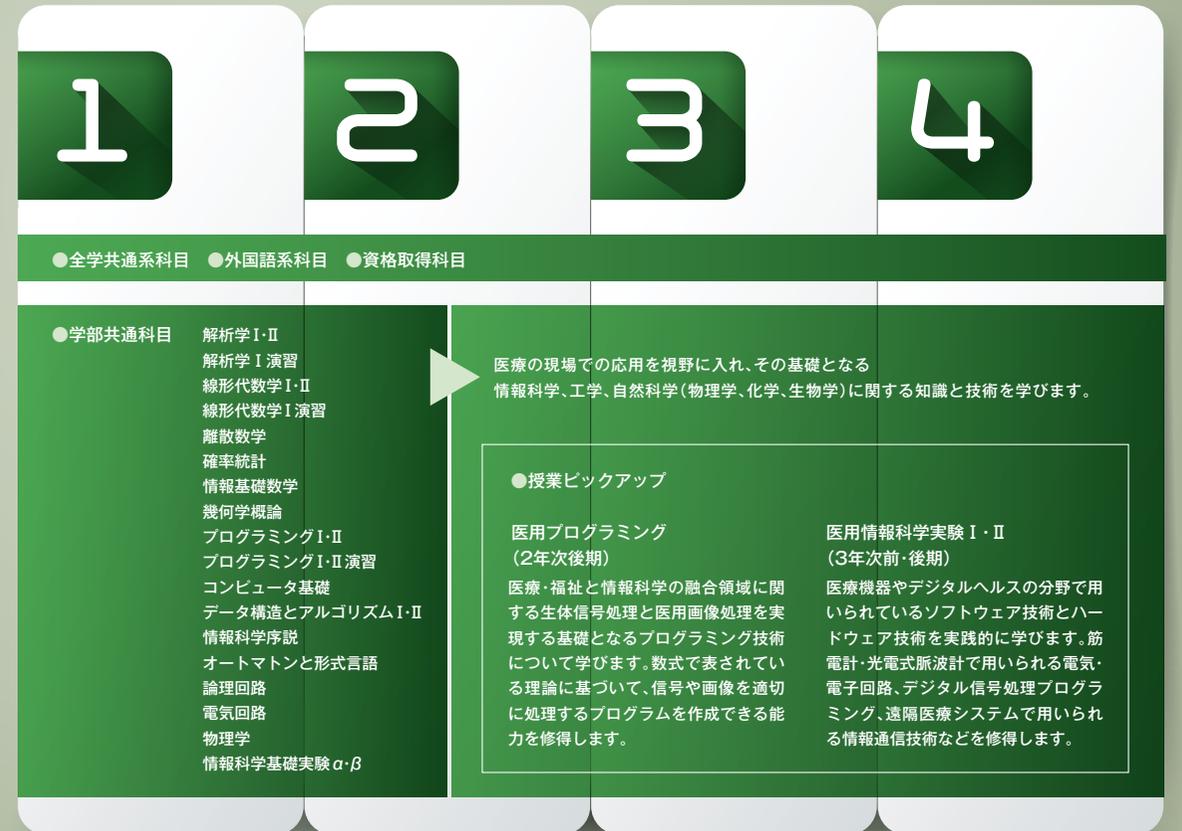
情報科学・自然科学・工学に関する十分な教育とそれを越えた学際色豊かな専門教育

医用情報科学科では、豊かで安心・安全な社会の実現を目指し、情報科学・自然科学・工学に関する学問を基礎とし、その上でバイオインフォマティクス、医用画像処理、医用ロボット工学、生体情報工学、医用情報ネットワークといった融合領域の専門知識・技術を学びます。これにより医療、生命、環境など、現代社会に係る諸問題に対し、既存の学問体系の枠を超えて俯瞰的に取り組むことができる人材を育成します。



医用情報科学実験の様子(筋電計の製作)

### ●年次チャート



※ 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時に行います。  
※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。



情報科学部 医用情報科学科

医療の未来を情報科学で切り開く

「バイオ情報学」「医用画像工学」「医用ロボット」「脳情報科学」「医用情報通信」の5つの研究室で、医用情報科学、生体情報科学に関する最先端の研究を行っています。



医用情報科学科  
ホームページ

研究室紹介

バイオ情報学



計算と実験の両方のアプローチで、情報科学と生物学の学際・融合領域の教育・研究を行っています。タンパク質、酵素などの分子レベル、微生物などの細胞レベル、植物やヒトなどの個体レベルの広い範囲の生物を対象に、生物の持つさまざまな能力を利用し、生命現象の解明と人間生活への利用を目的とした研究開発を目指しています。

医用ロボット



機械・電気電子・情報の融合を図り、かつその出口として医療を見据えることで、これまでにない新たな医療・福祉システムの実現を目指しています。具体的には、マイクロ・メカトロニクス技術を用いた超小型医療デバイス、無痛薬剤投与デバイス、高齢者見守り支援システム、ウェアラブルデバイス等の創成に挑戦しています。

医用情報通信



情報通信技術と医療・医学の融合による新たな医療・医学ヘルスケア技術による社会の創生を目指します。具体的にはBody Area Networkを用いた医療・ヘルスケアネットワークシステム、生体センサシステムによる医療・ヘルスケアシステム、多機能ウェアラブルバイタルセンサとウェアラブルマルチ伝送システム等の実現を目指します。

医用画像工学

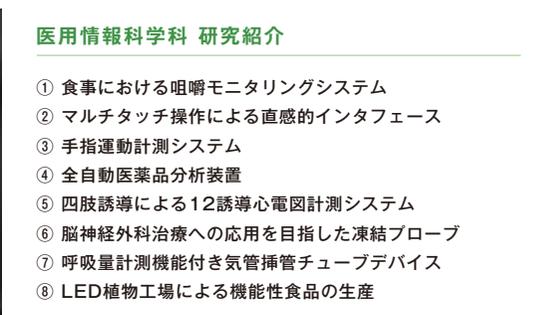
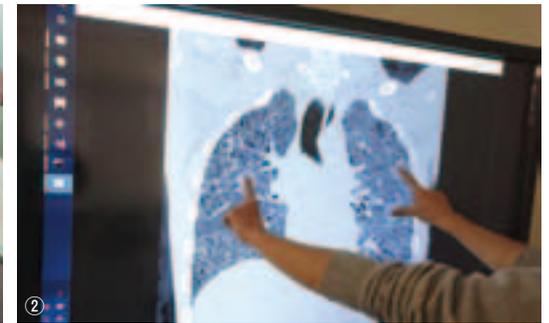


X線CT、MRIなどの医用画像により、生体の形や動き、その個体差、疾患による変化を捉え、医療や医学をサポートする技術の研究を行っています。解剖学的知識などの計算機内での数値表現に基づく医師と同等以上の観察眼や知能、学習能力を持つ機械の実現、および基礎医学に役立つ技術・知見の創出を目指しています。

脳情報科学



先進的な脳機能計測解析技術を開発し、それを医療・福祉・アミューズメント・脳科学等の分野に応用展開することを目指します。脳活動に伴う光や電磁気などの物理現象を斬新な手法で捉え脳信号を高精細で可視化する技術や脳神経系と外部機器とのインターフェースにより身体機能の拡張やアシストを実現する技術を開発します。



医用情報科学科 研究紹介

- ① 食事における咀嚼モニタリングシステム
- ② マルチタッチ操作による直感的インターフェース
- ③ 手指運動計測システム
- ④ 全自動医薬品分析装置
- ⑤ 四肢誘導による12誘導心電図計測システム
- ⑥ 脳神経外科治療への応用を目指した凍結プローブ
- ⑦ 呼吸量計測機能付き気管挿管チューブデバイス
- ⑧ LED植物工場による機能性食品の生産



楽しみながら情報を探せる検索インターフェース

知能工学科 知能メディアコース  
知的メディア工学研究室  
准教授 梶山 朋子

電車の乗り換え方法を探す、面白そうな本を探す、おいしいレストランを探すなど、私たちは、日々、さまざまな「探す」場面に遭遇していると思います。この「探す」場面を支援する技術が、皆さんご存知の検索システムです。探したい情報のイメージ(情報要求)がぼんやりしている時に、キーワードを入力できなかったり、どのカテゴリを選択したらよいか分からなかったりなどと、困った経験はありませんか？ 人と検索システムを直接つなぐ大きな役割を担うのが、検索インターフェースです。

本研究室では、この検索インターフェースに着目し、曖昧な情報要求に対応できる検索条件の入力方法や、検索を進めやすい情報の提示方法について研究しています。実店舗では、さまざまな商品に出会ってワクワクしたり、思いがけない商品を見つけてウキウキしたり、たとえ時間がかかったとしても「探す」ということは楽しいですね。この感覚を大切に、人が検索すること自体を楽しみながら、満足のいく情報へ導かれていくような検索インターフェースの提案を目指しています。



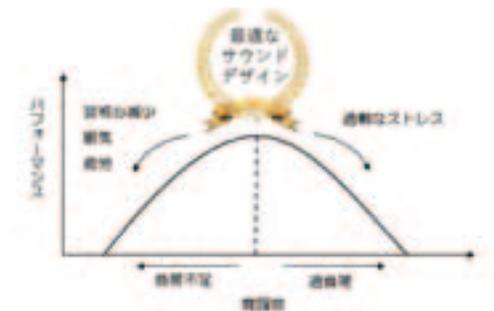
花の色や季節、葉の形やつき方など、検索の切り口を表すリングを組み合わせ、植物を探ることができる植物図鑑アプリケーションです。時計の6時の位置が検索条件を表すため、リングを回転することにより検索条件を変更できます。この図では、花の色が黄色で、葉の形が細長い植物を探しています。道端に咲いている花の名前を調べるなど、小学校の授業で活用されています。



いい音質って何？

システム工学科 インタフェースデザインコース  
サウンドデザイン研究室  
教授 石光 俊介

さまざまなデザインの感性を定量的に評価することはなかなか難しいものです。サウンドを対象にこの難しい感性の定量的評価に取り組むだけにとどまらず、「ヒトに何を感じてほしいのか」からサウンドをデザイン(設計)するとても挑戦的かつ創造的な活動を地元企業の皆さんと行っています。サウンドデザインの評価の一つに「音質」があります。例えば自動車のサウンドデザインにおける「音質」とは何だと思えますか？ 澄んだ音？ 重い音？ 高級感のある音？ それともスポーティな音でしょうか？ それは「期待」です。期待した音、すなわちデザインに合う音であれば、ヒトは「いい音質」と評価しますが、自分が思い描いたものとは違っていた、すなわち期待以下だと「低い音質」ということになります。自分の期待に合う高い音質でワクワクしているときは時の流れを忘れ、ドライバーはとてもよいパフォーマンスを発揮します。よいデザインはよいパフォーマンスを引き出すのです。あらゆるサウンドを目的に応じてデザインする研究を行っています。





情報科学部 知能工学科 4年  
田中 鈴乃  
広島県立賀茂高等学校出身

お客さまと、仲間と、通じ合う。コンピュータではなく人と向き合い、ニーズに応えられる人に。

ソフトウェア関連の企業で2週間のインターンシップに参加し、コミュニケーションアプリ上で動くチャットボット(自動応答プログラム)に機能を付加するという課題に取り組みました。終了後にインターンシップ報告会で発表したのですが、その内容が評価され、企業向けの大学説明会でもポスター発表の担当に選出されました。インターンシップで最初に教わったのは、お客さまへのヒアリング。どんなものを作りたいのか、ターゲットは誰かなど、お客さまとの対話を通じてイメージをすり合わせていくため、SEに

はコミュニケーション能力が求められると学びました。チーム作業なので仲間との意思疎通も欠かせません。高校と大学の学習法で大きく変わったのは、高校では授業と教科書で自己完結していたのが、大学では教授とのコミュニケーションを通じて理解を深めるようになったこと。自発的に知ろうと動く姿勢が重要です。将来はプログラマーとして経験を積み、最終的にはメンバーを統括するマネジメントの役割を目指したいと思います。そのために相手を思いやって行動できる人間になりたいと思います。



情報科学部 医用情報科学科 4年  
川本 祐士  
広島県立広島井口高等学校出身

早く社会に貢献したい。その前にもっと研究したい。2つの希望を叶える最短ルートを目指して。

早期卒業制度を利用して4年生の前期中で学部卒業予定です。3年生から研究室に配属されており、10月から大学院に進学するのですが、大学院でも1年半での早期修了を目標にしています。大学院進学理由は、できるだけ早く社会に出て経験を積みたいけれど、専門分野を研究するには学部の4年では足りないと考えたから。学部と大学院で早期卒業できれば5年で社会に出られるので、私にはちょうどいいのです。研究室に入ってから先輩たちの熱心さをひしひしと感じています。その先輩と同時期に卒業になるわけで

すから、必死に努力して成果を出し、先輩と同じラインに立てるように成長しなければと気を引き締めています。早く学部を卒業するために勉強を頑張ったこともあって、特待生に表彰されたのはうれしかったですね。広島市立大学の情報科学部は、学部に入ってから2年生で学科に配属なので、入学時は専門分野が決まっていなくても大丈夫。1年間、自分の興味や適性を見極める時間があります。私も入学当時は漠然としていましたが、現在は学んだ知識を医療に役立てたいという夢に向かって頑張っています。



情報科学部 情報工学科 4年  
玉田 卓帆  
広島県立賀茂高等学校出身

学んでいる事と日ごろ触れているものとの関わりが見える面白さで、どんどん追究したくなる。

3年生の時に情報工学実験コンテストで、ロボットカーを制御するアンドロイドアプリをプログラミングして優勝しました。ゴールまでのスピードと実装した機能などが評価されるのですが、私は操作性を工夫することでスピードアップを実現し、指定の項目を着実に実装したことが得点につながったのではないかと思います。情報工学科は主にコンピュータやネットワークが対象。普段利用するパソコンやインターネットなどと深く関わる分野なので興味深いです。私は大学で学ぶうちにウェブ関連の技術に関心を持つようになり、

現在はネットワーク技術を追っ追中。高校時代にパソコンに触ったことすらなかった私ですが、そんな私でも楽しめるまでに成長できるカリキュラムが組まれているので、未経験でも心配無用です。プログラミング同好会に所属しているのですが、私はウェブ関連、ほかのメンバーはゲーム、セキュリティ、プログラミング言語の作成など、同じプログラミングでもそれぞれ得意分野があるのが面白いところです。今は情報社会でエンジニアが欠かせない時代。IT企業に就職しなくてもIT知識は強みになるはずですよ。



情報科学部 システム工学科 3年  
亀山 勇希  
京都府立桃山高等学校出身

音楽好きから「音」に興味。音と情報のつながりを理解し、好きなことのために学ぶ楽しみを知る。

広島市立大学を選んだ理由は、音響の研究室。小学生から吹奏楽を続けていて楽器や音に興味があったからです。音の研究といってもテーマはさまざまですが、私が注目したのは車のエンジン音。機械的な音をいかに心地よく聞かせるかなど、身近な環境に関わっていることも興味深いです。私の興味の対象はあくまで「音」であって「情報」ではなかったのですが、学ぶうちに音響と情報のつながりが理解できました。高校は吹奏楽が盛んだだったので部活の合間に寝る間も惜しんで勉強という多忙な毎日でした。それに比

べると今は自由時間が格段に増えたので、図書館で勉強したり、大好きなオーケストラのコンサートに出かけたり、アルバイトをしたり、有意義に過ごし、あとは暇さえあれば楽器を吹いています。有り難いことに、大学から特待生に表彰されました。勉強時間は多い方ではなく効率重視ですが、必ず計画を立て、少量でも決めた課題は必ず終わらせます。進路選びのポイントは、自分が好きな道を選ぶこと。私は学部ではなく研究室が決めた手になったので、こんな選び方もあるのだと参考にしてもらえたらと思います。



芸術学部

Arts



自己表現の可能性を追究するために、理論と実技を身に付け、感性を育む

## 芸術学部

Arts



### 芸術の力

芸術学部長 伊東 敏光

2020年の東京オリンピックや2025年の大阪万博を控えた今日の日本社会において、言葉の壁を越え私達の日常に感動と潤いを与える芸術は、世界の人々に日本人や日本文化を理解してもらうために重要な役割を担っています。そしてまた成熟社会を迎えた現在、個人の嗜好やセンスが表れる美術やデザインは、精神的な豊かさと生活の質を向上させるツールとして今後ますます必要となっていきます。

芸術学部では、芸術の力によって次の時代を切り拓く人材の育成を目指し、美術、デザイン工芸の基礎的な知識や技術の習得を重視するとともに、高い専門性に基じた独創的な表現を身に付けるための教育環境を整えています。そのために、通常のカリキュラムに加え、アートによる地域連携事業や海外の学術交流協定校と連携した国際交流等を積極的に教育に取り入れ、実践的、国際的な体験学習の機会を提供します。

これら恵まれた教育環境を積極的に利用して、高い創作能力を培い、これからの社会を芸術の力によって豊かにして行ってください。

### 求める人物像

豊かな感性と創造力を持ち

時代の変化に柔軟に対応できる

多様な技術を修得したいと考える

学生を求めています。

創作活動を通じて、

地域社会と国際交流に貢献する

意欲を重視しています。

#### ◎関心・意欲

芸術に関心があり、創作・表現に意欲を持ち、創作を通じて国際社会や地域社会の発展に貢献したいと考えている人。

#### ◎知識・技能

高等学校等で習得すべき知識・技能を持ち、創作・表現を学ぶための基礎的な技術・感性を備えている人。

#### ◎思考力・判断力・表現力

関心を持ったことを深く思考し、自らの考えを作品や言葉によって表現できる人。

#### ◎主体性・協働性

創作、協働に対して積極性、主体性を持って取り組み、創作を通じて国際社会や地域と関わりたい人。

### 教育方針

創作活動の基本となる基礎実技を

しっかりと修得し

多様な技術を多角的・総合的に学んだ上で

地域社会や国際交流でも

アートを通して活躍できる

能力を育てていきます。

#### ◎創作活動を続けるために基礎実技を重視

自己の表現を追究する創作活動を続けていくために必要な観察力と造形力を養う基礎実技の修得を重視した教育を行っています。

#### ◎多様な技術修得のための多角的・総合的な教育

独自の表現方法と出会うために、過去から現在に至るさまざまな分野の素材や技術を学ぶことができる、多角的で総合的な教育を行っています。

#### ◎地域と国際を軸に芸術の社会的役割を学ぶ

地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、社会の中で表現活動を行い、芸術の社会的な役割を知る実践的な機会を提供しています。

芸術学部  
Arts

油絵専攻

美術学科

日本画専攻

彫刻専攻

現代表現

金属造形

視覚造形

映像メディア造形

デザイン工芸学科

染織造形

漆造形

立体造形

# 美術学科

日本画専攻  
P074

油絵専攻  
P075

彫刻専攻  
P076

基礎技術修得と幅広いカリキュラムで、創造者としての感性を養い、時代に貢献する人材を育成

美術学科は、純粋芸術の専門的な教育・研究を行います。芸術の創造者としての基盤となる感性を養い、的確な造形表現をするための能力の充実を図ることができる基礎教育を重視します。日本画・油絵・彫刻は、それぞれの分野において造形の体系を形成した歴史や哲学、科学などがあり、人文学的な要素についても学ばなければなりません。それらの確固たる造形性を修得した創造者を目指して、実技演習のみならず教養の充実を図ります。それとともに、現代を思考し、専門領域のみならず幅広い視野で芸術を理解できるようなカリキュラムを組み込み、これからの社会に創造者として発表する上で必要な能力を育て、新たな時代を形成し貢献する人材を輩出することを目指しています。

●年次チャート

	1	2	3	4
	●全学共通系科目 ●外国語系科目 ●資格取得科目			
1年次から各専攻に分かれ、専門的な知識と技術を修得していきます。	●日本画専攻			●卒業制作 卒業制作は、学部4年間の実習と創作研究活動の集大成として成果の発表を行い、自らの創作活動を確立し、社会へのメッセージを発信するものです。制作に当たっては十分な準備と時間をかけて、持てる力を限界まで引き出し、意欲的な表現を探究します。また本学芸術資料館等における卒業制作作品の展示を出発点として、将来の創作活動の方向性を自覚するプロセスともなります。
	●油絵専攻			
	●彫刻専攻			
●専門基礎科目 専攻に関わらず、創作活動の基盤となる幅広い分野の基礎知識と技法を学びます。				



芸術学部 美術学科

## 日本画専攻

基礎教育から独創的な表現に至る指導で、創造性に富んだ人材を育成する

●目標

日本画の伝統的絵画表現という側面と、現代を生きる芸術家としての自由な表現とを両立した、広い視野を持ち、芸術表現の可能性を追求する21世紀に生きる現代日本画作家の輩出を目標としています。4年間の多彩で多様な授業を通して、高い知識、確かな技術を修得すると同時に創造性、独自性に富んだ卓越した人材を育成することを目標に、これからの文化芸術の創造・発展に貢献することを理念としています。

●卒業後の展望

日本画専攻では、優秀な作家の育成とともに、教職課程、学芸員資格等の取得にも積極的に取り組んでいます。教育機関や研究施設における指導者、研究者として芸術文化の振興に携わり、地域の文化に貢献しています。より専門的な技術や高い芸術性の修得を求める学生は大学院への進学を希望します。進学、就職と進路はさまざまですが、多くの卒業生が公募展や個展等で積極的に作品発表を続け高い評価を得ています。

●授業概要

4年間の授業の中で、写生、技術研究等の基礎教育から、独創的な表現に至る段階的な指導を行っています。1年次では材料の扱い方や制作を主に基礎力を高め、2・3年次では写生旅行や古美術研究旅行等によるスケッチ取材や文化財の実地見学の体験を通じ創作の幅を広げます。4年次には、今までの授業の集大成となる卒業作品を制作。各学年とも表現者としての基礎を身に付けるため、デッサンや写生を重視。また、古典模写や、専門的な裏打ち技法や金、銀箔の授業も随時開設するなど、効果的な教育プログラムとなっています。



●アトリエ紹介

日本画専攻では1年間を通して各学年1つの教室で学びます。同級生と日々研さんを重ねて課題に取り組んでいきます。また大学祭の準備や展示など学生生活を通じて最も長い時間を過ごす場所です。課題は主に50号から80号の作品を制作し、4年生になると卒業制作として150号の大作に取り組めます。お互いが刺激し合いながら送る学生生活は、きっとかけがえのない体験となることでしょう。

カリキュラムの詳細は





芸術学部 美術学科



芸術学部 美術学科

## 油絵専攻

絵画技術の的確な修得をそれぞれの強固な基盤に。  
そして芸術の新しい造形と表現の可能性を探る

### ●目標

油絵は西洋の伝統的絵画造形の代表です。油絵を学ぶことは、その根底に流れる西洋の歴史や多様な精神文化も学び知ることになります。西洋の絵画を本質的に理解するため、造形基礎としての写実のみならず、芸術の多様性を知り、やがては新たな自己の表現を目指すことができる教育を目標としています。油絵を学ぶことで自ら現代を広い視野で見ることが出来る人材の育成を理念とします。

### ●卒業後の展望

作家として高い評価を得る卒業生も多く輩出していますが、卒業生が自立する道はそこだけにあるわけではありません。さらに専門性の高い研究の機会を求める者は大学院進学や海外留学を検討します。また、専任・非常勤の教員や学芸員として教育・研究分野へ従事することの他に、培った造形力を生かせるデザインやCG、アニメ業界など多くの選択肢があります。他にも数え切れないほどの社会参加の形はあり、たとえ芸術とは関係のない業界への進路を選んだとしても、卒業生がその根幹として生涯もち続けられるものは、絵画修練で培った思考力と技術力です。

### ●授業概要

油絵を中心に据えながら西洋美術の理解と研究成果を得られるよう、段階的なカリキュラムを編成しています。1～2年次は、デッサンと油絵制作により重点的に造形力を鍛え、銅版画・木版画制作と油絵材料・技法演習を通し、歴史に裏付けられた西洋美術の基礎を学びます。3年次には自由制作研究により表現者としての問題意識の萌芽を促します。古美術研究ではイタリアでの実地研修を経験し、西洋美術の生きた歴史に触れて専門性を高めます。そしてここまでに構成演習などで芸術の多様性にも見識を広げ、4年次に集大成としての卒業制作を行います。



### 版画工房紹介

版画は美術作品として以前に、複製を作り社会に情報を伝播するメディアとして古くから使われ、印刷技術と関係しながら発展してきました。版を介して間接的にイメージを作り上げる「刷る」という行為には、能動的に直接支持体へと描き出す行為とは違い、計画性を保ちながらも画面に現れた偶然性を受け入れるといった、絵画創作の思考を問い直す内容も含まれます。本学版画工房においては、木版、銅版画、リトグラフ、シルクスクリーンの基本四版種に加え、多様な版画技法へのアプローチを可能にする充実した設備をもって、専攻の枠を超えた工房制作の機会を提供しています。また、版画制作者の健康に配慮した「Non-Toxic技法」(ノン・トクシック技法)を導入しており、有機溶剤などの人体に有害な薬品を使用しない版画制作を行っています。

## 彫刻専攻

基礎実習と実材研究を通して  
新たな彫刻表現を探究する

### ●目標

常に実在物や現実空間と対峙することを必要とする彫刻専攻では、塑造実習と実材実習(木・石・金属・ミクストメディア・セラミックス)を中心に、古美術研究旅行、彫刻論等を通して、素材や作品と時間や空間を共有しながら体験的に学ぶことをカリキュラムの核としています。また、古代から現代までの芸術表現を研究することで、現代社会における芸術の役割を認識し、国際交流・地域連携に積極的に取り組みながら、地域文化をリードする国際性豊かな人材を育成します。

### ●卒業後の展望

学部卒業後は、毎年多くの学生が進学を希望し、さらに高度な創作・研究を進めています。また、教職関連や造形力を生かせる職業に就きながら、作家としての自立を目指し、広島を中心に個展を開催したり、公募展やグループ展、プロジェクトに参加したりして、発表や活動の場を広げていきます。さらに、海外の芸術大学へ留学する学生もおり、国際的視野を持ち、併せて地域に根差したさまざまな方面で活躍しています。

### ●授業概要

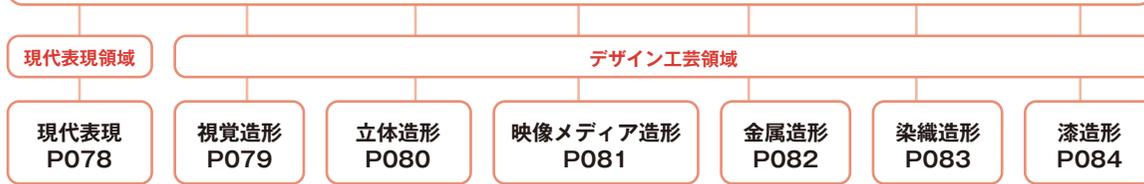
彫刻の基礎となる塑造実習では、4年間を通して人体をモデルに骨格・構造などの仕組みを把握し、自然から彫刻芸術の基礎的な形態を学びます。また実材実習では、1・2年次に実材の基礎的知識と技術を身に付けることを目的として学習・制作に取り組み、3年次以降は各自がそれぞれの実材を選択し、課題に沿った制作活動の中から自己表現の方法を学びます。併せて東洋・西洋の古典、現代までの多様な芸術表現を学習することによって、自らの創造基盤をつくり上げます。



### アトリエ・工房紹介

彫刻専攻では、学部棟内に各学年個別のアトリエや資料室を持つ他に、約2,500㎡の敷地内に木彫工房、石彫工房、金属工房、ミクストメディア工房の4つの専用工房を持っています。各工房内に2.8tクレーン(合計3機)が、野外には20tクレーン(1機)が設置され、常備する3tフォークリフトとの組み合わせで、大きな作品の制作にも対応できます。各工房には専用機械や電動工具を充実させ、学生の追加費用負担を軽減するよう努めています。また、3Dプリンターや3Dモデリングソフト等デジタルメディアの制作環境の整備にも取り組んでいます。

# デザイン工芸学科



確かな造形表現のための基礎を重視しながら、創造的な活動および表現のできる能力を育てる

デザイン工芸学科は、社会と生活に関わる造形芸術の総合的な教育と研究を行うために、創造力、造形力を身に付け、確かな造形表現が行えるよう基礎教育を重視しながら、今日の社会における新しい表現と、長い歴史に培われた造形表現の双方を検証して、より専門的な造形表現へと展開していける学科です。7つの分野を設け、幅広い表現を展開する専門領域の特徴を効果的に教育体制の中に反映させることで、広範な活動領域において柔軟に対応し、創造的な活動および表現のできる能力を育て、新たな時代の形成と社会に貢献していくことができる人材の育成を行います。



芸術学部 デザイン工芸学科

●年次チャート

	1	2	3	4
	●全学共通系科目 ●外国語系科目 ●資格取得科目			
1年次では デザイン・工芸の 基礎実技を通して 幅広い表現法を修得します。	2年次から各専門分野に分かれて実技実習を行います。	現代表現領域 ●現代表現 ●視覚造形 ●立体造形 ●映像メディア造形 ●金属造形 ●染織造形 ●漆造形		●卒業制作 卒業制作は、学部4年間の実習と創作研究活動の集大成として成果の発表を行い、自らの創作活動を確認し、社会へのメッセージを発信するものです。制作に当たっては十分な準備と時間をかけて、持てる力を限界まで引き出し、意欲的な表現を探究します。また本学芸術資料館等における卒業制作作品の展示を出発点として、将来の創作活動の方向性を自覚するプロセスともなります。
●専門基礎科目	専攻に関わらず、創作活動の基盤となる幅広い分野の基礎知識と技法を学びます。			

現代表現領域

## 現代表現

先端的表現の実践と理論構築を学び、現代社会の要請に応える表現を創造する

●目標

現代表現分野では、先端的表現の実践と理論構築を学んで、現代社会の要請に応える表現者の育成を目指します。現代美術の作品制作に加え、作品を発表するために必要なキュレーション(企画展示)とマネジメント(管理運営)のスキルも学びます。世界の美術作品の大多数は、現代美術の領域で作られています。世界各国の美術大学で教えられているのも、現代美術の作品制作です。この分野では、将来、日本でも中心的な領域になる現代美術について専門的かつ体系的に学ぶことができます。また、現代美術の領域では、社会や政治、歴史の問題に積極的に取り組む作家が多く、現代美術を学ぶ場所は重要なポイントです。広島は、史上初の被爆を経験した都市であり、世界で最も知られた都市の一つです。現代表現領域は、日本と世界の諸問題に真剣に取り組む、国際舞台で活躍するアーティストの輩出を目指しています。

●卒業後の展望

海外への留学生が多い現代表現領域では、日本国内にとどまらず世界で広く活躍するアーティストを多数輩出しています。また、従来の作品制作やデザインの枠を押し広げる先端的な表現者としてキャリアを積む卒業生

●授業概要

複数の教員による領域横断的な教育体制を通じて、実技(作品制作)と理論(企画展示、管理運営)の双方を学びます。2年次では、作品制作を主とした課題を通して、制作されたものとコンセプトの整合性を計る基礎を身に付けていきます。3年次ではアートプロジェクトの企画を行います。グループワークを中心としたリサーチから定期的なディスカッションを通して、展覧会やイベントを作り上げる一連のプロセスを修得します。4年次では、個々の学生に応じた表現の指導を行い、これまでの活動の集大成として卒業制作に取り組みます。完成した作品は公開プレゼンテーションを行い、外部の講師による公開講評も実施します。さらに、作品撮影からカタログのデザインまで実践することで、将来の作家活動を広範に支える取り組みも行います。

ラボ紹介

現代表現分野の「CA+Tラボラトリー」は、展覧会やレクチャーなど、多目的に使用できるホワイトキューブの空間に加え、学内外におけるプロジェクトの報告やディスカッション、ミーティングのためのプレゼンテーション・ルームも備えています。また、海外や国内で開催された現代美術に関する展覧会カタログや文献などを3,000冊以上収蔵しています。現代表現分野で学ぶ学生たちは、これらの蔵書を自由に閲覧することができます。





芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

## 視覚造形

ヴィジュアルコミュニケーション・デザインで、  
社会の課題を創造的に解決する

### ●目標

デザインとは、計画的に課題解決方法を考え、その実現のために必要な手法を選択し、実現する創造的活動です。今日その対象領域は、生産・製造業に限らず、私たちの暮らしそのものや、社会のあり方といった具体的な形がないものにも広がっています。視覚造形では、こうした広範なデザインの中で、特にヴィジュアルコミュニケーション・デザインを中心とした、課題解決方法とその新しい表現方法について探究しています。さらに、社会的な創造活動であるデザインには、実社会の中に主体的に課題を発見し、他人と協調しながら、その課題解決に取り組む能力も必要です。視覚造形では、さまざまな実習課題や学外デザインプロジェクトを通じて、こうした能力を身に付け、卒業時には、問題の本質を捉え、創造的な提案ができる人材を育成することを目標としています。

### ●卒業後の展望

卒業生は、広告代理店や印刷会社におけるアートディレクター、クリエイティブディレクターのほか、グラフィックデザイナー、パッケージデザイナー、

### ●授業概要

2年次には、写真撮影、ポスター、エディトリアルなどを通じて、グラフィックデザインの基礎を学ぶほか、関東・関西のデザインの現場を研修旅行で巡ります。3年次には、広告の企画・制作、公共デザイン、デザイン展の企画・実施など、より実践的な課題に取り組みます。4年次には、学生自らが選んだテーマで、ヴィジュアルコミュニケーション・デザインによる卒業制作に取り組みます。



ウェブデザイナー、アーティスト、イラストレーター、漫画家などとして活躍しています。

### スタジオ紹介

VCデザインスタジオは、フリーアドレスのワークデスクと広大な壁面を有し、学生に自由な制作環境を提供。デザインワーク用コンピュータや高精細大判プリンターなどを備えています。隣接する2Dプリントルームでは、冊子印刷や製本加工ができるため、課題制作や各種デザインプロジェクトに利用されています。さらに、学内のフォトスタジオと連携することで、高品質なグラフィックワークも可能です。

芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

## 立体造形

生活の中における人とモノの関係を追究し、  
幅広い視野で本質的なモノづくりを創造する

### ●目標

立体造形分野は生活の中における人とモノの関わり合いをデザインすることに主軸を置いています。効率性や経済性を重視する現代社会においては、モノづくりに込められた心の大切さを見失いがちです。そこでデザインの本質を追究し、幅広い視野で本質的なモノづくりを創造します。「人とモノの本質的な関わりは何か」をキーワードに、生活と社会の中のモノづくりに対する、創造性豊かで自由な発想の導き出し方を学ぶことができます。

### ●卒業後の展望

自動車、家具、玩具・ゲーム、ファッション、Web、店舗設計などのデザインや企画開発といった生活に関わるさまざまな分野にデザイナーとして企業に就職し、身に付けたスキルを発揮する道があります。またアーティストやクリエイターとして独自に活動し、各方面で評価を受けている卒業生もいます。立体造形で培った創造性豊かで自由な発想をもとに、社会で幅広く活躍できる人材を輩出しています。

### ●授業概要

2年次では多様なテーマに対し、調査から構想、実制作までを通して、計画・造形・伝達などの表現に必要な基礎的な項目を修得します。3年次では機能と構造を軸に椅子のデザインと制作を実施、また各自が求めるモノづくりの領域を探る演習を実施し、その成果を公開展示します。4年次には各自が立てたテーマを軸に調査を行い、卒業制作に向けて具体化します。また、芸術資料館のコレクションに直接触れての調査、専門工房での専門技術の修得、地場産業の見学研修で知見を深め、デザイン能力、表現力向上を同時に進めます。



### スタジオ紹介

3Dスタジオではデザインに関わるアイデア構築のための資料と、プレゼンテーションのために必要な空間と設備を学生に提供しています。またスタジオ内に3Dプリントルームを併設し、Shadeなどのソフトで製作された3Dデータを3Dプリンターで出力し、デザインの形や構造の検証を行うことができます。学生はここで練られたデザインを基に各専門工房を使用して作品のプロトタイプ制作に移ることで、基本的な素材の加工技術を修得することにも積極的に取り組んでいます。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域  
**映像メディア造形**  
情報メディアを駆使した表現は、  
現代社会に新しい視覚体験を発信する

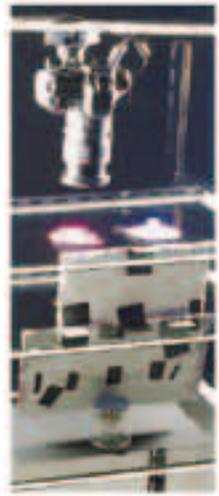
**●目標**  
映像を使った情報ツールは、いまや日常の中に当然のように溢れています。それらをコントロールし情報発信することには、適切な技術と知識が必要です。映像メディア造形では、社会のニーズに応えるための多様な映像表現を、若い感性からなる可能性から新しい視覚体験を創造することを目指し、創作研究を行います。映像という媒体を、「光」「音」「時間」「動き」というエレメントに分解してそれぞれの特性を研究し、多彩なデジタル技術を利用して新しいコミュニケーション表現として再構築していきます。また、多くの映像資料を基に映像リテラシーを養うとともに、CGやアニメーション、そしてICT技術を修得し新しい映像媒体でのアートやデザインの表現を創造していきます。

**●卒業後の展望**  
卒業後の進路としては、映像制作会社、TV放送局、Web制作・デザイン事務所、ゲーム制作業界などへの就職がメインで、身に付けた技術や表現力を社会に向けて発揮しています。また、アーティスト、映像クリエイターとしてフリーランスながら多くの映像コ

**●授業概要**  
2年次では、映像の基礎的構造を理解するためにアニメーション技法を主に実習を行います。「動き」「音」「時間」などのモチーフをも使用して、映像を多様なアプローチで創造することを学びます。また、豊富な映像資料を基に映画の映像制作の実習も行い、総合表現としての制作も行います。同時にコンピュータでの各種アプリケーションソフト技術修得によるスキルアップも行います。3年次では、培った造形感覚を発展し、各自が目指す方向性を探る演習を行い、新しい視覚表現のための創作研究を行います。また、実践的なグループ制作での演習も課し、社会性のある制作を行います。4年次は、卒業制作に向けて、各自の感性とスキルに合わせ計画から試作、実制作へと取り組みます。また、カタログ制作や映像パブリッシュメディアの制作も行います。

ンペティションで受賞、活躍している卒業生もいます。4年間の映像メディア造形分野での研究制作を通して培われた先鋭的感性、情報処理能力、人間力を生かしさまざまな分野で活躍する人材を輩出することを望みます。

**スタジオ紹介**  
コマ撮りアニメーションの専用スタジオや、専有のコンピュータスタジオなど、学生が存分に制作に打ち込める施設を有しています。また、200インチスクリーン、7.1ch音響システムを完備したプレビュールームでの映像作品の講評では、より実践的な視点で作品を観ることができます。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域  
**金属造形**  
金属素材との対話を通じた確かな技術修得、  
柔軟な思考が独自の表現を生む

**●目標**  
人類が金属素材に出会って以来、金属の可能性への探究は、モノづくりへの挑戦から始まったと言えます。わが国の金属工芸には、先人たちが残した世界に誇れる素晴らしい表現技法が多く存在します。金属造形では、「彫金」「鍛金」「鑄金」といった金属工芸の伝統的技法の基礎を体系的に学び、応用技術を修得していきます。また素材や歴史的背景について理解を深め、自己の制作研究を通して感性を高め独自性を追求します。段階的に修得した確かな技術と柔軟な思考を基に、金属造形のジュエリー・クラフト・オブジェ・伝統的工芸といった幅広い領域の中から、現代における工芸、金属造形のあり方を考え、独自の表現と新たな方向性を探ります。

**●卒業後の展望**  
卒業後の進路は、製品開発・製造を行う企業での企画開発、デザインなどの分野で才能を発揮する、あるいはジュエリーデザイナーや工芸作家として独自の表現を追究する作家として、また中学・高等学校の教員、専門学校の講師として学んだ技術を教える立場に立

**●授業概要**  
2年次は、手仕事を中心とする金属工芸の伝統的基礎技法を修得しながら、金属工芸の基本的な知識と技術を学びます。3年次は、課題制作を通じて、複合技術の修得と共に深い知識と高度な技術を学び、高い専門性と応用力を身に付けます。また3学年共通のテーマ制作では、制作から展示までのプロセスを総合的に学び、4年次の卒業研究に備えます。4年次では、各自の卒業制作について綿密な検討を重ね、予備研究、習作を経て4年間の集大成としての卒業制作を完成させます。



つなどさまざまな道に進むことができます。金属工芸を学び磨いた感性を生かし、すでに社会で活躍する多くの卒業生に続き、これからも幅広い分野で自己の創造力を社会で発揮することを期待しています。

**工房紹介**  
ジュエリー作品をはじめ、彫金技法による繊細な制作を行う「彫金工房」、金属の絞り加工（塑性加工）を可能にした「鍛金工房」、鉄材の鍛造（熱間加工）を行うことができる「鍛造工房」といった3つの工房を設置しています。隣接する「金属加工室」では、機械による切削加工、曲加工、切断が行える各種大型機械や遠心鑄造機等を備えさまざまな金属加工を可能にしています。また「鍛金工房」「金属加工室」にはホイスト（2.8tクレーン）も配備され大型作品の制作や移動にも対応しています。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

## 染織造形

染織造形に関わる多様な素材や技術を修得し、  
現代社会における新たな表現を探究する

### ●目標

染織は古来より人間の生活において基本的なものであり、生活を豊かにするものとして、身体や暮らしを華やかに彩ってきました。染織の素材である繊維と染料は、他の素材にはない光沢のある美しい色彩と優しい質感と秀でた可変性を併せ持っています。そしてテーマ、構成、色彩、素材、染色技術、織技術が融合した染織芸術が世界各地で創造されてきました。中でも日本の民族衣装である「着物」は他国に類を見ない高い水準に達しました。現在も日本の染織およびテキスタイルデザインやスーパー繊維の開発による新しい繊維造形は、その独特な美意識によって世界から注目されています。本学の染織造形分野では、日本の伝統技術から現代技術までを研究した上で、現代社会においてより重要になっている染織芸術の可能性を素材、技術、知識といった多角的な視野から考え、染織造形の未来を切り開くことを目標としています。



### ●授業概要

2年次では素材(繊維と染料)に関わる基礎知識を学び、染基礎実習(腸染、捺染)、織基礎実習(綴織、拵織)を通して染織造形の基礎技術を修得します。3年次は浴衣(型染)と浴衣帯(組織織)、染織プロジェクト、テーマ制作を経て、染めと織りの専門性を深め、創作活動を広げます。4年次は各自が卒業制作のテーマについて研究し、卒業作品を完成させ、自己表現の確立を目指します。なお3年間を通して公募展などにも積極的に出品しています。

### ●卒業後の展望

染織造形分野では、繊維、染色、織物に関わる知識と高度な造形力を体得し、現代社会における国内外の多様な分野で活躍できる人材を育成しています。すでに本分野からテキスタイル、グラフィック、インテリア、ジュエリーなどの各デザイナー、染織造形作家、染織文化保存、教員など幅広い分野で活躍する人材を輩出しています。

### 工房紹介

染織造形では、染色を行う染色調合室、染の制作を行う染色工房、織の制作を行う織工房、デザインを作成するパソコン室、プロジェクトを進める制作室を完備し、日本の芸術大学において最も優れた染織工房の一つとなっています。染色調合室には染料と器具を備え、染色工房には各種の防染ができる設備と広い洗い場などを併設し、織工房には京都西陣において特別に製作された綴織機(50cm巾・90cm巾・200cm巾)18台などを設置しています。また、空間造形を制作するための展示設備や植物染料園があります。学部生、大学院生、留学生、社会人講座受講生、教員は、各工房を自由に使用して創作活動を行い、活気のある環境となっています。



芸術学部 デザイン工芸学科

デザイン工芸領域

## 漆造形

ものづくりの必然性を追究し、  
創造性豊かな表現を目指す

### ●目標

戦後の日本は高度成長により先進国として世界にも認識されてきましたが、合理的な経済を推し進めるなかで価値観の画一化が進行しています。その結果、個々の「心の豊かさ」が軽視され、さまざまな社会問題が生じています。漆造形分野では、9千年以上におよぶ人と漆の関わりや技芸を学ぶことで、自然との共生をコンセプトに指導しています。現在も受け継がれる漆の表現技法は自己を覚醒させ、現代人が失いかけていた自然との関わりから「ものづくり」の本質まで、多くのものを導き出してくれます。大学での3年間では学びきれない奥の深い世界ですが、ここでの経験を活かして現代社会に「心の豊かさ」を呼び戻す創造力ある学生を育成します。

### ●卒業後の展望

作家、保存修復、デザイナー、写真家、映像作家、高等学校講師、専門学校講師など幅広い分野で活躍する多くの人材を輩出しています。今後もより多くの分野において漆を学んだ学生が活躍することを望んでいます。

### 工房紹介

漆造形では大学機関として、中国地方唯一となる漆塗り専用の部屋を完備した工房を設置しています。その他共通の木材加工室やプラスチック塗装室があり、実習や各自制作に応じた多様な加工設備を有しています。特に木材加工室では宮島式轆轤機械を導入し、木材の製材から鋼を鍛造した刃物制作、轆轤加工、漆塗りまでの一貫制作を実習に取り入れるなど本学独自の設備環境と指導を行っています。また、広島漆の植栽や漆採取ができる実験林もあり、「ものづくり」の本質となる素材の知識と経験を深めた創作研究の指導を行います。



デザインとアートの狭間で考えてみる

立体造形  
講師 藤江 竜太郎

デザインと表すとなんとでも使いやすくシンプルなものと思われるだろうか。アートと表すと使い道にとらわれない素敵なものか捉えられるだろうか。私は作品を作るとき必ず、どの様な性質のものがこの空間に必要とされているか、どの様なものをこの環境にしつらえたいかという問いから制作イメージを開始します。モノの善し悪しはその形状や機能性のみにあるのではないと考えているからです。

2017年に広島を中心にある地下街、紙屋町シャレオに設置したベンチ「BEYON」は子供やお年寄りにはずいぶん座りにくいものとなっています。しかし、それが悪いデザインだとは考えていません。このベンチは若者が軽く腰をかける様にデザインしています。またシャレオの雰囲気を壊さない様に、空間を軽やかに演出するための造形と配置に気を配ったアート作品としての一面を同時に持たせています。



広島漆の復興から  
新たな文化を生み出す

漆造形  
教授 大塚 智嗣

広島では「漆」と聞いてさまざまな商品や芸術作品をすぐに思い描く人は少ないでしょう。まして本物の漆碗で毎日食事をするような事も…。しかし広島においても京都や金沢に匹敵する、またそれ以上の漆産業、文化が発展していたことが多くの史料や今も残る諸職、産業より推測することが出来ます。これら現在失われつつある多くの伝統産業のなかでも漆は9000年前から利用され、日本の文化に多大な影響を及ぼしてきました。漆造形分野ではかつて生産が行われていた「広島産漆樹」を育

成から漆液の採取まで行い、さらに地元宮島の伝統産業である宮島轆轤(ろくろ)の技術習得をしながら器などの素地制作、そして最終的には漆塗りから蒔絵や螺鈿などの加飾技法まで施した一貫制作を行います。これら地元の産業と結びつきながら実体験をする事で自然の恩恵を受けて生きて来た人と自然との関わりや、「もの」を育て形にすることの難しさを感じながら、創造豊かな新しい「漆文化」が生まれることを願い、実践しています。



「日本画制作の現場」展

日本画専攻  
准教授 荒木 亨子

日本画専攻では、「日本画制作の現場」と題し、第一線で活躍する日本画家を招き展覧会を開催しています。この展覧会は、作品だけでなく構想段階でのスケッチやエスキースもあわせて展示し、作品ができあがるプロセスも紹介しています。完成作品とは異なり、本来見せることを前提としないスケッチやデッサンには、作家の衝動や眼差しがそのまま表れます。エスキースや小下図では、修正や検討の痕跡から作家の意図やこだわりが垣間見えます。制作過程をあわせて展示することで「創作」について考えるきっかけになるのではと考えます。

2018年度は「菅原健彦展」を開催しました。7mを超える巨大な風景作品は、目の景色を体感させる臨場感にあふれています。展覧会場に入り切らず部分展示となった板に金箔地の「雲龍図」などスケールの大きな日本画作品とともに数十点におよぶデッサンやスケッチも合わせて展示されました。



ヒロシマだからこそできる映像表現

映像メディア造形  
教授 笠原 浩

NHK広島放送局で制作されている夏の特別番組に「ヒバクシャからの手紙」があります。これはNHKに寄せられた被爆体験記を基に、さまざまな思いを映像化し幅広い世代に伝えるプロジェクトです。ここ数年、映像メディア造形分野では、このプロジェクトにアニメーションコンテンツ制作として参加しています。

広島で映像を学ぶ学生たちにとって、この地域の抱えた歴史的テーマを題材に映像制作に携わり、エリア放送はもとより全国、全世界にTV放送されるコンテンツ制作の機会を得られることは非常に光栄であり有意義なことと考えます。

大学で学んだスキルを活かして、実践的な制作現場を体験するだけでなく、その制作プロセスの中で表現する意味、伝えることの意義を考えながら、教育の一環としてこのプロジェクトに取り組んでいます。





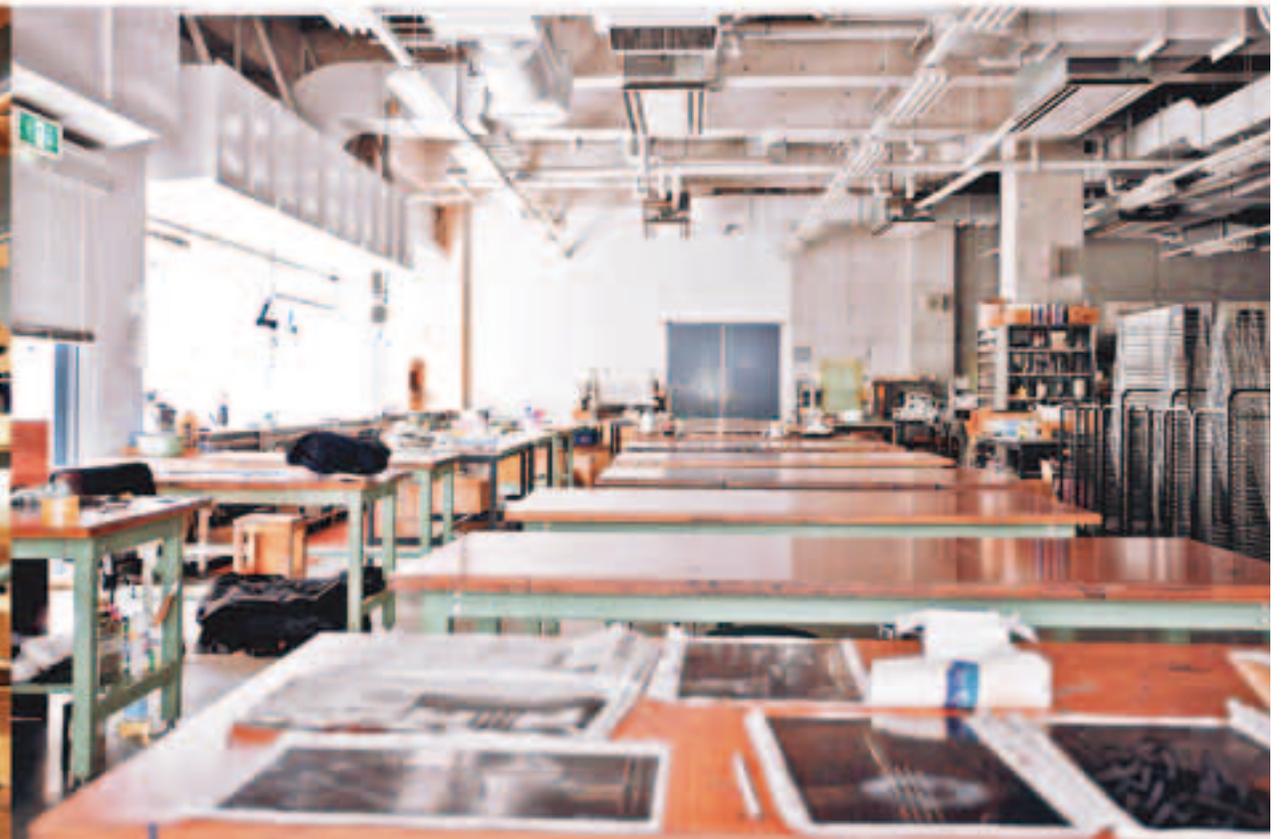
創作工房

- 石彫工房
- 木彫工房
- 金属工房
- テラコッタ窯場
- 鍛金・鍛造工房
- 彫金工房
- プラスチック塗装工房
- 織工房
- 染工房
- 漆工房
- 版画工房
- フレスコ室
- 石膏デッサン室
- 金属加工室
- 木材加工室
- CA+Tラボラトリー
- VCデザインスタジオ
- 2Dプリントルーム

- 3Dスタジオ
- 3Dプリントルーム
- メディアワークスタジオ
- アニメーションワークスタジオ
- コンピュータールーム
- フォトスタジオ
- アートシアター

実習アトリエ

- 日本画アトリエ
- 油絵アトリエ
- 彫刻アトリエ
- デザイン工芸実習室





芸術学部 美術学科 彫刻専攻 4年  
小森 宥羽  
広島市立舟入高等学校出身

多彩な素材の魅力を追求し、多くの出会いと経験からヒントを得て、表現の幅を広げたい。

現代美術が好きで、古典的な彫刻表現というよりはいろいろな素材を使って新しい表現を追求するのを楽しんでいます。展示する際の空間演出のために、映像も手がけるようになりました。広島市立大学に入学した理由の一つが充実した留学制度なのですが、表現の幅を広げるためにも、人として視野を広げるためにも、今のうちに海外に出て、美術に限らず広い世界を見るべきだと思い、9月から1年間ドイツに留学することを決意。一度旅行で訪れたことがあるのですが、ドイツは芸術に寛容で、国中に芸術があ

ふれているところに魅了されました。彫刻専攻はさまざまなプロジェクトに参加できるのが魅力。1年は瀬戸内国際芸術祭、2年と3年は対馬アートファンタジアに携わり、野外での作品設置や展覧会をつくり上げる過程など技術以外の面も大いに学ぶことができ、大変勉強になりました。やはり人と関わり人から吸収するものは多いですね。作品を創る際も、自分が何を目標しているのかなど考えを周りにオープンに話し、どんどん意見を求めることで、自分も作品も成長できるのではないかと思います。



芸術学部 美術学科 日本画専攻 3年  
森下 真帆  
高知県立高知追手前高等学校出身

社会という存在を身近に感じ、多様な感性に刺激を受けながら、新たな手法にも挑戦。

高校では油絵を描いていましたが、地元の県展に訪れた際、日本画に触れる機会があり、岩絵具ならではの立体的な表情や輝きに魅せられ、一気に引き込まれました。広島市立大学に入学してから感じたこの大学の魅力の一つに、芸術以外の学部があることが挙げられます。作品を発表する際は必ず「見る人」が存在し、芸術に限らず広く社会という存在を常を感じながら充実した指導や環境のもと制作できるのは、この大学の強みだと思います。講義や大学祭などで他学部の学生と共に作品を鑑賞し、さまざまな視点から感想を聞けるのも大いに刺激に

なります。2年生の時に受けた彫塑実習で立体を造る面白さを知り、日本画の岩絵具が生み出す凹凸と通じる部分を感じたので、現在はそれらを融合した新たな表現を模索中。油絵に比べると、日本画は高校でも触れる機会が限られており、画材などの特性から一人で始めづらいこともあって、馴染みの薄いジャンルです。そんな中で日本画を愛する人たちと共に制作できる環境は、私にとって大きな励みです。将来は制作を続けながら教育に携わり、子どもたちに日本画の良さを伝えることで、日本画を描く人が少しでも増えたらと思っています。



芸術学部 美術学科 油絵専攻 4年  
山口 達典  
広島市立基町高等学校出身

大好きな油絵に没頭できる恵まれた環境とかけがえのない経験に、幸せをかみしめて。

観光振興を通じて地域創生を目指す事業「COC+」に1~2年生の時に参加し、宮島の観光マップを作成しました。所属していた版画部で依頼を受け、観光名所とともに宮島に伝わる逸話などを「すごろく」形式で紹介し、版画で制作。現地で外国人観光客に手渡して「素晴らしい！」との声を聞いたのはうれしかったですね。版画の技法を高められたのはもちろん、宮島の魅力を再発見でき、大学と地域がつながる意義を実感しました。3年生の時のイタリア古美術研修旅行では街の至る所で名画に触れ、現地ならではの

の贅沢な体験に感動。かけがえのない経験とともに大好きな絵を存分に学べる恵まれた環境に感謝し、イタリア研修で吸収したものを今後の創作に反映すべく、現在試行錯誤しているところです。将来は創作を続けながら、教員として美術を教えたいと考えています。美術は好き嫌いが分かれる科目ですが、少しでも美術を楽しむ子どもが増えればいいなど、自分で選んだ道。好きだからこそ苦悩もありますが、さまざまなチャレンジができるのも大学ならではの、入学するために努力する価値はあると思います。



芸術学部 デザイン工芸学科  
立体造形 2年  
亀山 慶一郎  
高知県立高知小津高等学校出身

自分の居場所を見つめ直すために、もっと広い世界を見渡してみたい。

国際交流に興味があり留学も考えていたため、外国人留学生と共同生活を送る国際学生寮「さくら」に入寮し、多国籍の留学生に囲まれて暮らしています。寮ではフロアのリーダーを務め、留学生をサポートしたりパーティーを企画したり。最初は外国人と接するのに緊張しましたが、勇気を出して話しかけるとフレンドリーで、今では国籍問わず良好な友人関係を築いています。海外に興味があるのは、外側から日本を見ることで、より日本を理解できると考えているから。来年ドイツに留学予定ですが、同じデザイ

ンでも違う環境で学んでみるとどんな発見があるのだろうとワクワクします。今自分にないものを得ることで創作に生かし、いつか人々が想像もしていないようなモノを生み出してみたいですね。世の中には多様な価値観があり、周りからさまざまな評価を受けることがあると思います。真摯に受け止める姿勢も大切ですが、周囲の評価に振り回されない強さも必要。周りと比較して優劣を付けるのではなく、自分にしか創れないものに自信を持って堂々と振る舞うことで、周りを変えられるかもしれません。



# 大学院・広島平和研究所

Graduate Schools・Hiroshima Peace Institute



# 大学院

Graduate Schools

## 大学院の目的と特色

### ■大学院の目的

- ① 高度な学術知識や能力を修得した研究者および専門職業人の育成
- ② 21世紀の地球社会の多種多様な課題を発見、解明、解決するとともに、世界平和の構築に貢献する人材の育成
- ③ 最先端の学問領域を究め、社会の多様性と変化に即応しうる知性と感性と創造性を併せ持つ人材の育成
- ④ 地域と連携し社会に開かれた教育・研究の推進によって、多様化する地域社会の充実と発展に貢献する人材の育成
- ⑤ 高度な学際的関心と旺盛な知的好奇心を持ち、専門的学術研究を志向する社会人のための生涯学習の支援

### ■教育・研究の特色

1

#### 高度な専門的教育・研究

- 専門領域諸分野についての最新の研究成果と研究手法を取り入れた教育・研究を行います。
- 最新の学術情報に接するとともに、学問の深奥に触れ、活発な問題意識を育む教育・研究を行います。

2

#### 高度な専門教育に相応した学際的教育・研究

- 高度な専門性を維持しながら、既存の縦割りの専門分野や研究領域を超えた、広範な横断的視野からの学際的な教育・研究を行います。
- 物事を広範な視野から考察し、総合的視点からの判断力と理解力を養う教育・研究を行います。

3

#### 論理性、創造性、独創性を涵養する教育・研究

- 論理的な思考力を養い、幅広い学識と豊かな人間性を育む教育・研究を行います。
- 研究意欲を高め、高度な専門的学術知識の修得を目指すとともに、創造性と独創性を涵養する教育・研究を積極的に進めます。

### ■大学院組織図

#### 自己の研究をより深め、 視野・思考の幅を広げる大学院の研究

最先端の学問領域を究め、知性と感性と創造性を研くための学問の場である広島市立大学大学院。4つの研究科のそれぞれが、専門分野の高度な研究につながる授業科目群を設置するとともに、学際的な知識を修得して調和のとれた人間形成を図る科目群「21世紀の人間と社会」を開設。社会の指導的役割を果たす能力と人間力を育てていきます。



## 全研究科共通科目群

### 学際的な視野から、明日の地球社会を見つめる

全研究科共通の選択必修科目群「21世紀の人間と社会」は、人文科学、社会科学、自然科学、芸術学など、既存の縦割りによる学問領域を超えて、より広範な学際的領域で編成されています。これらの科目群を通してさまざまな分野の本質に触れることで、学問研究に対する調和のとれた思考と柔軟な批判精神を養うと

もに、修得した専門知識を再構築する機会となります。このように、大学院では専攻する専門分野の既成の枠組みを超えて、常に、新鮮な視点、多様な問題意識、柔軟な判断力を養う、先を見通しにくい21世紀の社会に役立つ調和の取れた教育・研究を行っています。

### ■開設授業科目

<p>◎国際関係と平和 特任教授 吉川 元</p> <p>20世紀の平和と安全保障の概念の変容について講義するとともに、冷戦後になぜ、新しい安全保障の概念や活動が開発されるようになったのか、その背景を考察します。そして、21世紀の平和と安全保障を俯瞰します。</p>	<p>◎日本論 准教授 山口 えり</p> <p>グローバル化が進む現在、これまでの「日本」のあり方を検討することによって、これから生きていくための知見を探っていきます。諸外国のさまざまな文物を柔軟に取り入れて、日本独自の文化へと発展させてきた日本の思考について学びます。</p>
<p>◎HIROSHIMA and the Nuclear Age(ヒロシマと核の時代) 教授 ロバート・ジェイコブズ</p> <p>核兵器開発、ヒロシマ・ナガサキでの使用、冷戦中の核実験など、さまざまな観点から核の歴史について学び、核兵器問題について考察します。特に、核実験と植民地主義の関係性や放射線被曝の影響などを取り上げ、冷戦終結後から21世紀にまで続く核の脅威について学びます。</p>	<p>◎人間論A(人文・社会科学) 教授 柿木 伸之</p> <p>人間とは何か。この問いは、ヨーロッパ思想史において中心的な問題であり続け、「人間らしさ」の実現は、文明発展の目標とされてきました。しかし、文明の発展史において想定されてきた「人間」像が歴史的に作られたもので、その歴史が「人間らしさ」とされてきたものを破壊し、人間の生命を脅かしてきたことを忘れることはできません。本講義では、ヨーロッパ思想史の中で「人間」がどのように捉えられてきたかを検討し、人間とは何かを探っていきます。</p>
<p>◎道具論 教授 及川 久男 ほか</p> <p>道具がどのような存在であるかを論じます。道具存在論、道具が開く文明と文化の歴史、過去と現在、形態と機能、美意識の国際比較、美術、工芸とインダストリアルデザインとの違いなど、道具を使う立場、つくる立場、考える立場、商う立場にとっての道具のありようの見方を論じます。</p>	<p>◎科学技術と倫理 非常勤講師 石田 三千雄</p> <p>科学倫理や技術倫理、科学者・技術者の責任、技術の文明的考察、生命操作技術の倫理や生命倫理学の倫理性、科学技術と公共性、市民の関与、技術倫理の仮題、技術者倫理教育の現状などを論じます。</p>
<p>◎人間論B(自然科学) 非常勤講師 戸田山 和久</p> <p>人間の大きな特徴は「心」を持っていることだといわれてきました。一方で、人間は動物であり、さらに究極的には物質にすぎません。こうした唯物論的な見方に立った上で、人間の心をどのように捉えていけばよいのか、心の科学と心の哲学の交差する領域の問題を考えていきます。</p>	<p>◎都市論 教授 吉田 幸弘 ほか</p> <p>グローバル化やマルチメディア技術の普及とともに都市はますます不可視となってきました。機械化、ネットワーク化する都市は、他方で生命体としての人間のエコロジー回帰を促してもいます。そもそも都市とは何だったのか、歴史の原点に遡り、かつ未来都市を構想しつつ、また視野を広く地球規模に広げて、世界に知られる都市広島においてこそ論じなければならない、21世紀の都市像とそのデザイン方法について実践事例や現地見学を含めて講じます。</p>
<p>◎情報と社会 非常勤講師 神野 新 ほか</p> <p>情報通信技術(ICT)の急速な進化は、電気通信や放送の枠を大きく超えた社会経済全体に波及しつつあります。すなわち、コンピュータおよびネットワークシステムが重要な社会インフラとなり、私たちの日々の生活や社会情勢、企業活動を大きく変革しつつあります。本講義ではICTの発展を俯瞰した上で、社会、経済、消費者、および企業行動、国際関係等に与える影響と問題を把握し、今後、どのように対処すればよいかを検討します。</p>	

## 大学院での教育・研究

### 国際学研究科

国際学研究科(大学院)では、高度な研究を発展させる、あるいは実務的に活躍するためのスキルを磨くことができます。博士前期課程(2年間)と、博士後期課程(3年間)があります。国際学研究科の基本理念は、深い学識と広い視野に基づいて、専門的な立場から国際社会や地域社会に貢献できる能力や技能を育成することです。国際関係、公共政策、経営政策、社会文化、言

語文化等に関わる課題の分析・研究を通じて、国際社会とそれを構成するさまざまなコミュニティが直面している問題点や課題を自ら発見し解決できる実践的な人材の養成と、独自性の高い研究や諸活動に携わることのできる教育者・研究者・実務者の養成を目指しています。

### ■博士前期課程

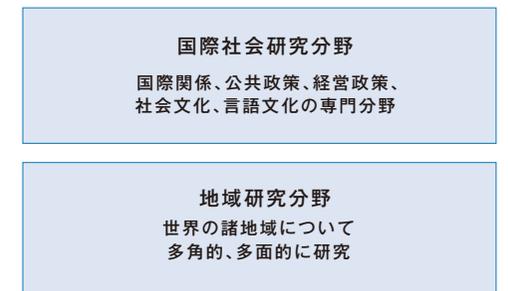
全研究科共通科目、専門基礎科目、専門科目を学んだ上で、修士論文または課題報告書を提出し審査に合格すれば、修士(国際学、学術、または平和学)の学位が授与されます。専門科目は次の5研究群および地域研究と平和学科目で構成されています。

国際関係研究群: 国家、国際組織、市民や非政府組織などの相互関係を、世界各地の国際関係史や政治外交史等を通じて歴史的・理論的に学ぶ。  
 公共政策研究群: 経済・社会のさまざまな課題と、公的組織や企業等の役割・機能・関連政策について理論的・実践的に学び、実践する能力を養う。  
 経営政策研究群: グローバル社会の企業経営について、経営学を通じて理論的・実践的に学び、長期的・多角的視野をもち実践する能力を養う。  
 社会文化研究群: 複雑化・多様化する社会と文化のさまざまな面について、歴史学、社会学、文化人類学、哲学などを通じて歴史的・理論的に学ぶ。  
 言語文化研究群: 言語と文化に関わる様々な課題と人々の社会的営みに果たす役割について、専門的な理論や方法に基づき学ぶ。

地域研究では、既存の学問、またはそれを横断する視点から地域を観察します。このほか平和学専門科目として、平和を学ぶためのコア科目やピース・インターンシップなども用意されています。

### ■博士後期課程

さらに専門性が高い教育、指導を受けながら研究を進めます。所定の学修を終えて、博士學位論文を提出して審査に合格すれば、博士(国際学、学術または平和学)の学位が授与されます。教育課程は、政治、経済、文化の基本的枠組みの上に「国際社会研究分野」と「地域研究分野」の二つの研究分野で編成されています。「国際社会研究分野」ではグローバル化時代において国際社会と多様なコミュニティが抱える諸課題を各専門分野の理論や方法により研究し、「地域研究分野」では日本をはじめ世界各地を対象として政治・経済・文化・言語などについて多面的に研究を深めます。



## 大学院での教育・研究

### 情報科学研究科

情報科学研究科は、21世紀の「情報技術」の先端的専門分野・情報科学と諸学問との学際分野において柔軟な発想と開発力で貢献する人材養成が目標です。そのために、創造性、自立性を養う

自主プロジェクト演習など、科学技術の高度化と多様化に対応したカリキュラムを編成しています。情報科学研究科における人材育成の目標は以下の4つです。

1 コンピュータおよびネットワークについて深く、 広い知識を身に付けるとともに、 コンピュータとネットワークの両者が融合した 新たな情報環境の創出を担える人材	2 知能ソフトウェアや知能メディアに基づいた 高度な知的情報システムの 研究開発能力を持った人材
3 広範な価値観のもとでシステム全体の 高機能化と協調を図る広い視野を持った 研究開発能力を身に付けた人材	4 分野間研究に横断的に取り組み、 柔軟に境界領域、応用領域を開拓する 問題発見・解決型能力を持った人材

#### ■博士前期課程

情報工学専攻、知能工学専攻、システム工学専攻、医用情報科学専攻の4つの専攻からなり、①コンピュータとネットワークの要素技術の研究とその応用、そして次世代のコンピュータとネットワークを創生する能力、②知識基盤社会におけるさまざまな形態のコミュニケーションに対応する知識情報処理を理解し、それをシステム化する能力、③人間、コンピュータ、機械が有機的に結合した人にやさしい高機能システムの開発・実現能力、④さまざまな分野間の研究に横断的に取り組み、柔軟に境界領域、応用領域を開拓できる問題発見・解決型能力、⑤自主プロジェクト演習を通し、自ら独創的研究を計画推進できる実践力を養うとともに、独立して専門的ないし学際的研究を行える総合的な分析力、企画力、判断力さらに国際的視野を身に付けた人材を養成します。

全研究科共通科目、専門基礎科目などを学んだ上で修士論文を作成し、それが認められれば修士(情報工学または情報科学)の学位を取得できます。

#### ■博士後期課程

情報工学系、知能情報科学系、システム科学系、医用情報科学系の4つの系から構成され、以下のような教育・研究を行っています。

- 情報工学系:次世代の情報科学の技術的基礎となるハードウェア・ソフトウェア開発やネットワーク工学の教育・研究
- 知能情報科学系:人間の知的活動の原理を解明し、情報処理の高度知能化や人間とコンピュータの協調を目指した教育・研究
- システム科学系:複雑化・巨大化するコンピュータシステムの統合技術や計測・制御技術の専門的分野の教育・研究
- 医用情報科学系:情報科学および医用生体工学に関連する学際融合分野における専門的教育・研究

前期課程と同様に所定の科目の単位を修得し博士論文が認められれば、博士(情報工学または情報科学)の学位が授与されます。

### 芸術学研究科

芸術学研究科は、高度な文化芸術の創造・発展に貢献することを理念とし、美術、デザイン、工芸に関する卓越した創作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を

果たす、理論を踏まえた高度な専門性を有する人材を養成することを目的としています。芸術学研究科は、人材育成の目的を達成するため、次のような特色を持った教育・研究を行っています。

1 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究を行っています。	2 新しい素材や技法への研さんを深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究を行っています。
3 現代社会に対応する芸術領域の研究として、創作への深い理解に基づいた理論や歴史の教育・研究を行っています。	4 理論の習熟を基にした創作を探究し、創造表現およびその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究を行っています。
5 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究を行っています。	

#### ■博士前期課程

博士前期課程では、美術、デザイン、工芸に関する幅広い知識と高度な技術、深い感性を体得させ、その基礎となる豊かな学識を養うことにより、将来、作家、デザイナー、教育者、研究者、学芸員(キュレーター)、ギャラリストなどの領域において指導的な役割を果たすことができる、幅広い視野と高度な表現力を持った人間性豊かな専門家を養成することを目標としています。

#### ■博士後期課程

博士後期課程では、芸術に関する高度な創造・表現の技術と理論を研究し、芸術文化に関する幅広い識見を有する芸術家および研究者を育成します。他領域との融合を重視し、学際的な識見を持ち、円満な人格と豊かな人間性に貫かれ、併せて時代に対応する創造性豊かで国際的視野を有する人材を養成することを目的としています。

## 大学院での教育・研究

### 平和学研究科 平和学専攻〔修士課程〕

人類史上最初の被爆地である広島に設立された総合大学として、1998年4月に附置研究機関である広島平和研究所を設置し、核兵器の廃絶に向けた学術研究を進めるとともに、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指して、平和に関する学術研究に取り組んでいます。

2019年4月に開設した平和学研究科は、平和学をはじめ国際政治学、国際法学、国際関係論等に関連する専門領域の分析手法を修得し、その上で、現実の諸問題を専門的かつ総合的に分析する能力を有するプロフェッショナルな人材を養成することにより、平和創造および平和維持に貢献することを目的としています。

#### ■研究科の概要

##### ●養成する人材像

- ① 国際関係の仕組み、および政治・ガバナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察できる能力を持ち、同時に、紛争予防と紛争解決に向けた有効な予防措置を考案できる研究者
- ② 平和創造および平和構築に向けた国際公共政策の立案・策定に貢献できる国際公務員、国際NGO・NPOの職員、および公共政策・国際関係の実務に携わる国家公務員・地方公務員
- ③ 今日の国際紛争およびグローバル問題などさまざまな事象を鋭くかつ科学的に分析する手法を修得し、市民社会や国際社会に向けて平和創造の視点から発信する力を有するジャーナリストおよびマスメディア専門家

●取得できる学位：修士(平和学)

●修業年限：2年

●入学定員：10名

#### ■カリキュラムの特色

本研究科開設科目は、核戦争の脅威と悲惨さを学び、その上で、戦争と平和の歴史、およびこれまで人類が構築してきた平和創造の手法を修得することを目指します。これらを系統的に修得するため、開講科目を「研究基礎科目」、「平和の理論」および「グローバル／リージョナル・ガバナンス」の3つの科目区分で構成し、それぞれの科目区分をさらに小さな科目群に区分しています。

#### 研究基礎科目

「分析・接近法」では現代社会の基本的な分析手法を学び、「広島と核」ではヒロシマの歴史と使命に基づき、被爆体験を軸としながら核の脅威を学びます。

科目区分	科目群	授業科目の名称
研究基礎科目	分析・接近法 (5科目)	平和学、グローバル・ガバナンス論、現代社会と平和、現代国際法と平和、日本国憲法と平和主義
	広島と核 (5科目)	核と歴史Ⅰ、核と歴史Ⅱ、被爆の記憶、核文化論、グローバル・ヒバクシャ

#### 平和の理論

国際政治学や国際法学を中心とした平和理論の関連科目から構成され、基本的アプローチとともに、グローバル化時代の諸問題の解決に有効な分析アプローチを学びます。

科目区分	科目群	授業科目の名称
平和の理論	平和と軍縮 (4科目)	軍縮国際法、核軍縮と核軍備管理、国際人道法、科学と平和
	平和の創造 (6科目)	戦争裁判と国際刑事裁判、安全保障論、平和構築論、グローバル・コミュニケーション論、ジャーナリズム論、平和思想と平和運動

#### グローバル／リージョナル・ガバナンス

アジア、特に東アジア地域研究の関連科目を中心とした科目から構成され、現代アジアの国際関係の構造および政治・ガバナンスの基本構造と人間の安全保障との関連を洞察することができる視座と分析能力を養います。

科目区分	科目群	授業科目の名称
グローバル／リージョナル・ガバナンス	地域と平和 (6科目)	東南アジアの紛争と協力、韓国・北朝鮮外交と核問題、現代中国の政治と外交、現代中央アジアの政治と外交、日本の近現代史、日本の平和・安全保障政策
	国際機構と平和 (5科目)	国連論、国際組織と国際制度、地域機構と平和・安全保障、予防外交論、国際環境論

※修士課程修了後さらに高度な専門性を磨けるよう、博士後期課程の開設に向けて準備をしています。



# 広島平和研究所

Hiroshima Peace Institute



広島平和研究所長 大芝 亮

広島平和研究所は、人類史上最初の核兵器による被爆を体験した都市としての歴史を背景に、公立大学法人広島市立大学の附置研究機関として、1998年4月に設置されました。

戦争はなぜ今も繰り返され、なにゆえに核兵器は廃絶されないのでしょうか。平和とはいかなるものなのでしょうか、またどうすれば平和な世界を創ることができるのでしょうか。広島平和研究所は、被爆地・広島における学術研究機関として、これらの課題の分析・考察に取り組み、国際平和文化都市・広島の「知」の拠点としての役割を担います。

本研究所は今年で設立後22年目となり、すでに3期目(1期10年)に入りました。本研究所および広島の市民によるこれまでの成果・取り組みをいっそう発展させるとともに、これらを確実に内外の次世代に伝えていく必要があります。本研究所は、そのためのひとつの方法は、これまでの成果・取り組みを学問として体系化していくことにあると考え、被爆体験に基づく「広島・日本発の平和学」を作ることを目指します。そして、さまざまな機関や人々と連携して、市民、そして世界への情報発信を展開します。

今年度からは、新設の大学院・平和学研究科において、平和の創造に貢献する人材育成を開始します。教育への参画を通じて、研究所のメンバーもまた学んでいきます。

## ● 国際平和文化都市・広島の「知」の拠点

人類史上最初の核兵器による被爆を体験した「広島」の地に生まれた総合大学として、本学では、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指し、附置研究機関である広島平和研究所を設置しました。平和に関する学術研究を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、世界平和の創造に取り組んでいます。

## ● 市民、そして世界への情報発信

広島平和研究所の活動状況は、随時ウェブサイトやニュースレターなどにより世界に向けて情報発信しています。研究成果は、「国際シンポジウム」や「研究フォーラム」および「連続市民講座」等の開催や、紀要「広島平和研究」、「広島平和研究所ブックレット」等の出版物、論文などにより市民に広く公開しています。

## ● 教育への参画

大学院・平和学研究科の教育を担当するとともに、学部教育では、「平和研究Ⅰ/Ⅱ」、「広島・長崎講座」として開講している「平和と人権A(ヒロシマと国際平和)」、「広島からの平和学:実践の方法」、「平和インターンシップ」、「国際化時代の平和」、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」、「HIROSHIMA and PEACE Fall Seminar」、そして「歴史学」、「法学(日本国憲法)」の各講義を研究所教員が担当しています。



## 学部担当科目紹介

### ◎ 広島からの平和学:実践の方法

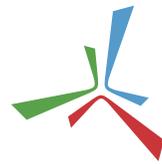
広島における平和の取り組みは、被爆体験を出発点としつつ、世界の多様な課題にも目を向けてきました。本講義は、広島の平和の取り組みに関心を持つ1、2年生を対象とし、広島の経験を生かして平和活動を実践するための具体的な方法論を学ぶことを目的としています。広島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、被爆体験の継承や平和の実践活動を行っている学外の専門家から学びます。最終レポートでは、自ら参加可能な実践活動案に関する提言をまとめます。

### ◎ 平和インターンシップ

広島市周辺に存在する広島平和記念資料館、広島市郷土資料館、広島市現代美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題をより多角的に学びます。本インターンシップは、「広島からの平和学:実践の方法」の後期日程としても実施します。

### ◎ 平和研究Ⅰ/Ⅱ

広島平和研究所教員による国際学部向けのオムニバス形式の講義です。[Ⅰ]では、現代の世界において平和を創造するために何が求められているのかを学問的に追究するために、平和研究に関する基本的な概念や枠組み、方法論を修得するとともに、当分野における問題点、課題などを学びます。広島・長崎をはじめとして戦争体験に根差している地域の視点を主眼に据えつつ、国家から個人に至るさまざまなレベルから平和を創造するためのアプローチを考察していきます。[Ⅱ]では、平和および紛争研究の具体的な事例について、広島平和研究所各教員の研究成果を参考にしながら学び、現代の国際社会が直面する課題について考えます。



## 附属施設

Facilities



# 附属施設

Facilities



## 附属図書館 附属図書館長 塩田 芳丈(特任教授)

図書約33万冊、雑誌約400誌、視聴覚資料約1,700タイトルをコンピュータで集中管理。必要な所蔵資料をスピーディーに手に入れることができます。館内には無線LAN環境が整備されており、Web情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできます。また、ラーニング・commons「いちコモ」では、ディスカッションもでき、多様な学習や交流に役立つ場となっています。地域にも開放された、多彩な空間を持つ図書館です。



## 語学センター

語学センター長 李 在鎬(国際学部教授)

各教室にCALL(コンピュータ支援による言語学習)システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われるとともに、eラーニングを利用した自学習型英語授業「CALL英語集中」や「eラーニング英語」の教室としても利用されています。自習室では、約4,700点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK語学講座のテキストやCDが利用可能です。語学センター入口のランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気です。留学生と外国語での会話練習や交流を楽しむ場として利用されています。



## 情報処理センター

情報処理センター長 藤坂 尚登(情報科学研究科教授)

高性能なネットワーク通信機器を備え、さまざまなネットワークサービスを提供しています。実習室にはパソコンを約160台設置し、「一般情報処理科目」等の教室や自習スペースとして活用されています。教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できます。実習室以外では、学内のあちこちでメールやWeb閲覧ができる無線LAN、休講・補講情報が確認できるデジタルサイネージ、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備も整備しています。

なお、2019年夏に学内ネットワーク機器や実習室の機種更新を予定しています。



## キャリアセンター

キャリアセンター長 西 正博(情報科学研究科教授)

学生自らがキャリア(進路)について考え行動できるように、求人情報などの就職関連情報を随時提供することに加え、就職支援セミナーの実施や企業の採用担当者を多数招く「大学説明会」の開催など、さまざまな支援を行っています。また、経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しており、随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。

## 国際交流推進センター

国際交流推進センター長 松本 良徳(特任教授)

学生の海外留学派遣および留学生受入に関わる企画・広報・実施・相談などのサービスの提供に加え、国際化の面から大学の教育や研究の活性化を広範にサポートする活動に取り組んでいます。また、グローバル人材育成に向けても、熱意のある学生を親身に応援する体制を充実させ、将来を切り開いていこうとする学生を後押ししていきます。

## 芸術資料館

芸術資料館長 南 昌伸(芸術学部教授)

教育・研究のための参考資料として、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチほか、国内外の作家の作品を収蔵しています。また、研究成果としての作品群「光の肖像」シリーズ、デザイナーズチェア68点など、幅広い分野の収集を行っています。企画展や研究発表展の開催、国内外の美術館への作品貸出により、コレクションを一般に公開しています。学生は授業や展覧会でこれらの作品を鑑賞することにより自らの制作に生かし、創作の水準を上げるよう努力しています。



## 附属施設



県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

### 社会連携センター 社会連携センター長 竹澤 寿幸（情報科学研究科教授）

広島市立大学では、教育や研究だけでなく社会貢献にも積極的に取り組んでいます。その対象は、地域住民、地元企業、広島市をはじめとする行政機関などさまざまです。社会貢献活動の中心的役割を果たす「社会連携センター」は、大学と社会、人と人をつなぎ、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の成果を社会に還元するための取り組みを行っています。主な取り組みとしては、産学連携・地域連携の推進、知的財産の管理と活用、学生の社会貢献活動の支援、公開講座などがあります。



産学連携研究発表会



地域貢献事業発表会

### ◎社会連携センターが支援する産学連携・地域連携の取り組み事例

研究成果の産業界への還元を通じた社会貢献

研究成果の社会還元を推進するため、企業等と連携した共同研究や技術相談を実施しています。

- 産学連携研究発表会
- 共同研究・受託研究の促進
- 企業等からの技術相談

行政や市民団体との協働による社会貢献

地域住民や広島市と協力しながら地域の活性化を目指します。

- 行政課題解決への協力
- NPO、市民等との協働事業
- 生涯学習支援
- 大学と行政の協働による創造的な文化芸術活動や地域交流等
- 基町プロジェクト活動拠点施設「M98」での地域再生事業

知的財産の管理と活用

知的財産の権利化、管理、技術移転を行います。

公開講座の開催

市民を対象としたさまざまな公開講座を開催します。

- 一般市民向けの講座、中学・高校生向けのサマースクール、社会人向けの技能講座
- 県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

### ◎2018年度公開講座

学部	区分	テーマ
国際学部	一般向け講座	朝鮮半島を知る～核問題・安全保障・国づくり～ 難民問題と交差する視線「アイ・アム・ロヒンギャ」 「中東における人の移動と難民」
	市大英語eラーニング講座	リーディング・リスニング・文法プログラム スピーキングプログラム ライティングプログラム
情報科学部	小学生・中学生対象講座	ひろしまコンピュータサイエンス塾
	高校生対象講座	高校生による情報科学自由研究
	社会人対象講座	講演会 ・観測機器から出力される信号のデータ処理とコンピュータ ・コンピュータでタンパク質のしくみを解き明かす
芸術学部	一般向け講座	日本画、油絵、版画、彫刻、金属造形、立体造形
	中・高校生向けサマースクール	日本画、油絵、彫刻、デザイン工芸
	社会人向け工芸・版画技能講座	金工、染織、版画、漆

### ◎2018年度県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

言語を通じて世界を知る

- 古典ギリシア語から広がる世界
- 外来語を通してフランスを知ろう
- モンゴル語の世界・モンゴル語から見える世界
- 言語とジェンダーの多様な世界

ひろしま学を考える

- 広島神楽の観光資源化
- 広島ニュートラベル
- ひろしまの人・地域・産業を育む樹木
- もう一つの宮島、瀬戸内海の宝

### ◎2018年度市大生チャレンジ事業

学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマに基づき実施する社会貢献活動に対し、活動費の一部を助成しています。

テーマ	内容
市大生によるパソコンなんでも相談室2018	大学で学ぶ情報科学の知識を、市民や社会に還元するとともに、自身のコミュニケーション能力を向上させる。
広島の中・高校生を対象としたプログラミング教室	コンピュータの仕組みやプログラミングについて知ってもらい、将来を担う立派なIT技術者を教育することを目的とする。
ヒロシマピースキャンプ2018	平和記念式典に参加する国内外の来訪者のための臨時キャンプサイトを運営する。
横川プロジェクト	横川を題材にそこに住む人々やその土地の活気のある風景、建造物など横川独特の風景を生かし、学生の視点から横川の魅力を再発見し発信する。
情報化社会に対する興味を深めよう	今後未来を担う高校生にIT分野にも興味を持ってもらうことを目的とする。
写真作品とカメラのワークショップを通じた基町アパートの地域活性化	基町地区の方に、今の基町を写真作品を通して観覧してもらうとともに、基町地区外の方に基町の魅力を知ってもらうことにより、コミュニティの活性化を目的とする。



芸術学部の学生らが竹を素材として制作・展示した「大塚竹林バイオニアプロジェクト」でのライトアップセレモニーの様子

## 地域に貢献する広島市立大学

広島市の公立大学として、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指している本学は、  
研究・教育等を通じて、地域貢献につながるさまざまな活動を行っています。

### 市大英語 eラーニング講座



独自のeラーニング英語学習システムを利用し、「リーディング・リスニング・文法」「スピーキング」「ライティング」「小学校英語教育指導者養成」「通訳ガイド養成」の各プログラムを学習する市民対象の自習型講座。特に、地域の社会人にとって、英語の「学び直し」の機会となっています。



### 市大生による パソコンなんでも相談室



情報科学部の学生たちがボランティア講師となり、地域のパソコン初心者の方を対象に、ワード・エクセルなどのソフトの使い方からSNSやスマホに関する質問まで、パソコンに関するさまざまな相談にのっています。地域の人たちから喜ばれているだけでなく、学生自身の勉強にもなっています。



### 「光の肖像」展



芸術学部美術学科油絵専攻の教員と学生・卒業生たちが、広島市の被爆者の方たち取材し、肖像を描いて展示する研究プロジェクトです。被爆者やその二世・三世の肖像を描くことで、風化しつつある被爆体験と失われつつある絵画芸術の価値と意味を問いかける展覧会となっています。



### 広島市安佐動物公園 壁画



芸術学部の教員・学生たちが、広島市安佐動物公園内のキリン舎、ライオン舎、クロサイ舎や入退場門に壁画を描きました。その他にも野外ステージやトイレの壁などにも描いていますので、ぜひ探してみてください。また、オオサンショウウオなどをデザインした案内看板はアストラムライン上安駅付近から安佐動物公園までの県道沿いに設置されています。

### デザインマンホール



広島市からデザインを依頼され、本学芸術学部が制作しました。例えば、マツダスタジアム周辺地区に設置されているものは、カープ坊やをモチーフとし、広島らしさを感じられる紅葉を配しています。背景のストライプは、デザインした当時のカープのユニフォームの模様が意識されています。



### お好み焼き ショートムービー



芸術学部デザイン工芸学科・映像メディア造形分野の学生たちが、オタフクソース(株)とコラボレーションしてショートムービーを共同制作。オタフクソース(株)が全国から募集する「お好み焼きの思い出エッセイ」の作品をベースに、学生たちがそれぞれの表現で映像作品化しました。



活動拠点M98で展示物を制作している様子



プログラミング等を学ぶ講座の様子

### 基町プロジェクト



もともちカフェでは、さまざまな交流イベントを企画しています

「基町プロジェクト」は、2013年7月に広島市が地元住民と連携しながら策定した「基町住宅地区活性化計画」に掲げている「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の実現を目指す取り組みです。若者が主体となった創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、まちの魅力づくりや、基町住宅地区の活性化を目的とします。実施に当たり広島市立大学と中区役所が連携し、2014年度から試験的な活動を開始し、「基町プロジェクト～施策展開を図っていくための方向性と基本コンセプト～」を策定しました。2015年度よりこの基本コンセプトに基づいて、長期的な目標を見据えたプロジェクト活動に取り組んでいます。また、本プロジェクトは、広島市が2015年に被爆70周年を迎えるに当たり、被爆100周年を見据えて実施する「まちづくり先導事業」の1つに選定されました。プロジェクトでは、地域に〈学び〉、〈創造〉、〈交流〉の3つの場を創出することを柱として、さまざまなプログラムに取り組んでいます。



### ひろしまコンピュータサイエンス(CS)塾



情報科学部の教員が中心となって指導に当たり、児童・生徒および保護者を対象として、情報科学になじんでもらうことを目的とした特別教育プログラムです。数学や理科はもちろん、さまざまな分野の学問が結び付いた「情報科学」を基礎の積み上げにより理解することは容易ではありません。そこで、小学5年生の段階から保護者と一緒に、プログラミングやロボット制御などの実験や実習を体験しながら、高度で発展的な情報科学の知識や技術に触れる機会を提供しています。科学(Science)・技術(Technology)・工学(Engineering)・芸術(Arts)・数学(Mathematics)の頭文字からSTEAM教育と呼ばれる先進的な取り組みを、本学のさまざまな特性を最大限に生かしながら実施しています。





「地域課題演習」で世羅高原の6次産業を訪ね、梨農園で広島大学と協働作業(世羅町、2018年度)

「地(知)の拠点大学」  
として地域社会に貢献する  
人材を育成

広島市立大学がある広島市と近隣の市や町は、全体で人口240万人を超える大きな経済・生活圏(広島広域都市圏)を形成しています。本学は、この広域都市圏を中心とした地域の拠点となる大学として、2015年度に、文部科学省の地方創生事業の実施校の指定を受けました(※)。地域の活性化には若い世代の力が不可欠です。公立大学として、地域に定着し貢献する学生を育成していくことが、重要な使命となっています。

このため、教育カリキュラムとして全学部共通の「地域貢献特定プログラム」を設け、学年が上がるにしたがって、地域を「知る」「感じる」「問う」「挑戦する」という段階的な学習が行えるシステムを整えています。また、芸術学部では、地域展開型のアートプロジェクトへの参加による実践的な教育を進めています。

※「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(2015年度~2019年度)

学生の地域志向マインドを養成する  
「地域貢献特定プログラム」&  
「アートプロジェクト」

「地域貢献特定プログラム」は、全学共通科目と専門教育科目によって構成する地域志向型のカリキュラムです。1、2年次の共通教育として、広島の観光学、広島の産業と技術、地域再生論入門、地域課題演習などを履修し、2、3年次の専門教育では学部ごとに地域に関連した科目や地域実践演習が組まれています。さらに4年次で地域をテーマにした論文、研究、制作に取り組みます。プログラムの単位修得者には地域リーダーとしての称号が授与されます。このプログラムにより、地域の特性や課題を理解し、課題の解決方法を総合的に考え、ネットワークを形成・調整し、専門性を効果的に発揮するという能力の育成を目指しています。学生は、学内での講義はもちろんのこと、地域の現場に出向いてさまざまな活動を経験することによって学習を深め、地域への関心や志向を高めています。

また、「アートプロジェクト」では、芸術学部の学生と教員が地域に出向き、アートやデザインによって、地域の魅力や資源などにスポットを当てる表現活動を行っています。学外教育として、学生が現場の環境や人々とふれ合いながら、取材、制作を進めるプロセスの中で、地域への発見や気付きを得る機会となっています。作品の展示やワークショップなどの地域活動によって交流も生まれています。



「地域課題演習」で瀬戸内のハワイ周防大島町の島暮らしを体験、島移住の課題と魅力を知る(山口県周防大島町、2018年度)



「地域課題演習」で離島の非日常性を体感する(三原市佐木島、2018年度)



「地域課題演習」で中山間地域の食文化とライフスタイルを知る(安芸高田市、2017年度)

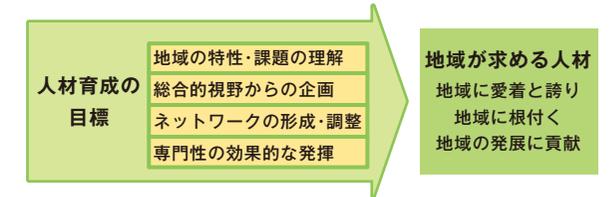


国際学部の「専門演習」(社会学)で山口県の祝島をフィールドワーク(上関町、2018年度)

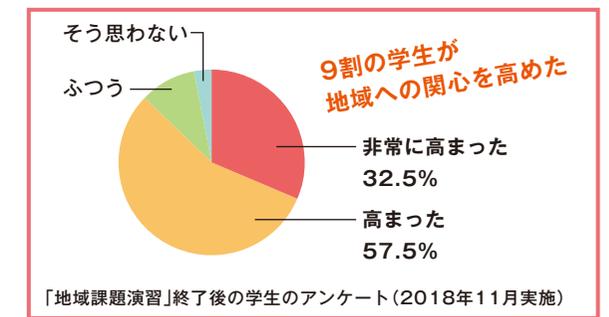


情報科学部の「地域実践演習」で災害情報の効率的な配信に取り組む(広島市、2018年度)

地域に貢献する人材の育成



「地域課題演習」の履修による学生の地域への意識



「アートプロジェクト」で地元の木材を使ったモニュメントを制作設置(北広島町大朝、2017・2018年度、彫刻専攻)



「アートプロジェクト」で旧西国街道に設置するマンホール蓋のデザインを提案(広島市、2018年度、視覚造形)



「アートプロジェクト」で宮島の新しい土産品となる工芸作品を制作し展示(廿日市市宮島、2018年度、金属造形)



# キャンパスライフ

Campus Life



## 学生座談会

テーマ

# 「広島市立大学での大学生活について」

国際、情報科学、芸術、各学部の学生3人それぞれの視点で、  
各学部の学びや特徴、大学生活、広島市立大学の魅力について語ってもらいました。



国際学部  
国際学科 4年  
小西 沙耶さん  
愛媛県立松山中央高等学校出身

情報科学部  
システム工学科 3年  
上見 アンディさん  
崇徳高等学校出身

芸術学部 美術学科  
油絵専攻 4年  
舘 みなみさん  
暁中学校・高等学校出身

—広島市立大学を選んだ理由は？

小西 小学生の頃にフィリピンの貧困に関する映像を見て貧困問題に関心を持つようになって、国際関係を学びたいと思い、市大の国際学部を選びました。

舘 私はダヴィンチやミケランジェロなどの時代に興味があるので、主に古典技法を学べる市大の油絵専攻に。

上見 僕は、IoTの時代でもあるし、車好きなこともあって、制御システムなどに興味があったのが理由です。

—県外出身のお二人が感じた広島のイメージは？

小西 私は愛媛出身なんですけど、外国人が多いなと思ったのが一番。原爆ドームと宮島と世界遺産が二つあるので観光客が多いですね。

舘 私は三重県出身で、映画などのイメージで広島は少し怖

い街のイメージがあったのですが…。

小西 上見 怖くないですよ(笑)。

舘 街はすごくきれいだし、全く危なくない(笑)。緑も多く整備されているので住みやすいです。

—生活やアルバイトは？

小西 私は2年間、市大の寮に入っていて、県外出身者も多い。帰ったら「おかえり」と声をかけてくれるので、さみしくなかったですね。

舘 私は学生マンションで、セキュリティがしっかりしているので安心。ただ最初は慣れないことが多くて。特に食事は、疲れたらつい外食に頼りたくなるけど、体のことを考えるとできるだけ自炊したいですね。

小西 疲れると外食が多くなりがちですね。私はアルバイト先の飲食店で食事が出るので助かります。



舘 私はホテルでパーティーの給仕をしていました。マナーを学べましたし、接客する側の大変さが分かりました。あと自分がモデルを描くので、モデルの立場に立ってみたいくて、デッサンモデルも。こちらも大変さが分かったので、感謝を忘れないようにしています。

上見 僕は宅配ピザのアルバイト。今はアルバイトのみんなに指示を出すポジションを任されています。運転するので安全運転への意識が高まりました。アルバイトも真剣に取り組めば、自分のためになりますよね。

—休日の過ごし方は？

上見 僕は大学の野球部に入っているんで、時間があれば自主練習。体を動かすのが好きなので。

舘 美術館に出かけるほか、庭園が好きなので、広島なら縮景園、地元なら京都や奈良の庭園で癒されています。

小西 休日はアルバイトが多いけど、長期休暇は国内外問わず旅行。英語はあまり話せないけど、現地の人と話したいという気持ちが大事。安くて近いので、行き先は中国、韓国、タイなどアジアばかりですが。

舘 私は3年生の後期に油絵専攻の古美術研修で、2週間イタリアに。ひたすら古美術を回る旅で、教科書に載っているような美しいものばかり見る毎日でした。

—授業内容や印象に残っている課外活動などは？

小西 私は大学で国際ビジネスに興味を持つようになって、今はマーケティングのゼミに入っています。上海のデパー

トで日本酒を売るという広島修道大学主催の授業を、単位互換制度を利用して受講しました。半年間、貿易や中国の文化を学んで、どうすれば上海で日本酒が売れるかを考え、春休みに1週間、現地で実践しました。結構興味を持ってもらえて売れましたよ。現地で中国の文化や価値観、ビジネスの難しさを学べて、有意義な経験でした。

上見 大学に入ってまず一番悩まされたのはプログラミング。でもカリキュラムに沿って1年間頑張れば大丈夫。ほとんどの学生がスタートは同じですから。数学も物理も高校の延長ですが、より専門領域を深められます。僕が興味を持ったのは制御工学で、たとえば車。話題のレーンキープや自動運転のほか、うるさいと思われがちな車のエンジン音をどれだけ心地よく、人に快適な環境をつくれるかなどを学ぶのが面白いですね。

舘 高校まで数学と物理が苦手だったので、情報科学部の研究内容はよく分かっていませんでしたが、あの勉強の延長が、車や身近なものにつながっているんですね。芸術学部は仲間と一緒に取り組めるプロジェクトやワークショップが多いかな。私は版画部に入っていて、COC+という社会連携のプロジェクトに携わりました。芸術学部と国際学部が協力して宮島の観光マップを作るのですが、版画部らしさを考えて「すごろく」という形に。宮島に伝わる伝説や名所を盛り込んだすごろくを版画で表現しました。宮島で木版合宿をして泊まり込みで技術を高め、国際学部の方が英語訳を付けて、完成。宮島で外国人に配って感想を聞き、最後は活動内容をまとめて各大学がプレゼンテーション。大盛況でした。子どもたちにアートに触れてもらうために、呉の野呂山で子ども向けのワークショップを開いたこともありました。





**小西** 大学は、自分で何か行動しようと思えば、何でもできる環境が整っていますよね。

—高校との違いや入学前後のギャップは？

**上見** 受験生の時はものすごく勉強を頑張って、大学に入ったら勉強から解放されると思ったら、そうはいかなかった(笑)。実験も多いし、レポートも書かないといけないし、大学に入ったからこそ、むしろ自分がやりたいことのための勉強が始まるんですよ。

**小西** 高校の時は「授業を聴く」という受け身の姿勢だったけど、大学では全てにおいて自ら積極的に動かないと何も始まらない。授業もテストも自ら選択して勉強しないと成績は上がらないし、高校みたいにクラスがないから友達もサークルやアルバイトなど積極的に動かないとできないし、自主性が大事ですね。

**館** 高校までは勉強が苦手で「勉強させられている」という気持ちがありました。大学では自分で選んで好きなことを勉強できます。面白い授業が多くて、こんな勉強ならもっと頑張りたいって思えます。



**上見** 高校までは毎日同じクラスの同じメンバーに会うのが当たり前だったけど、大学では授業によってメンバーが替わるし、友達をつくるには積極的に動かないとね。

**館** 私はクラスが固定されていないのが結構心地良くて。身軽で、どこにでも行ける気楽さが自分に合っています。



—在学中に頑張っていることは？

**館** 私は何かを「見て」「描く」ことを勉強し、自分の世界観を表現するための基礎を固めたいので、デッサン力を在学中に必ず身につけようとして取り組んでいます。

**小西** 私は第二外国語で中国語を履修したのをきっかけに、中国人留学生と仲良くなったり中国に旅行したりしましたが、実際に自分の目で見て触れることで、中国に対して良いイメージを持つようになりました。言語だけでなく政治や文化も学ぶことで、幅広い視点で物事を見られるようになったと思います。学んだことを次にどう生かすべきか、自分で考える力が付いたかなって。

**上見** あらゆるものがインターネットにつながって、どこで何が起きているのかがリアルタイムで分かる時代になってきています。情報科学部はまさにその領域で勝負する学部で、これから日本が向かうと思われる時代の最先端といっても過言ではない分野を学ぶことができます。本格的に専門分野を学ぶのはこれからですが、ITの知識や技術で社会に貢献できるように、頑張ろうと思っています。あと僕は野球部に所属しているのですが、部活は週1回で、なかなか全員が集まることはできないのですが、そんな状況でも去年は全国大会に出場できました。個人的には自主練習をものすごく頑張ったので、結果が出ると、勉強も部活もやりきったという自信が持てますね。将来技

術職に就くとしても、コミュニケーション能力は必要。勉強だけではなく部活やアルバイトなどにもバランス良く取り組み、人と積極的に関わるのも大事だと思います。

—将来の夢や目標は？

**上見** 僕は人をまとめられるようなリーダーになりたい。そのためには、ちゃんと勉強して専門分野を身に付けたいといけないし、何よりコミュニケーション能力が大事。だから大学のうちにいろいろな人と交流したいですね。

**小西** 私は外国人と関わることが多いので、海外で働いてみたい。大学で学んで多面から物事を考えられるようになったので、一つの問題に対して、さまざまな側面から解決策を自ら考え動ける人になりたいです。

**館** 私は描きたいものが描けるようになってきて、やっと表現方法を考えられる段階に入ったので、大学4年間では足りなくて。大学院に進学して自分の作家性を探っていくつもりです。教員免許を取得しているので、子どもたちの指導にも携わりたいですね。自分もつまずいてきたので、同じようにつまずいている子に、多少なりともアドバイスして力になれるのではないかと。

—これから入学する人たちへのメッセージ

**上見** 高校の数学や物理の基礎が、大学で生きていると実感しています。今は「何の役に立つの？」と思うかもしれない

けど、本当にやりたいことを始めてから見えてくる世界があるので、今の勉強も大事にしてほしい。理系の教科で養われる考える力ってすごく役立つと思うので。大学で専門領域に入れば、実際に社会で役立つ知識や技術を学べるので、きっと意義を感じられるはずです。



**小西** 私は入学当初、国際政治に興味がありましたが、いろいろな授業に参加する中で、ビジネスに面白さを感じるようになりました。大学に入って興味関心が変わることもあると思うので、授業はもちろんサークルやアルバイトなどいろいろなことにチャレンジして、本当に面白くなって思えることを見つけてほしいと思います。

**館** 私は普通科の高校だったので美術の授業が少なく、なかなか絵を描く時間がとれなかったのですが、大学で美術の勉強が存分にできるようになりました。自分のやる気に応えてくれる環境が、市大の魅力だと思います。



## 特色のある課外教育プログラム

### 国際学生寮 さくら

大学の国際化およびグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う国際学生寮「さくら」を2018年4月に開寮しました。共同生活そのものを教育の場とするとともに、多目的室や共用キッチンなどを活用し、学生役職者(リーダー)を中心として、多様な教育プログラムや交流プログラムを実施しています。

#### ◎人材育成コンセプト

国籍の枠を超えた寮生が共同生活を行うことで、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力に優れたタフな人材を育成します。

#### ◎プログラムの内容

※今後実施予定のプログラムを含みます。

##### <寮生向けプログラム>

###### (1) 教育プログラム(日常生活を通じた隠れた教育)

- 言語・文化・習慣の異なる学生との共同生活
- 日常会話における母語以外の語学学習
- 国際学生寮生活規則遵守による秩序ある寮内生活
- 当番制による寮内の定期清掃・ごみ出し・巡回等
- 共同生活におけるルール決め
- 各種寮内会議による寮運営
- 寮運営・交流プログラム等の企画および積極的な参加 など

###### (2) 交流プログラム

- 異文化交流・国際理解(例:各国の料理パーティー、国別の催し事など)
- 日本文化理解(例:七夕・正月などの季節行事、茶道・書道などの文化体験)
- 外国語学習(例:母語を教え合うピアティーチング)
- 地域行事への参加(例:大塚・伴南ふれあい祭りへの参加)
- 歓迎会・送別会 など

##### <その他のプログラム>

###### (1) 教育プログラム

- 英語・第2外国語などを集中的に学ぶ短期宿泊プログラム(例:原則英語のみによる「さくらでミニ留学」の開催)
- 異文化理解プログラム
- 広島平和文化センター等と連携した平和学習プログラム など

###### (2) 交流プログラム

- 夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」参加者との交流
- 海外から短期で来る学生との交流プログラム など



国際学生寮さくら

#### ◎入寮対象者

国際交流や外国人学生との共同生活に対する関心・意欲の高い学生(日本人研究生および科目等履修生を除く)、海外学術交流協定大学からの特別聴講生が対象です。自宅の所在地や経済状況に関わらず入寮できます。



ユニット個室



ユニット共用部

#### ◎寮生活をリードする学生役職者の設置

寮生が楽しく快適な寮生活を送ることができるよう、先輩学生として、寮生を取りまとめて自律的な寮運営をリードする学生役職者がいます。学生役職者には、リーダーシップやストレスマネジメント、AED講習などの学生役職者研修プログラムを受講してもらっています。



大塚・伴南ふれあい祭り

### 広島市立大学塾(市大塾)

広く社会を見つめ、知識を習得し、感性、教養を培い、そして体験する。そのようなチャレンジが、自ら考え、判断し、行動する力を養います。社会における自らの役割を認識した新しい時代を担うリーダーの育成を目指し、授業とは異なる多様なテーマのプログラムを実施しています。

#### ◎プログラムの内容

※第1期、第2期は以下のようなプログラムを実施しました。

##### <定期プログラム>

身近なテーマについて、やさしく、しかし深く考える場となることを目指して、塾長、副塾長をはじめ、NGOなどさまざまな分野で活躍される方をゲストに、講義・講話や関連図書・映像等の紹介、ディスカッションなどを行いました。



塾の風景

##### <その他のプログラム>

定期プログラム前半の総括として、2月～3月に沖縄研修プログラムを実施しました(2018年度は2月27日～3月4日の5泊6日で実施)。また、塾生は1年間自らの学びの総括として、それぞれテーマを設定し、夏季休業期間も活用して調査、視察等を行い、それを報告書としてまとめます。

その他、能、神楽などの伝統芸能鑑賞会や希望者による映画鑑賞会なども実施しました。



沖縄研修

#### ◎塾生の募集

募集の際は、パンフレット、学内掲示などで広報します。知的好奇心を持ち、学ぶ意欲の旺盛な皆さんの応募をお待ちしています。

#### ◎卒塾生の声

##### 外間 泰洋(第1期卒塾 国際学部)

私は第1期生として市大塾のプログラムに参加し、塾生として過ごす1年間で数多くの貴重な経験を積むことができました。ホームレス支援活動への参加や伝統芸能である神楽の鑑賞、沖縄研修では太平洋戦争から現在の米軍基地問題に至る沖縄の歴史を現地で学びました。授業では得ることができない「リアルな学び」を得られることが市大塾の魅力です。市大塾での経験を通じて自分が感じたことや考えたことを塾のメンバーで学部・学年関係なく真剣に語り合う中で、日々成長していく自分を実感できました。大学生活でサークルやアルバイト以外に何か自分のためになることをしたい学生にとって、市大塾での時間はかけがえのないものになるはずです。

##### 徳永 彩香(第1期卒塾 情報科学部)

市大塾で過ごした1年間はとても有意義な時間となりました。生活保護などの社会問題についての学びや能の観賞など、学部ではできない多くの体験や経験を積むことができました。

沖縄研修では、沖縄戦や基地問題について現地でじかに学ぶことにより、沖縄の問題を深く学ぶことができました。また、最終プログラムでは「リーダーシップとは何か」という課題に取り組み、私は作曲家の下村陽子さんにインタビューを行いました。このインタビューを通して、大事なのに忘れてしまいがちな、周りの人への感謝の大切さを学ぶことができました。市大塾では、学部の授業では体験できないディスカッションを多く経験することができます。ぜひ市大塾に入塾し、有意義な大学生活を送ってみませんか。

## 探そう「私」の広島三ツ星



数多くの名産や名所、季節の催し、そして広島を拠点に活躍するプロ選手たち。

広島はさまざまなジャンルの魅力で溢れています。

ここでは、地元の方も県外からの方も楽しむことのできる

広島の魅力を紹介します！

広島のお祭り

## FESTIVAL

フェスティバル

広島3大祭りである、「とうかさ」「住吉祭」「えびす講」以外にも、

アジアで唯一のアニメーションフェスティバルや、日本最大級のパレードなど数多くのイベントが開催されている。



とうかさ

広島市中区にある圓隆寺の総鎮守である「稻荷大明神」のお祭り。毎年6月の第一金曜日から3日間開かれる。広島初の初夏を告げるお祭りで、浴衣の着初め祭りとされている。



フラワーフェスティバル

1975年のカープセ・リーグ優勝パレードを機に毎年開催されるように。平和大通りおよび平和記念公園周辺をメイン会場に、花車のパレードやよさこいパレードなどが開かれる。



広島国際アニメーションフェスティバル

アジアで唯一のASIFA公認のアニメーションフェスティバル。世界4大アニメーションフェスティバルの一つで2年に1度、8月に広島で行われており、本学の教員も委員として、企画・運営等に携わっている。

広島3大プロ

## PROFESSIONAL

プロフェッショナル

プロフェッショナル(広島3大プロ/P3HIROSHIMA)

広島が誇る広島交響楽団・サンフレッチェ広島・広島東洋カープの3大プロが、「PRIDE(誇り)」「PASSION(情熱)」「PROSPECTS(期待)」の3つのPのもとに力を結集し、さまざまなコラボレーション活動を継続的に展開している。



広島交響楽団

1963年に「広島市民交響楽団」として発足。1972年のプロ改組以来、国際平和文化都市「広島」を本拠地とする、中・四国を代表するプロオーケストラ。



©2019 S.FC

サンフレッチェ広島

1992年設立。「サンフレッチェ」は、日本語の「三」と、イタリア語で矢を意味する「フレッチェ」(frecce、複数形)を合わせたもので、毛利元就の「三本の矢」の故事にちなんで付けられた。



広島東洋カープ

原爆投下により壊滅的被害を受けた広島市の復興をスポーツでも盛り上げていこうと1949年設立。広島城のことを「鯉城」と呼んでいたことなどから、「広島東洋カープ」というチーム名に。

広島食文化

## GOURMET

グルメ

中国山地に囲まれ、瀬戸内海をつつむように位置する広島。

山と海の両方から恵を受けて、牡蠣をはじめとした、たくさんのお土産が生産されている。



広島レモン  
(全国生産量1位)

瀬戸内の温暖で雨の少ない気候はかんきつ類の栽培に適しており、その中でも広島県のレモンは呉市、尾道市、大崎上島町などの島しょ部を中心に生産され、日本一の生産量を誇っている。



広島カキ  
(全国生産量1位)

広島湾は島や岬に囲まれ、波が静かで潮の流れも適度にあり、高品質で安心・安全なカキの生育に良い条件がそろっている。殻付、剥き身を含め、全国出荷量の約6割を占めている。



お好み焼き  
(人口1万人当たりの店舗数全国1位)  
(ソース消費量全国1位)

お好み焼き店舗数は現在、広島市内に約900店舗、広島県内においては約1,700店舗もあり、広島食文化として定着している。



探そう「私」の広島三ツ星

広島の  
交通機関

## PUBLIC TRANSPORT

交通機関

およそ100年の歴史を持ち、今も広島を走る路面電車や、  
新交通システムと呼ばれる「アストラムライン」など、歴史と現代の交通機関が調和している都市。



**路面電車**  
(年間輸送人員、車両数全国1位)

1910年に広島電気軌道として開業。  
以来、100年以上広島市内を中心に運  
行が続いている。2013年には、年間輸  
送人員と車両数が全国1位となる。



**日本初の国産乗合バス**  
「かよこバス」(横川～可部間)

1905年2月5日に日本で初めての国  
産乗り合いバスとして横川～可部間で  
運行が開始された。2004年に復元し  
た際には本学の教員も制作に携わった。



**アストラムライン**  
(新交通システムの営業キロ全国1位)

新交通システムとしての営業キロ数全  
国1位。本学芸術学部の学生がラッピン  
グデザインを行い、2015年7月から広  
島市内を運行し、「アサズーライン」の  
愛称で市民に親しまれている。

広島の特産品

## LOCAL SPECIALTIES

特産品

広島県には多くの伝統工芸があり、被爆を乗り越えいろいろな技術を脈々と現在に伝えている。  
さらに特産品で特に優れたものは「ザ・広島ブランド」として認定されている。



**熊野筆**  
(毛筆、化粧筆、画筆の出荷額全国1位)

広島県安芸郡熊野町で作られている  
「熊野筆」。職人の手によって一つずつ  
丁寧に作られている。



**宮島細工**  
宮島杓子・宮島彫り・宮島轆轤細工  
(しゃもじ生産量全国1位)

江戸時代の終わり頃、厳島神社建設の  
ために、鎌倉・京都から宮大工や指物師  
が招かれその技術の流れを工芸品とし  
てくんだことが始まり。1982年に伝  
統的工芸品として国から指定を受けた。



**広島針**  
(手縫い針生産量全国1位  
縫針国内生産量100%)

製造の歴史は遠く三百数十年前、広島  
藩藩主の浅野家が下級武士の手内職と  
して普及させたことが始まり。手縫針、  
待ち針の全国生産量の9割以上を占め  
る最大の針の産地となっている。

COC+  
エリア

# ART & OUTDOOR LEISURE

アート & アウトドアレジャー

## Q 「COC+エリア」って？

本学では、文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」(2015~2019年度)により、広島・山口両県にまたがる25市町を「COC+エリア」(事業協働地域)として、「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材」の育成を進めています。広島市立大学の「COC+エリア」には、にぎわいのある都市部をはじめ数多くの観光地、瀬戸内海や中山間地の自然や田園など、たくさんの魅力があります。「こんな所があるんだ!」「今まで知らなかった!」など、気になる場所をどんどんチェックして、お気に入りの場所を見つけてみませんか？



COC+エリアの  
美術館

- 1 ウッドワン美術館**  
マイセンやゴッホ、ルノワールなどを収蔵。隣接する温泉・スキー場なども魅力。
- 2 泉美術館**  
日本近代の洋画、日本画、中国陶器、彫刻、古美術、木彫などを落ち着いた空間で堪能。
- 3 ひろしま美術館**  
フランス印象派を中心にゴッホ・モネ・ルノワール・ピカソなどの巨匠の作品を常設で展示。
- 4 広島県立美術館**  
広島にゆかりのある画家の作品を中心に収蔵。隣接する縮景園の四季折々の景観も楽しむことができる。
- 5 広島市現代美術館**  
デザイン・建築・映像などの作品も積極的に収集した、現代美術の総合的な美術館。
- 6 東広島市立美術館**  
日本の近現代版画、現代陶芸を柱にし、郷土ゆかりの作家の作品も多数収蔵。
- 7 蘭島閣美術館**  
日本の近代絵画を中心に収蔵している、本格的木造建築の美術館。
- 8 たけはら美術館**  
竹原出身の池田勇人元内閣総理大臣が愛蔵していた「池田コレクション」などを収蔵。
- 9 耕三寺博物館**  
耕三寺耕三氏が母の菩提寺として建立したお寺の一部を博物館として公開。

## 市大生は鑑賞無料

《美術館キャンパスメンバーズ制度》

学生により多くの芸術作品に触れてもらうことを目的に、「広島県立美術館」および「ひろしま美術館」のキャンパスメンバーズ制度に加入しています。本学の学生は、学生証の提示でこれら2つの美術館の常設展・特別展(広島県美術展を除く)を**無料で鑑賞**することができます。



広島県立美術館



ひろしま美術館



- 10 平山郁夫美術館**  
広島出身の画家、平山郁夫の貴重な少年時代からの絵画やスケッチなどを展示。
- 11 尾道市立美術館**  
しまなみ海道を一望できるロケーションで、芸術・文化に接することができる空間。
- 12 和木町立和木美術館「アート・ウィング」**  
絵の展示だけでなく、家族向けのイベントも開催。
- 13 岩国美術館**  
戦国時代から幕末までの武士の武具や武家の生活を彩ってきた芸術品などを収蔵。
- 14 平生町歴史民俗資料館**  
遺跡や古墳が多い平生町で発掘された縄文時代の遺物が数多く展示。
- 15 久賀歴史民俗資料館**  
町の伝統文化を後世にも伝えていくため、町民が使っていた民具などの資料を展示。など



広島県は比較的温暖な気候で、年間を通じて晴天が多く、スポーツに適した環境です。

瀬戸内海沿岸では海水浴やマリンスポーツ、サイクリングなど、北部ではキャンプ、スキー、スノーボードなどアウトドアレジャーが楽しめます。



COC+エリアの  
スキー場

- 1 スノーフィールドもみのき森林公園**  
広くて、なだらかな傾斜のゲレンデ。初心者や中級者に最適のスキー場。
- 2 女鹿平温泉めがひらスキー場**  
スキー場に、温泉・宿泊施設が隣接。最長滑走距離2,300mのロングコースが特徴。
- 3 恐羅漢スノーパーク**  
西中国山地国定公園。冬はスキー、夏はキャンプなど1年を通じて楽しめる施設。
- 4 芸北国際スキー場**  
天然雪のスキー場。西日本最大級の広さを誇る。
- 5 ユートピアサイト**  
日本最大級の人工造雪設備。雪不足の心配なく、西日本最速でオープン。



COC+エリアの  
海水浴場

- 1 包ヶ浦海水浴場**  
世界遺産・宮島の中にもあり、歴史文化と自然を一度に体感することができる。
- 2 県民の浜海水浴場**  
「日本の渚百選」「日本の水浴場」にも選ばれた素晴らしい景観を持つ。
- 3 大久野島海水浴場**  
うさぎ島でもある大久野島の豊かな緑とうさぎに囲まれたきれいなビーチ。
- 4 瀬戸田サンセットビーチ**  
海水浴場のほか、キャンプ場などの施設が充実。夕日スポットとしても有名。
- 5 片添ヶ浜海水浴場**  
山口県内で最も早く海開きする海水浴場。環境省選出の「快水浴場百選」にも認定。
- 6 逗子ヶ浜海水浴場**  
青少年旅行村の中にある海水浴場。キャンプやサイクリングなども満喫できる。

# Campus Calendar

キャンパスカレンダー

## 4月

- 春季休業（～4月上旬）
- 入学式
- 全学オリエンテーション
- 3学部合同新入生オリエンテーション
- 前期・第1ターム授業開始
- 交換留学生とのパーティー

## 5月

## 6月

- 第1ターム定期試験
- 第2ターム授業開始
- ごみゼロ・クリーンウォーク
- プレ・オープンキャンパス（16日）

## 7月

- セタライブ
- 前期・第2ターム定期試験

## 8月

- HIROSHIMA and PEACE
- オープンキャンパス（4日）
- ホームカミングデー（11日）
- インターンシップ（～9月下旬）
- 夏季休業（～9月30日）

## 9月

## 10月

- 後期・第3ターム授業開始
- ライブキャンパス（14日）
- 大学祭（26日、27日）

## 11月

- 通学路等クリーンキャンペーン
- 第3ターム定期試験
- 防火・防災訓練の日
- 第4ターム授業開始

## 12月

- 冬季休業（～1月上旬）

## 1月

## 2月

- 後期・第4ターム定期試験
- 学年末休業（～3月31日）
- 芸術学部卒業・修了作品展

## 3月

- 卒業式、卒業・修了祝賀会

※2019年度のカレンダーです



入学式(4月)



3学部合同新入生オリエンテーション(4月)



交換留学生とのパーティー(4月)



ごみゼロ・クリーンウォーク(6月)



セタライブ(7月)



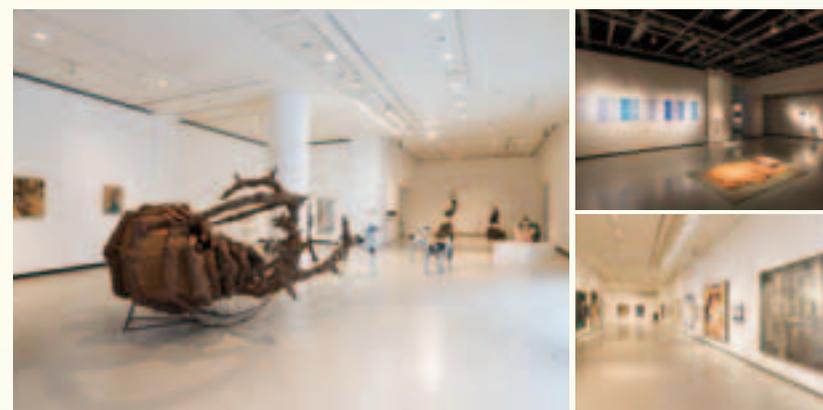
HIROSHIMA and PEACE(8月)



オープンキャンパス(8月)



大学祭(10月)



芸術学部卒業・修了作品展(2月)



卒業式(3月)



卒業・修了祝賀会(3月)



# Support 大学生生活サポート

学生の皆さんが安心して大学生生活を送れるように、大学としてさまざまなサポートを行っています。

## 1

### 経済面をサポート

#### ● 特待生制度

2年次以上の学部生を対象として、成績優秀で、かつ他の学生の模範となる学生に対して1人当たり年額200,000円の奨学金を給付する特待生制度があります。2年生から4年生の各学年10名の学生を特待生として選考し、奨学金を給付します。

#### ● 奨学金制度

本学では「日本学生支援機構奨学金」をはじめ、自治体や民間団体などさまざまな奨学金を扱っています。日本学生支援機構奨学金は、大学に在学する優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者に対して学費を貸与・給付するもので、貸与型には、無利子の「第一種」と、有利子の「第二種」があります。どちらも、出願者の中から、学力、人物、家計等を総合的に判断して、本学が日本学生支援機構に推薦します。また、自治体や民間団体などの奨学金で、大学を通して募集するものは、随時掲示して周知しています。

#### ● 授業料奨学融資 利子補給制度

経済的な不安を抱える学生を支援するため、金融機関と提携し、授業料の融資を受けた学生に対し、在学中の利子を補助する制度を設けています。

#### ● 入学科・授業料等の 減免・徴収猶予

入学前1年以内に被災した場合などの一定の要件で、入学科等の減免を受けることができます。(入学手続までにご相談ください。)また、「経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合」には、授業料の減免または徴収猶予を受けることができます。

## 2

### 生活面(住居)をサポート

#### ● 学生寮「もみじ」

他県出身であるなど、自宅通学ができない学生のための寮です。民間アパート等への入居が経済的に困難な学生に優先して住居を提供しています。学生寮は4棟からなり男女各48室の個室を整備しています。入居期間は2年間で、毎年、男女各24名の新入居学生を募集しています。使用料は月額5,900円(共益費、光熱水費、退居時のための清掃費は別途徴収)で、管理人も常駐していることから、経済的で安心できる居住スペースとして人気があります。また、1階はバリアフリーとなっており、車いすで生活している方も安心して寮生活を過ごせます。

#### ● 国際学生寮「さくら」

2018年4月に大学の国際化およびグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生が共同生活を行う学生寮「さくら」を新設しました。自宅の所在地にかかわらず、国際交流や留学生との共同生活に対する関心・意欲の高い学生に入寮を許可します。「さくら」では6人定員のユニットで日本人学生と外国人留学生とが共同生活をします。ユニットには6人それぞれの個室と6人が共用するラウンジ、キッチン、トイレ、シャワーなどの設備があり、「さくら」全体で16ユニットを整備しています。入居期間は日本人学生1年間、外国人留学生2年間で、使用料は月額20,000円(共益費、光熱水費、退居時のための清掃費は別途徴収)です。

## 3

### 課外活動をサポート

クラブ・サークル活動費や備品整備費、大学祭などの学生主催イベント経費をはじめ、学生が企画・参加して留学生や外国人と交流する国際交流事業、自主研究活動や展覧会などを行うための経費を大学後援会から助成しています。また、ボランティア情報も随時提供しています。毎年6月には、市内一円で行的なごみゼロ・クリーンウォークに大学として参加したり、秋には通学路等クリーンキャンペーンを実施したりするなど、幅広く活動機会を提供しています。その他、テントやクーラーボックスなどのキャンプ用品、ソフトボール用具やテニス用具などの運動用具等の無料貸出も行っています。

## 4

### 心身の健康と安全・安心をサポート

心と体の両面から快適な学生生活を過ごすことができるように、さまざまな配慮をしています。学生の「癒しの場」にもなっている「保健室」ではケガや病気の応急処置と健康相談を、落ち込んだ時の「支え」になる「相談室」では心配事や悩みを聞いたり「自分探し」を手伝ったりする学生相談を行っています。また、セクシュアル・ハラスメントを含む、学内のハラスメントの発生防止を図るため、教職員10名をハラスメント相談員に任命し、苦情の申し出や相談に応じています。さらに、トレーニング方法などを体育教員がアドバイスする「スポーツ相談」も実施しています。他にも、通学中、授業中、またはクラブ活動中にケガをした場合などのために、傷害保険・賠償責任保険の加入手続きをしたり、個人ロッカーの無料貸出を実施したりするなどのサポートをしています。



## 合気道部紹介 Message

私たち広島市立大学合気道部は、現在男性4名、女性6名で月曜日と金曜日の18時半から体育館アリーナで活動をしています。

合気道というとなんだか難しそうなイメージを持つかもしれません。そのとおり、はっきり言って難しいです。例えば、動画で見たダンスやスポーツの技術を真似しようとしても、うまく動けない！と感じたことはありませんか？案外自分自身は、自分が思っているように身体が動かない、一番のくせ者だったりします。合気道ではそんな自分を容赦なく扱い、動かしていくのです。

なんだかんだいまましても、扱うためにいろいろと考え、少しずつ動かしていく過程は、難しいながらも楽しいものです。また、うまく技を決めることができれば、大きな達成感を得ることもでき、動かし方もほんの少しですが分かってきます。

合気道は思うように動かない自分への探求ができる場であり、そこから見いだした面白さを体感するものだと考えています。私たちはそんな合気道が好きで、稽古を続けていますが、何よりも部の雰囲気がとてもいいです。ちょっと気になるな…と思った方はぜひ、見学にいらしてください！

# Clubs & Circles

クラブ & サークル

## Sports (体育系)

[クラブ]

- サッカー部
- ラグビー部
- 硬式テニス部
- 軟式野球部
- トライアスロン部
- 剣道部
- 男子バスケットボール部
- 弓道部
- アーチェリー部
- バドミントン部
- バレーボール部
- 陸上競技部
- ワンダーフォーゲル部
- 水泳部
- 合気道部
- ダンス部
- 女子バスケットボール部
- 卓球部
- T.A.S(ソフトテニス)
- Olive(フットサル等)
- 空手道部

[サークル]

- 少林寺拳法部
- FC海人

[愛好会]

- ハンドボール同好会AMIGO
- fit(トレーニング)

クラブ・サークルは、自分の可能性を広げるとともに新たな「つながり」をつくるきっかけにもなります。本学では、定番のクラブ・サークルに加えて、平和活動を行うクラブなど、ユニークなものも多数あります。学部学生の半数以上が大学公認のクラブ・サークルに所属しており、活発な活動を行っています。



サッカー部



バドミントン部



トライアスロン部



弓道部



アーチェリー部



陸上競技部



ワンダーフォーゲル部



バレーボール部



ラグビー部



Olive(フットサル部)



ダンス部



空手道部



## Bird's eye view (鳥瞰図) Message

こんにちは、鳥瞰図です。私たちは、週1回ほど集まってまちづくりや社会貢献という観点から何ができるかを話し合っています。今年は、全天球カメラ(360°全方位撮影できるカメラ!)や、ドローンの扱い方を勉強し、Google Mapに表示される画像数が少なかった牧場にて、現地に行き撮影したものを複数枚アップロードし、現在、そのアップした画像の表示回数はなんと10,000回を超えました! そのために牧場の方とアポを取り、どのような映像・写真が撮れるかなど下調べし、実際に撮影するというこのプロセスもまた面白いところかなと思います。

また、これから倉敷や尾道に足を運んで、なぜ観光地として栄えているのかなどの調査も行う予定です。

毎年何をするかについては自分たちで自由に決めることができます。自らの興味に沿って自由に活動できるというのがこの鳥瞰図の特長です。地域を盛り上げたい方、地域が抱える問題に対して何かできないか考えたい方、自らのアイデアを実行に移してみたい方など、誰でも歓迎します。ぜひ一度鳥瞰図に足を運んでみてください!

# Clubs & Circles

クラブ & サークル

## Culture (文化系)

【クラブ】

- 茶道部表千家
- 裏千家茶道部
- 自主制作映画研究会
- Music Art Club(軽音楽)
- 電子音楽部
- マンドリン・ギター部
- 吹奏楽部
- 演劇部
- Table Game 研究会
- 上田宗箇流茶道部
- CREATIVE(創作活動)
- マスコミ研究会
- ねっこ広島(環境ボランティア)
- Pret-a-Porter(ファッション)
- S2(平和活動)
- アカペラ部regalo
- HIF(国際交流)
- 天文研究会
- 落語研究会 落花生
- レゴマス部
- Bird's eye view(鳥瞰図)
- いちだい猫の会
- 版画部
- 市大書道部
- にっこり

【サークル】

- Sign(手話愛好会)
- 8bit(電子ゲーム)
- 広島Groove(ボランティア)

【愛好会】

- プログラミング同好会
- ポケモンGO同好会

● 大学祭実行委員会

秋に開催する大学祭の企画・運営をする組織です。



茶道部表千家



自主制作映画研究会



落語研究会 落花生



Music Art Club(軽音楽)



レゴマス部



マンドリン・ギター部



演劇部



上田宗箇流茶道部



CREATIVE(創作活動)



ねっこ広島(環境ボランティア)



S2(平和活動)



Sign(手話愛好会)



- |                        |                |                              |               |
|------------------------|----------------|------------------------------|---------------|
| 1 本部棟・国際交流推進センター・保健管理室 | 5 エネルギーセンター    | 10 国際学部棟                     | 14 体育館        |
| 2 講堂                   | 6 芸術資料館        | 11 情報処理センター                  | 15 グラウンド      |
| 3 図書館・語学センター棟          | 7 芸術学部棟        | 12 情報科学部棟                    | 16 トラック・フィールド |
| 4 学生会館                 | 8 工房棟          | 13 情報科学部棟別館・広島平和研究所・社会連携センター | 17 国際学生寮      |
|                        | 9 講義棟・キャリアセンター |                              | 18 学生寮        |

# Campus Map

キャンパスマップ



喫茶

## ④学生会館

学生食堂、喫茶、そして売店などがあります。売店は2016年度にリニューアルオープンし、いちだいいちば(愛称「いちいち」と命名されました。



学生食堂



## ⑩国際学生寮「さくら」

居住機能に加え、教育的な視点をふんだんに取り入れた学生寮です。



## ⑪学生寮「もみじ」

他県など遠方からの学生に対して安価な住環境を提供する学生寮です。



## ②講堂

壁面レリーフや舞台の緞帳などに芸術学部教員たちの作品を生かした、本学ならではの施設です。大小のホールと、国際会議も可能な同時通訳設備や大型スクリーンがあるなど、機能も充実しています。



## ①保健管理室(保健室・相談室)

心身の健康上の悩みや相談に応じ、学生の「疾病の予防」と「健康相談」、「カウンセリング」を中心に健康の維持増進を図ります。



## ⑬体育館

バスケットコートが2面使用できるアリーナや、本格的なトレーニングルーム等を備えた施設です。授業やクラブ、サークル活動のほかにも、多目的な利用が可能です。



## ⑬グラウンド、トラック・フィールド

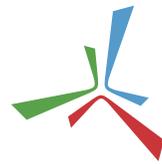
全天候型のテニスコート4面と、野球、サッカーなどが可能なグラウンド、トラック・フィールドがあります。クラブやサークル活動以外にも利用することができます。

## 広島市立大学 サテライトキャンパス



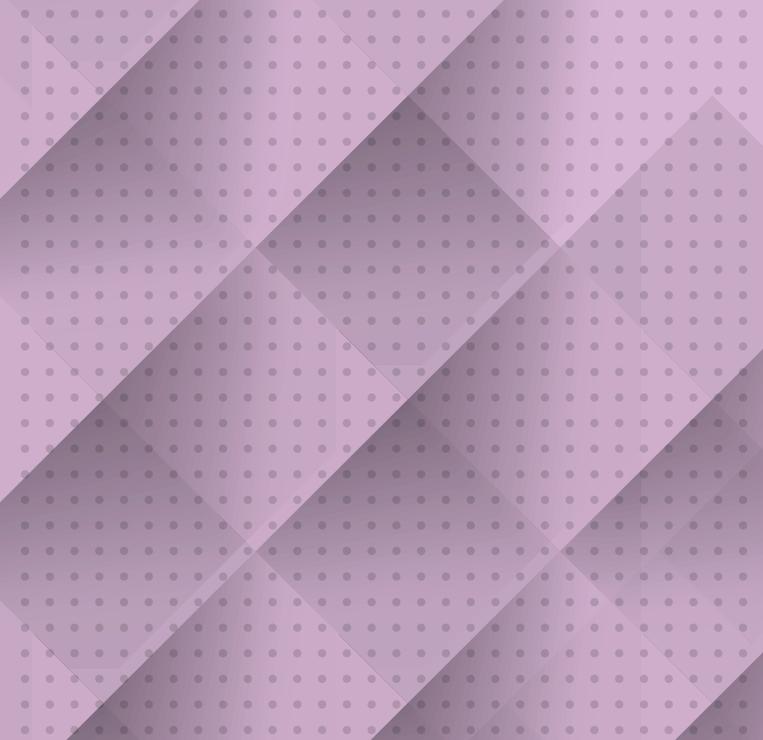
所在地：広島市中区大手町四丁目1番1号  
大手町平和ビル9階

本学の市中心部における活動拠点機能強化と市民の生涯学習のさらなる推進のため、市中心部にサテライトキャンパスを開設しています。セミナールームやPCルーム、小教室などを備えており、各種講演会、セミナー、公開講座を実施するほか、学生と地域住民との交流の場としても活用しています。



就 職

Careers



# 就職

Careers

## 進路支援の2つのポイント

# 1

## 大学をあげての支援

学生のキャリア形成支援・就職支援は、文字どおりキャリアセンターが中心となって全学的に取り組んでいます。大学説明会・情報交換会、学内合同企業説明会の開催、大阪・東京・岡山方面の企業研究ツアーの実施、各種就職支援セミナーの開催、保護者対象の教育・進路説明会の実施など、さまざまな角度からの就職支援を、後援会と連携・協力しながら取り組んでいます。

# 2

## きめ細かな個別指導

教員と学生の距離が近い本学は、就職支援でもその環境が活かされた細やかなサポートを実現しています。キャリアセンターでは、就職活動だけでなく個別の進路相談に対応しています。志望や適性に沿って一人一人に合った指導を行い、キャリア形成を支援しています。

## 就職活動体験談



国際学部 国際学科4年  
森原 奈央

### 本当に、なんでも相談できる

私が初めてキャリアセンターを利用したのは2年生の頃でした。友達はどうも留学するなか、自分は将来についてまだ何も決まっていな！という焦りがあったからです。キャリアセンターの方は、留学は就職に有利なの？ 学部の特性を生かした仕事に就く人はどれくらい？ といった疑問にいていねいに答えてくださり、本気で自分の進路を考えるきっかけになりました。本格的に就職活動を始めてからは、OBの紹介やエントリーシートの添削など基本的な支援はもちろんですが、特に一対一で相談できたことが心の支えになりました。妥協したり諦めたりすることが多々あり、キャリアセンターの方に相談しているうちに、悔しさと不安で涙が止まらなくなった日もあります。それでももう少し頑張ろうと思えたのは、キャリアセンターの方がいつでも親身に私の話を聞いてくださったからです。自分にとことん向き合えるのは、就職活動の幸さであり良さでもあると思います。キャリアセンターを活用しながら、自分に合った就活スタイルを見つけて頑張ってください。



情報科学部 情報工学科4年  
柴 和成

### キャリアセンターとともに就職活動を

私は部活動をしていたので、冬から就職活動を始めました。スタートが遅くなったこともあり、当初はとても焦っていました。エントリーシートを書き始めた時も、書く内容がなかなか決まりませんでした。そこで、キャリアセンターを訪れました。最初キャリアセンターを訪れたときは緊張していたのですが、アドバイザーの方がとても優しく指導してくださったので、何度も足を運ぶようになりました。エントリーシートを添削していただいた際も、自分の意見を言いやすい雰囲気だったので、とても満足できるエントリーシートを作成することが出来ました。また、面接練習は何度もすることができ、自分の回答に対する想定質問まで考えてくださったので、本番の面接にあまり緊張することなく臨むことができました。今でも書類の書き方に悩んだときなどに相談させていただいています。就職活動は一人で抱えなくてもよいので、キャリアセンターなどさまざまな方に相談してください。そして、自分から行動することを恐れずに、悔いのない就職活動をしてください。



芸術学部 デザイン工芸学科4年  
古田 菜々香

### 焦りや不安が自信に変わりました

私が就職活動を始めたのは大学3年の3月でした。それまで企業説明会やインターンシップに行ったこともなく出遅れたかもしれないと焦っていました。当然エントリーシートの書き方も分からず試行錯誤しており、そんな時にキャリアセンターにお世話になりました。アドバイザーの方々にエントリーシートの添削・面接練習をしていただき、文章の構成・ことば選びや面接での受け答えのポイントなどさまざまな面でアドバイスしていただきました。練習を繰り返していくうちに焦りや不安が少しずつ自信に変わっていききました。

また、私にとって就職活動中に最も良かったと感じたことは志望する企業のOG訪問でした。志望企業に市大のOGの方がいることをアドバイザーの方に伺い、OG訪問のコンタクトを取っていただきました。OG訪問は企業説明会とは違いフランクに質問ができ、仕事の様子や内容についてさらに深く理解できて非常にためになりました。芸術学部であれば作品のポートフォリオも作ると思います。私は先輩が当時制作したポートフォリオも見せていただき参考になったので、ポートフォリオについてOGOBの方に質問することも良いと思います。ぜひ、OGOB訪問をしてみてください。

今回企業にご縁を頂いたのも私一人の力ではなくアドバイザーの方やさまざまな人のおかげだと感じています。キャリアセンターにこんな事を聞いてもいいのだろうか、と思うこともあるかもしれませんが、そんな時こそキャリアセンターの扉を叩いてみてください。きっと良い方向に向かいます。

※学年は取材当時

## キャリア形成・就職サポート

### ■大学説明会・情報交換会

大学説明会では、約250社の企業の採用担当者を招待して、学生および教職員が一体となって本学の概要や各学部、研究科の特色などを紹介しています。情報交換会では、学内外で活躍している学生によるポスタープレゼンテーションや芸術学部卒業生・修了生作品のタペストリーの展示を通じて、学生の意欲や資質をPRしています。学生によるプレゼンテーションは企業の方から好評をいただいています。



### ■学内合同企業説明会

企業の採用担当者と学生の情報交換の場として実施しています。2019年3月には2020年3月卒業・修了予定の学生を対象に3日間で198社の企業の参加がありました。「市大生を採用したい」と熱望される企業ばかりで、毎年、この説明会の参加企業に多くの学生が内定し、就職しています。近年では本学卒業生が採用担当者として参加することが多くなり、人のつながりが広がっています。



### ■OBOG交流会

学内合同企業説明会の開催日に合わせて、昼食時間帯に学生と本学卒業生、教職員との情報交換の場として2017年度から実施しています。同世代の社会人の先輩と昼食をとりながら、就職活動へのアドバイスをいただいたり、仕事や社会人生活について本音で話し合ったりするなど、楽しく有益な交流の場となっています。この場で築いた関係が継続し、「市大の絆」が広がっていくことを楽しみにしています。



### ■キャリア形成・実践科目



本学では教育課程全体にキャリア教育の視点を取り入れ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力(社会人基礎力を含む)や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育を総合的に実施します。

「キャリアデザイン(i・ii)」、「キャリアサポートベーシック(A・B)」は、キャリア形成のための全学共通系科目です。卒業後の夢や目標の実現に向けて、大学で何を学び、大学生活をどう過ごせばよいかを考えながら、具体的な知識・スキルを学びます。

また、各学部の専門教育においても、キャリア形成の視点を取り入れた授業科目を開設します。

### ■キャリアデザイン(i・ii)

「キャリアデザイン」とは、社会的・職業的に自立した自分らしい生き方を、主体的に構想・設計することです。この講義は、キャリアデザインの実現に向けて大学生生活をデザインするとともに、大学生生活を充実させ社会で活躍するために必要になるスキルや有用な手法について学修します。

### ■キャリアサポートベーシック(A・B)

キャリアデザインの実現を支援する授業科目です。

担当教員の講義だけでなく、自己分析、企業研究、職業適性診断や、企業に関する情報収集のポイント、履歴書・エントリーシート作成のポイント、面接対策等について専門的な知見を有した外部講師による講義・演習を行うほか、社会人として活躍している本学OBOGの講話等も取り入れて授業を展開します。

また、夏季休業中のインターンシップ参加や本格的な就職活動を視野に入れた具体的・実践的な学修を行います。

### ■就職支援パートナーシップ制度

本学は、「就職支援パートナーシップ制度」に参加しています。この制度は、在籍する大学がある地域とは異なる地域で就職(Uターン、Iターンなど)を希望する学生のために、各大学がサポート(地元の求人情報の閲覧、学内合同企業説明会の情報提供、就職相談、就職ラウンジの利用など)を行うものです。

#### パートナー大学

- |          |         |         |          |
|----------|---------|---------|----------|
| ◎横浜市立大学  | ◎兵庫県立大学 | ◎信州大学   | ◎名古屋市立大学 |
| ◎北九州市立大学 | ◎大阪市立大学 | ◎都留文科大学 | ◎首都大学東京  |
| ◎静岡県立大学  | ◎福井県立大学 | ◎国際教養大学 | ◎山梨大学    |

## ■ インターンシップ

企業などで実習体験する「インターンシップ」をキャリア形成の柱の一つに位置付けています。単に体験するだけでなく、実習と事前セミナーや報告会とを組み合わせるものを目指し、インターンシップ研修の充実や協力企業の開拓にも取り組んでいます。

また、広島市教育委員会と連携して、教員志望者を対象とした広島市立学校での実習体験活動も行っています。

### ～先輩の声～



国際学部3年  
切川 雄太さん  
実習先:カーブアカデミー  
(ドミニカ共和国)  
実習日数:5カ月間

2018年度後期に約5カ月間、広島東洋カーブドミニカベースボールアカデミーへのインターンシップに参加させて頂きました。ドミニカ共和国という治安が悪い、生活が不便というイメージを持たれているかもしれませんが、自身が現地で身の危険や不便を感じたことはありませんのでご安心ください。  
ドミニカの食事はおいしいですし、ドミニカの方々はとても明るく優しいので、毎日とても楽しく生活できました。本インターンシップでは、一生懸命にチャレンジをすることがいかに大切であるかを学びました。自らの行動に目的意識を持ち、本インターンシップが自身にとって有意義だと感じられるものにする事ができました。自身がドミニカ人ブルペン捕手や選手を対象に日本語教室を行ったことはとても誇りに思います。  
本インターンシップについて少しでも興味を持った方には積極的にチャレンジしてほしいです。

私は8月27日から5日間、ヒューマンアカデミー(株)のインターンシップに参加させて頂きました。業務内容は、専門学校を運営している企業だったので生徒さんと一緒に講座を受け、その様子を学校のブログにアップしたり、高校訪問をしたり、開催イベントに参加したりしました。最終日には職員さん達の前で新講座開設のプレゼンをしました。学校以外でプレゼンしたのは初めてだったので、とても貴重な体験であったと同時に、自分が見落としていた視点などをご指摘いただき、とても勉強になりました。  
短い間でしたが、社会人マナーや企業の雰囲気を見ることができ、とても有意義な時間でした。他にも職員さんや生徒さんとお話した中でもたくさん刺激を受けました。また、教師という仕事にしか興味がなかった私に、新しい選択肢を与えてくれた経験となりました。インターンシップは学校では学べないことが学べる場です。ぜひ参加してみてください。



国際学部3年  
眞金 佳穂さん  
実習先:ヒューマン  
アカデミー  
株式会社  
実習日数:5日間



情報科学部3年  
小早川 美紀さん  
実習先:マツダ株式会社  
実習日数:10日間

私はマツダ株式会社のインターンシップに参加しました。マツダのインターンシップでは、最初の5日間は集合研修で座学やグループワークやディスカッションをし、後半の5日間は実務業務として約80テーマの中から希望した業務を配属された部署で実際に行う内容でした。インターンシップでは、その会社の業務内容や雰囲気を知るだけでなく、今後就職してこの社員さん達と一緒に働きたいか?ということも気にして参加してみましよう。また、学校推薦のインターンシップに参加することをお勧めします。社員の人と良好に仕事ができ、なおかつ結果が出せれば、自分の人生においても確実にプラスになります。就職は一つの企業にしかできません。ぜひいろんな企業を見て、自分に合った企業を探してみてください。

※学年は取材当時

### 2018年度の主なインターンシップ実習先

マツダ(株)、(株)エネルギー・コミュニケーションズ、ヒューマンアカデミー(株)、広島法務局、今治市役所、三井住友海上火災保険(株)、(株)中国新聞社、(株)広島情報シンフォニー、(株)ハイエレコン、中国電力(株)、(株)協和エクシオ、(株)コミクリ

## ■ キャリアセンターサポート体制

キャリアセンターでは、次のようなサポートを行っています。

- ◎就職・進路相談
- ◎履歴書・エントリーシートの添削
- ◎求人票・会社説明会(セミナー)の案内
- ◎模擬面接の実施
- ◎就職支援プログラム(ガイダンス)の実施
- ◎就職活動報告書の閲覧
- ◎OBOGの紹介
- ◎就職関係図書の閲覧・貸出

## ■ キャリアアドバイザー

キャリアセンターには2名の経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しています。随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。

## ■ 主なガイダンス・セミナー

### キャリアサポートベーシック

4月	イントロダクション	11月	ビジネスマナー
5月	自己分析・適職診断		履歴書・エントリーシートの書き方
6月	適職診断解説	12月	面接対策
7月	キャリアデザイン	1月	まとめ
10月	就職活動準備 業界・企業研究		

### その他のガイダンス・セミナー

4月	インターンシップ説明会	11月	OBOGの話聞く
6月	保護者対象教育進路説明会	12月	グループディスカッション実習
	インターンシップ事前研修		インターンシップ報告会
7月	「働く」を考える	1月	人事担当者によるセミナー
8~9月	グループディスカッション実習		SPI模擬試験
10月	インターンシップ実習	2月	模擬集団面接・グループディスカッション実習
	進路説明会	3月	合説の歩き方講座
	魅力ある企業の見方・見つけ方		学内合同企業説明会・OBOG交流会
	SPI模擬試験		

■保護者対象教育・進路説明会

広島市立大学では、毎年6月下旬に保護者の方を対象とした「教育・進路説明会」を開催しています。2部制となっており、第1部では全学年の保護者の方を対象に説明会を開催し、第2部では3年生の保護者の方を対象に各学部ごとに分かれて、懇談会を開催します。本学の就職状況や学部ごとの就職先・進学など、卒業後の進路について本学の支援体制を含めて説明を行います。また、キャリアセンターの紹介や外部講師による講演も行っています。

第1部 教育・進路説明会

全学的な取り組みについてご紹介します。

【2018年度実施】

- ◎本学の教育・進路について
- ◎キャリアセンターについて
- ◎講演「就活サポート！保護者の皆さんに知ってほしいこと」



第2部 3年生保護者対象各学部懇談会

各学部別で学部特色の進路や取り組みについてご紹介します。

【2018年度実施】

- ◎学部の教育について
  - ◎学部の進路、就職状況について
- 個別の相談も就職・キャリア担当の教員が対応しています(事前予約制)。



■市大業界ツアー（後援会加入者対象）

●交通費一部補助

インターンシップや会社説明会、選考試験などで遠方に行く場合に、交通費の一部補助を受けることができます。

●大阪バスツアー・東京新幹線ツアー

大阪や東京などで開催される大規模な合同企業説明会に団体で参加します。首都圏に在住している卒業生を招いてOBOG懇親会も行い、就職活動へのアドバイスや首都圏での仕事、社会人生活などについて学生と交流を深めてもらいます。東京新幹線ツアーでは、東京に在住している卒業生を招いてOBOG懇談会を開催しています。卒業生とご飯を食べながら、就職活動のアドバイスや社会人生活について楽しく交流ができます。



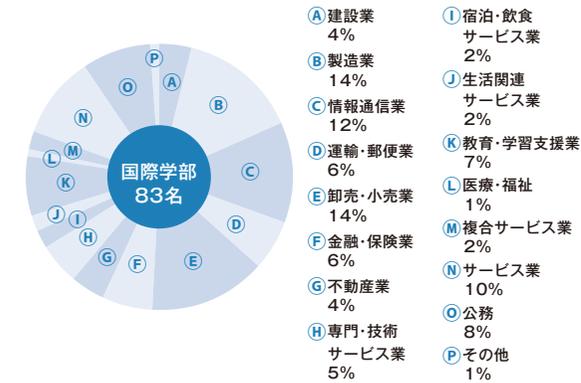
就職データ

2019年3月大学卒業者の学部別就職状況

区分	国際学部	情報科学部	芸術学部	合計
卒業生(名)	95	202	74	371
就職希望者(名)A	84	143	37	264
就職決定者(名)B	83	142	35	260
就職決定率 B/A×100(%)	98.8	99.3	94.6	98.5
(参考)進学者(名)	1	53	19	73

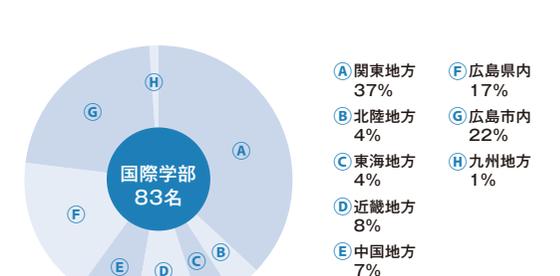
業種別就職状況

国際学部



地域別就職状況

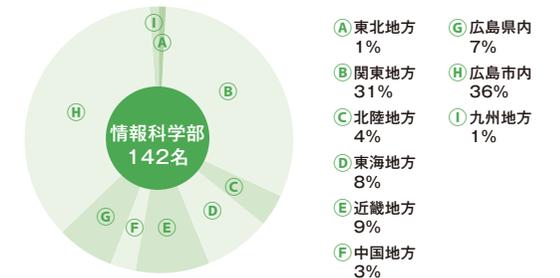
国際学部



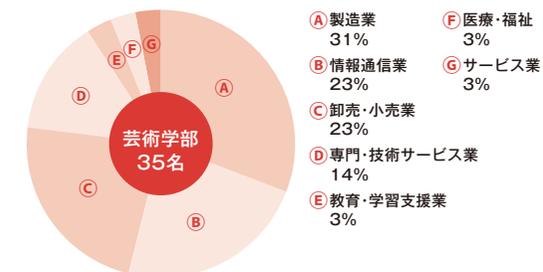
情報科学部



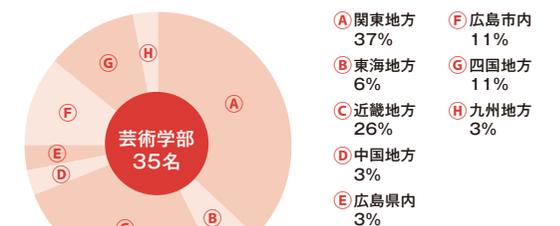
情報科学部



芸術学部



芸術学部



## 就職先・進路

### 国際学部

国際学部卒業生は、国際機関、企業、公務員、教員、国内外の大学院など、幅広い進路で活躍しています。

### 企業に就職

各プログラムから提供される専門科目、そしてそれらを複数のプログラムから選択して学修することにより、専門性と幅広い視野を兼ね備えた国際学部の卒業生は、国内外の数多くの企業で活躍しています。

主な就職先(五十音順)※過去5年間

- |                       |                        |                     |
|-----------------------|------------------------|---------------------|
| ● あいおいニッセイ同和損害保険(株)   | ● 山陽三菱電機販売(株)          | ● (株)ファーストリテイリング    |
| ● アイ・ケイ・ケイ(株)         | ● (株)JTB中国四国           | ● マツダ(株)            |
| ● アイ・ティー・エックス(株)      | ● スズキ(株)               | ● マツダロジスティクス(株)     |
| ● (株)アキュラホーム          | ● 住友商事(株)              | ● (株)みずほフィナンシャルグループ |
| ● アデコ(株)              | ● 住友生命保険(相)            | ● 三井住友海上火災保険(株)     |
| ● (株)アド電通大阪           | ● (株)総合オリコミ社           | ● 明治安田生命保険(相)       |
| ● アトム(株)              | ● 損害保険ジャパン日本興亜(株)      | ● (株)もみじ銀行          |
| ● ANA関西空港(株)          | ● 第一生命保険(株)            | ● (株)やしま            |
| ● (株)穴吹コミュニティ         | ● (株)中電工               | ● (株)山口フィナンシャルグループ  |
| ● アバルトマン(株)           | ● 常石造船(株)              | ● (株)ユーシン           |
| ● (株)アミティー            | ● 東京海上日動火災保険(株)        | ● (株)ゆうちょ銀行         |
| ● (株)アルペン             | ● (株)東京コンサルティングファーム    | ● (株)リョーキ           |
| ● (株)アンフィニ広島          | ● 長沼商事(株)              |                     |
| ● (株)イーオン             | ● 西川ゴム工業(株)            |                     |
| ● イオンモール(株)           | ● 西日本高速道路(株)           |                     |
| ● イオンリテール(株)          | ● 日本航空(株)              |                     |
| ● (株)イシカワ             | ● 日本生命保険(相)            |                     |
| ● (株)石崎本店             | ● 日本郵便(株)              |                     |
| ● (株)インダ              | ● (株)ネクシィーズ            |                     |
| ● (株)イズミ              | ● 東日本旅客鉄道(株)           |                     |
| ● (株)ウッドワン            | ● (株)広島銀行              |                     |
| ● (株)エイチ・アイ・エス(H.I.S) | ● 広島県中小企業共済協同組合        |                     |
| ● (株)鷗州コーポレーション       | ● 広島市農業協同組合(JA広島市)     |                     |
| ● オタフクソース(株)          | ● 広島信用金庫               |                     |
| ● (株)勝矢和裁             | ● 広島テレビ放送(株)           |                     |
| ● (株)合人社計画研究所         | ● 一般社団法人広島平和構築人材育成センター |                     |
| ● 広成建設(株)             | ● 公益財団法人広島平和文化センター     |                     |
| ● 三光電業(株)             | ● (株)広島マツダ             |                     |
| ● 山陽マシ(株)             | ● (株)ヒロテック             |                     |

### 公務員・教員

広島を中心に、公務員や教員として活躍している卒業生を多数輩出しています。

主な進路は、広島県内では

- 広島市 ● 広島市公立学校教員 ● 広島市消防局 ● 廿日市市 ● 東広島市 ● 福山市 ● 三次市 ● 三原市 ● 広島県 ● 広島県警察本部 ● 広島県公立学校教員

また、広島県外では

- 岡山県 ● 倉敷市 ● 岩国市 ● 東京都教員 ● 香川県 ● 警視庁 ● 外務省 ● 厚生労働省 ● 国土交通省 ● 防衛省 ● 法務省

など多岐にわたっています。

### 大学院に進学

より専門的な学修や高度な研究を目指す卒業生は、大学院に進学しています。

博士前期課程を修了した卒業生は、企業、国際機関、教育機関などで活躍しています。

また、博士後期課程に進学して大学教員として活躍している卒業生もいます。

## Voices (卒業生)



Voices  
(卒業生)

特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン

望月 亮一郎 2001年3月 国際学部国際学科 卒業

### 将来につながる学び

私はワールド・ビジョン・ジャパンという国際NGOで働いています。アフリカ地域における新規事業の企画、既存事業の予算管理や進捗のモニタリングを行っています。

国際協力の分野を目指したきっかけは、吉田晴彦教授の国際関係論とゼミでした。広島出身の私は、小さい頃から平和や戦争に関する話題が身近にあり、若干「聞き飽きて」いました。しかし、世界には貧困や差別といった戦争とは異なる形の「平和ではない社会」があることを知り、その背景や原因について大学で学びました。そこで得た知的関心が土台となり、卒業後の進路や現在の仕事に繋がっています。

国際協力の分野が取り組む課題には単純な解決策はありませんが、過去から学び、より良い将来への支援を模索することにやりがいを感じています。



Voices  
(卒業生)

### 興味の裾野を広げ、深められる環境

クイーンズランド大学 人的資源管理学研究科2年

西田 聖也 2017年3月 国際学部国際学科 卒業

現在、僕はオーストラリアのクイーンズランド大学で大学院生として人的資源管理について勉強しています。大学の規模や設備の充実度もさることながら、ブリスベン気候が温暖な上、ほどよいサイズ感で街としての魅力度も抜群です。そんな恵まれた就学環境の下、毎日朝から晩まで課題に追われています。

そんな今の僕のルーツは広島市立大学独自のカリキュラム編成にあります。領域横断的に授業を受講できる独自の体系のおかげで、多分野の授業履修を通して、より関心の高い分野に気付くことができました。現在の専攻のベースである異文化間心理学、国際経営学や第二言語習得論などを広範にわたり並行して勉強できたのも、広島市立大学ならではののではないかと思います。

## 就職先・進路

### 情報科学部

情報科学部卒業後は、大きく分けて2つの進路があります。会社員、公務員、教員として社会に巣立つコースと、さらに専門知識・技術を磨くため大学院に進学するコースです。

### 企業に就職

今、最も注目されている情報分野の知識や技術を修得した情報科学部の学生は、卒業後、情報通信、ソフトウェア、情報機器製造、コンピュータなど、時代の最先端の企業で活躍しています。これまで、次のような企業に就職しています。

主な就職先(五十音順)※過去5年間

- (株)アイ・エル・シー
- (株)アイティシステム
- アイリスオーヤマ(株)
- (株)アウトソーシングテクノロジー
- (株)アスパーク
- アットホーム(株)
- (株)アテック
- (株)アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン
- (株)アルトナー
- (株)アルプス技研
- イオンリテール(株)
- インターネットウェア(株)
- (株)インフォコム西日本
- (株)エディオ
- NECソリューションイノベータ(株)
- NSウエスト(株)
- (株)エヌ・ティ・ティ・データ中国
- (株)エヌ・ティ・ティ・データオメガ
- (株)NTTフィールドテクノ
- (株)エネルギー・コミュニケーションズ
- (株)NTTデータMHIシステムズ
- (株)鷗州コーポレーション
- 海洋電子工業(株)
- (株)九動
- (株)熊平製作所
- 呉信用金庫
- (株)呉電子計算センター
- (株)経営管理センター
- (株)コア
- (株)コトボキソリューション
- (株)サタケ
- 佐竹電機(株)
- (株)サン・テクトロ
- (株)サンネット
- (株)ジェイ・エム・エス
- (株)システナ
- (株)システムワン
- 新川電機(株)
- (株)新星工業社
- (株)ソルコム
- (株)ダイセック
- 中外テクノス(株)
- 中国電力(株)
- (株)中電工
- (株)テクノクラーツ
- (株)テクノプロ (テクノプロ・IT社)
- (株)テクノプロジェクト
- 東海旅客鉄道(株)(JR東海)
- (株)ドコモCS中国
- (株)トラスト・テック
- (株)ドリーム・アーツ
- (株)ドリームオンライン
- 西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)
- 西日本電信電話(株)(NTT西日本)
- 日本アイピーエム中国ソリューション(株)
- 日本アイ・ピー・エム共同ソリューション・サービス(株)
- (株)ハイエレコン
- (株)ハイマックス
- (株)日立インフォメーションエンジニアリング
- (株)日立ソリューションズ西日本
- (株)広島銀行
- 広島信用金庫
- 富士ソフト(株)
- (株)マイティネット
- マツダ(株)
- (株)マツダE&T
- マツダエース(株)
- (株)ミウラ
- (株)メイテック
- (株)両備システムズ

### 公務員・教員

一般企業のほか、公務員や教員として活躍している卒業生もいます。

これまでの主な進路は、

- 広島市 ●広島市公立学校教員 ●広島県 ●広島県警察本部 ●大阪府警察本部 ●警察庁中国管区警察局
  - 国土交通省中国地方整備局 ●財務省造幣局 ●防衛省海上自衛隊 ●防衛省航空自衛隊 ●東京消防庁 ●神奈川県教員
- などです。

### 大学院に進学

情報科学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が本学の大学院に進学しています。また、他大学の大学院に進学する学生もいます。

これまで、

- 筑波大学 ●東京工業大学 ●電気通信大学 ●長岡科学技術大学 ●静岡大学 ●名古屋大学 ●北陸先端科学技術大学院大学
  - 奈良先端科学技術大学院大学 ●京都大学 ●神戸大学 ●広島大学 ●九州大学
- などの大学院に進学しています。

## Voices (卒業生)



Voices (卒業生)

### 「なぜ?」を探求する姿勢を身につけられる環境

#### KDDI総合研究所

#### 南 雄也

2016年3月 情報科学研究科(博士前期課程)  
情報工学専攻 修了

私はさまざまなモノにモバイルネットワーク通信機能を持たせ、新しい製品や製品技術やサービスを開発する研究開発業務を担当しています。大学時代はモバイル端末のみでネットワークを構築するシステムの研究をしており、その経験が現在の業務に生かされています。普段の研究業務の他に、海外での標準化活動にも参加しており、海外の通信事業者の人と共に仕事をしています。同じ通信事業者でも、国ごとの文化や慣習の違いから目指す姿や目標が異なります。互いの異なる意見をまとめるためには、「なぜ?」を探求し、次の「なぜ?」をさらに探求し続けることで、互いに理解し合うことが必要です。「なぜ?」を探求する姿勢は研究開発においても基礎であり、その姿勢を身に付ける環境が広島市立大学にあると考えています。

### できなかったことができるようになる、「情報」を学ぶ意義

#### ノートルダム清心中・高等学校 情報科 教諭 多田野 司

2018年3月 情報科学研究科(博士前期課程)  
知能工学専攻 修了

在学中は、学部・修士での幅広い分野の情報に関する講義、複数人で取り組んだ演習、実験、研究、学会…それらがきっかけで興味を持ち、趣味にまで発展したことなど、たくさんの事を学び、経験することができました。また、さまざまな価値観や考え方を持つ人たちと出会い、コミュニケーションをとることで、人としても大きく成長できた6年間でした。

「10年もすれば、学ぶべき内容が大きく変わっている。それが情報という教科・学問。」教職課程の講義で拝聴した言葉です。現在、情報科教員として働く私の信念になっています。

今までできなかったことができるようになる、全く予想ができなかった未来が見えてくる、そんな「情報」の持つ魅力を伝えられるよう、日々の授業に取り組んでいます。



Voices (卒業生)

## 就職先・進路

### 芸術学部

芸術学部で修得した知識と技術を生かして、さまざまなクリエイティブの現場で活躍しています。また、さらなる表現を追究し、進学、留学、そしてアーティストへ。

### ➡ 創作活動・美術教育

作家やクリエイターを目指して、多くの者が卒業後も作品制作に励んでいます。

その活躍は、国内の公募展や国際的コンペティションなどで数多くの入賞実績を数え、多方面のメディアに取り上げられています。

個展やグループ展を開催するなど活躍の場を広げたり、新たな創作環境を求め海外に活躍の場を展開する卒業生もいます。

また、広島市公立学校教員、広島県公立学校教員をはじめ、大学、専門学校、高等学校、中学校などの教育現場で美術指導を行う教員となる卒業生も数多くいます。

### ➡ 企業に就職

ものを創り、その意味を伝える。芸術学部で培ったスキルと感性は、“今”という時代だからこそ、さまざまな業種で求められています。自分の力を示す、あらゆる可能性がそこにはあります。

主な就職先(五十音順)※過去5年間

- |                    |                                |                  |
|--------------------|--------------------------------|------------------|
| ●アート印刷(株)          | ●(株)キリン堂                       | ●(株)シナジー         |
| ●(株)アイ・エム・シーユナイテッド | ●(株)gumi                       | ●(南)島津漆彩色工房      |
| ●(株)アイ・エム・ジェイ      | ●(株)グランドデザイン                   | ●(株)しまむら         |
| ●(株)アイガー           | ●(株)呉信用金庫                      | ●(株)ジュン          |
| ●(南)アイル            | ●(株)クロステレビジョン                  | ●(株)瞬報社写真印刷(株)   |
| ●(株)アウトソーシングテクノロジー | ●(株)桑原モーターズ                    | ●(株)スタジオワイエス     |
| ●安芸宣興(株)           | ●(株)ケア21                       | ●(株)スパイラルデザイン(株) |
| ●朝日スチール工業(株)       | ●(株)ケイ・ウノ                      | ●(株)大昌工芸(株)      |
| ●(株)アデリー           | ●(株)KG情報                       | ●(株)フィル・エ・クチャーレ  |
| ●(株)尼子建設           | ●(株)ケイテック                      | ●(南)ほっと広告        |
| ●一広(株)             | ●(株)ゴジョウ                       | ●(株)ポップジャパン      |
| ●(株)井戸             | ●(株)コスモス薬品                     | ●(株)やしま          |
| ●(株)イワタ木工          | ●(株)コスモネット                     |                  |
| ●(株)インターロジック       | ●(株)コネクシオ(株)                   |                  |
| ●(株)インフロント         | ●(南)小峰玩具製作所                    |                  |
| ●(株)ウィークス          | ●(株)コロブラ                       |                  |
| ●(株)Wext           | ●(株)彩高堂                        |                  |
| ●(株)ウエル・ユーカー(株)    | ●(株)サクセス                       |                  |
| ●(株)絵広             | ●(株)ザメディアジョン                   |                  |
| ●(株)エコスタイル         | ●(株)ザラ・ジャパン                    |                  |
| ●(株)エディオン          | ●(株)三共ディスプレイ(株)                |                  |
| ●(株)戎屋化学工業(株)      | ●(株)ジーク(株)                     |                  |
| ●(株)オガワ            | ●(株)Gクリエイション                   |                  |
| ●(株)尾崎行欧デザイン事務所    | ●(南)シーピーシー                     |                  |
| ●(株)オンワード樞山        | ●(株)ジェイ・エム・エス                  |                  |
| ●(株)俄              | ●(株)ジェイアールサービスネット広島            |                  |
| ●(株)カブコン           | ●(株)A・I・Cマネジメント シェラトングランドホテル広島 |                  |
| ●(株)京都科学           | ●(株)シグマ                        |                  |
| ●(株)京ろまん           | ●(株)七福タオル(株)                   |                  |

### ➡ 大学院に進学

芸術学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が、自己の表現を追究し、探究するために本学の大学院に進学しています。

また、各々の専門性を高めるため、国内や海外の大学の大学院に進学する学生もいます。

大学院を修了した卒業生たちは、作家、クリエイターやデザイナー、キュレーターなどになり、表現活動を続けています。

## Voices (卒業生)

### 夢をアップデートする

#### 作家

#### 井原 信次

2010年3月 芸術学部美術学科 油絵専攻 卒業

広島市立大学を卒業して、もうすぐ10年が経ちます。現在は、大学で学んだことを生かしアーティスト活動を継続しています。主な仕事は、作品を制作しそれらを国内外の展覧会で発表することです。自己表現を通して社会の中で私たち芸術家に何ができるのか、日々模索しています。



Photo by Daiki Oguchi

中学生時代に絵画の修復師になりたいと夢を持ち、そのために大学では、デッサンや油絵の基礎、西洋美術の歴史や伝統的な技法・材料について多くのことを学びました。また、版画や彫塑実習、イタリア古美術研修、教員免許取得など学内外での実習や交流を通じて、知識を深め視野を広げることができました。そうした中で社会における芸術の役割などを知り、作家になりたいと新しい夢を持ちました。今思えば、同じように夢を志す仲間や私たちに優しく見守り支えてくださった先生方、そして家族の存在の大きさに気付かされます。私はそんなかけがえない大学生生活を広島市立大学で送ることができました。

### 味わうための伝え方

#### UMA/design farm

#### 平川 かな江

2016年3月 芸術学部デザイン工芸学科視覚造形 卒業

現在、大阪のデザイン事務所でグラフィックデザインを中心とした仕事をしています。仕事の内容は、本やポスターなどの印刷物だけでなく、ブランディングや建築サインなど多岐にわたります。関わる仕事は面白いことに年々地域を超えて日本各地に広がっていて、まるで旅をしている様です。日々新鮮な気持ちで知識を吸収できる素敵な仕事です。

大学では作品を作って提案するシンプルな課題サイクルがあるわけではなく、入学してすぐに「考え方をを見つける」課題があったことが鍵だったような気がします。

表現したいことをどのように構築するのかを考える自分なりのプロセスを大学で見つけられたことで、どんなプロジェクトでも大事な芯をつかむことができるようになりました。

### Voices (卒業生)



## ウェブサイト紹介

### ◎トップページ

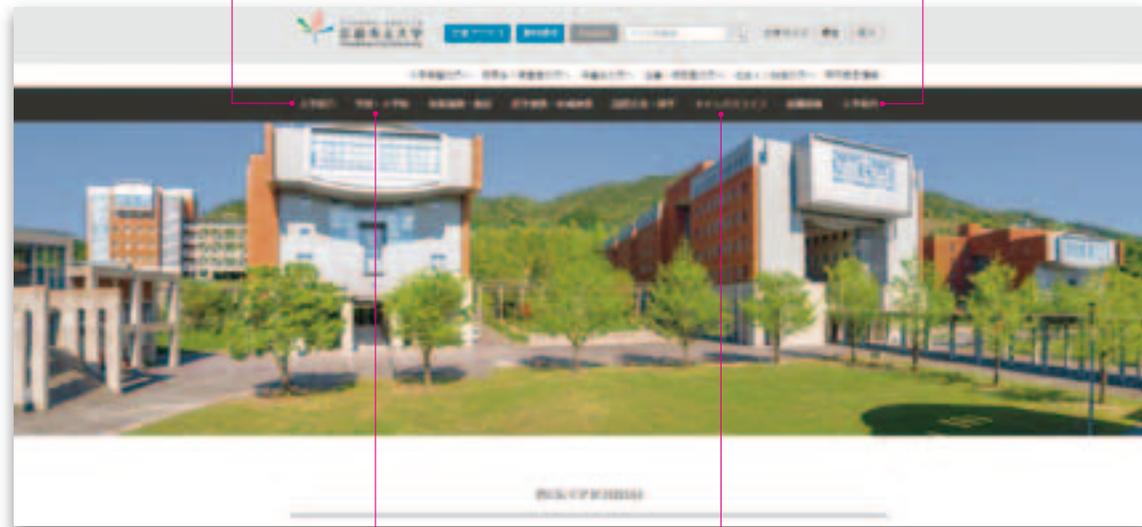
本学に関する最新の情報を見ることができます。ウェブサイトは、随時更新しています。

#### 大学紹介

大学の概要や基礎データ、広報に関する情報などを掲載しています。本学の学生や卒業生を紹介する「Voices」では、ログインインタビューを掲載。ウェブサイトならではの情報が満載です。

#### 入学案内

入試やオープンキャンパス情報など、入学に関する大事な情報を随時掲載しています。まずはこちらをご覧ください。



#### 学部・大学院

大学の学部・学科の特色やカリキュラムなどについて詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

#### キャンパスライフ

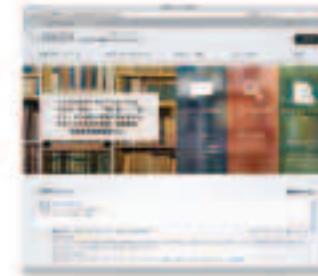
クラブ・サークル、奨学金など、大学生活について詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

プルダウンメニュー機能で、ラクラク検索。



### ◎関連サイト

#### 幅広い教養を身に付ける 「いちだい知のトライアスロン」



いちだい知のトライアスロンとは、学生が作品を鑑賞し、その感想をウェブシステムにより記録し、推薦コメント(または講義レポート)を提出するという流れで進みます。学生に「知る」・「考える」・「伝える」力と幅広い教養を身に付けさせることを目指す読書、映画鑑賞、美術鑑賞推進事業です。



#### 学びを深める 「学部オリジナルサイト」



国際学部オリジナルサイト



情報科学部オリジナルサイト



#### 在学生の声で伝える 「大学紹介ビデオ」



丁寧に、一人ひとりを大切に、社会との関わりの中で学生を育てます。学生たちの声を中心に、広島市立大学での学びや魅力をお伝えします。



#### 本学の情報を発信する「LINE」



広島市立大学のイベント情報や入試情報などのお知らせを幅広く発信しています。LINEを利用されている方は、「友だち登録」をしてみてください。

公式アカウント名 @hiroshima-cu



# 入試情報

## 募集人員

学 部	学科・専攻	入学定員	募集人員					
			一般入試		特別入試			
			前期日程	後期日程	推薦入試 市内公募	推薦入試 全国公募	自己推薦 入試	外国人留学生入試 ※(注2)参照
国際学部	国際学科	100	60	20	10	10	—	若干名
情報科学部 ※(注1)参照	情報工学科	210	130	40	20	20	—	若干名
	知能工学科							
	システム工学科							
	医用情報科学科							
芸術学部	美術学科	日本画専攻	10	—	10	—	—	若干名
		油絵専攻	20	20	—	—	若干名	
	彫刻専攻	10	—	7	—	3	若干名	
	デザイン工芸学科	彫刻専攻	10	—	7	—	3	若干名
		デザイン工芸学科	40	30	10	—	—	若干名

注1) 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属(情報工学科・知能工学科・システム工学科定員各60名、医用情報科学科定員30名)は本人の希望および1年次の成績により、2年次進級時に行います。  
注2) 外国人留学生入試の募集人員「若干名」は、一般入試の募集人員に含まれます。

## 試験日程

	出願期間	個別学力検査等期日	合格発表
推薦入試 (国際学部・情報科学部のみ)	2019年11月1日(金)～11月7日(木)	2019年11月23日(土・祝)	2019年12月4日(水)
自己推薦入試 (芸術学部 美術学科 彫刻専攻のみ)	2019年10月24日(木)～11月1日(金)	2019年11月23日(土・祝)	2019年12月4日(水)
一般入試前期日程	2020年1月27日(月)～2月5日(水)	2020年2月25日(火) (芸術学部は下表の日程)	2020年3月7日(土)
一般入試後期日程		2020年3月12日(木) (芸術学部は下表の日程)	2020年3月21日(土)

学科・専攻	日程区分	個別学力検査等の日程
美術学科	日本画専攻	後期日程 2020年3月12日(木)～3月15日(日) 4日間
	油絵専攻	前期日程 2020年2月25日(火)～2月28日(金) 4日間
	彫刻専攻	後期日程 2020年3月14日(土)～3月15日(日) 2日間
デザイン工芸学科	前期日程	2020年2月25日(火)～2月26日(水) 2日間
	後期日程	2020年3月14日(土) 1日

(注) 外国人留学生入試の日程は、国際学部、情報科学部、芸術学部美術学科油絵専攻およびデザイン工芸学科については、一般入試前期日程と同じです。芸術学部美術学科日本画専攻および美術学科彫刻専攻については、一般入試の後期日程と同じです。

## 入学科・授業料

●入学科(入学手続時に支払い) 広島市内の者 282,000円 左記以外の者 423,000円

●授業料(4月と10月に半期分を支払い) 年額 535,800円

※金額は、2019年4月現在のものです。料金改定が行われた場合には、改定後の料金が適用されます。

## 入試の実施状況 (2019年度)

学 部	学科・専攻	試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率	
国際学部	国際学科	推薦入試(市内公募)	10	18	18	10	1.8	
		推薦入試(全国公募)	10	45	45	17	2.6	
		前期日程	60	144	140	69	2.0	
		後期日程	20	140	73	20	3.7	
		外国人留学生入試	若干名	29	20	8	2.5	
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科	推薦入試(市内公募)	20	42	42	25	1.7	
		推薦入試(全国公募)	20	52	52	21	2.5	
		前期日程	130	437	398	163	2.4	
		後期日程	40	517	197	54	3.6	
		外国人留学生入試	若干名	15	9	4	2.3	
芸術学部	美術学科	日本画専攻	後期日程	10	40	33	14	2.4
		油絵専攻	前期日程	20	56	54	26	2.1
		彫刻専攻	自己推薦入試	3	9	9	4	2.3
	デザイン工芸学科	後期日程	7	23	17	10	1.7	
		前期日程	30	112	110	34	3.2	
		後期日程	10	139	72	11	6.5	
		※各学科・専攻	外国人留学生入試	若干名	0	—	—	—

## 試験教科等

### 一般入試

学部・学科・専攻	学力検査等区分	大学入試センター試験の利用教科等	個別学力検査等
国際学部 国際学科	前 期	「国」「地歴または公民」「数」 「理(基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1)」から2と「外」	小論文
	後 期	[3教科3科目または3教科4科目]	総合問題
情報科学部 情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科	前 期	「国」「数(2科目)」 「理(物、化、生から1)」 「外」 [4教科5科目]	数学 外国語(英語) 理科 (物理または化学)
	後 期	「数(2科目)」「理(物)」「外国語(英語)」 [3教科4科目]	数学
芸術学部 美術学科	日本画専攻	後 期	実技検査
	油絵専攻	前 期	「地歴」「公民」「数」 「理(基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1)」から1と「国」「外」
	彫刻専攻	後 期	実技検査
	デザイン工芸学科	前 期	[3教科3科目または3教科4科目]
後 期			実技検査

注) 詳細および推薦入試、自己推薦入試、外国人留学生入試については、学生募集要項で確認してください。

## 学生募集要項の請求方法

自己推薦入試学生募集要項は2019年7月下旬に、推薦入試学生募集要項は2019年9月上旬に、一般入試学生募集要項および外国人留学生入試学生募集要項は、2019年11月下旬に公表する予定です。

### 1 テレメールを利用して請求

スマートフォン・携帯電話で右のQRコードを読み取り、テレメールにアクセスしてください。



### 2 大学情報センターの「モバっちょ」を利用して請求

スマートフォン・携帯電話で右のQRコードを読み取り、モバっちょにアクセスしてください。



◎その他の請求方法については、本学ウェブサイトの「資料請求」をご覧ください。

# 大学基礎データ

## 沿革

- 1989年11月 広島市立大学(仮称)設立準備委員会の設置
- 1991年7月 「広島市立大学(仮称)基本構想」策定
- 1992年11月 校舎建設工事起工式
- 1993年12月 文部省設置認可
- 1994年4月 開学
- 1996年10月 講堂完成
- 1998年4月 大学院博士前期課程開設、広島平和研究所を設置
- 2000年3月 情報科学部棟別館完成
- 2000年4月 大学院博士後期課程開設
- 2003年3月 大学院芸術学研究科博士後期課程で最初の博士学位授与
- 2007年7月 社会連携センターを設置
- 2010年4月 「広島市」から「公立大学法人広島市立大学」に設置者変更
- 2013年4月 国際交流推進センターを設置
- 2013年10月 サテライトキャンパスを開設
- 2014年4月 キャリアセンターを設置
- 2016年10月 COC+宮島教育研究施設(サテライトハウス宮島)を開設
- 2018年4月 国際学生寮「さくら」を開寮
- 2019年4月 大学院平和学研究科修士課程開設



## 教職員・学生数 ※2019年5月1日時点

### 教員数

区分等	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	特任教員	計
学長・副学長	1	2						3
国際学部			19 (4)	19 (3)	6 (1)			44 (8)
情報科学部			25	33	20	18	1	97
芸術学部			14 (1)	8	5	3		30 (1)
広島平和研究所			7 (2)	6 (3)			2	15 (5)
企画室							2	2
社会連携センター							7	7
国際交流推進センター							1	1
合計	1	2	65 (7)	66 (6)	31 (1)	21	13	199 (14)

区分等	教員からの兼務	教員以外からの兼務	計	※2019年5月1日現在 学校基本調査 特任教員を含む カッコ内の数字は外国人教員数で内数
非常勤講師				
計	78	138	216 (23)	

### 職員数

区分等	職員	嘱託	臨時職員
事務局	49	32	14
社会連携センター	5	2	0
国際交流推進センター	2	1	2
合計	56	35	16

### 非常勤特任教員数

区分等	非常勤特任教員
事務局	2

※職員 … 2019年5月1日現在 学校基本調査、育休中の者および特任職員を含む  
 嘱託 … 2019年5月1日現在  
 臨時職員 … 2019年5月1日現在 7時間45分勤務の者のみ

### 学部生数

学部	学 科	総定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
国際学部	国際学科	400	111	110	108	158	487
情報科学部	(学部所属)		232	1			233
	情報工学科	240		86	70	54	210
	知能工学科	240		67	68	70	205
	システム工学科	240		69	69	63	201
	医用情報科学科	120		41	38	24	103
	計	840	232	264	245	211	952
芸術学部	美術学科	160	48	41	43	46	178
	デザイン工芸学科	160	44	44	45	46	179
	計	320	92	85	88	92	357
合計		1,560	435	459	441	461	1,796

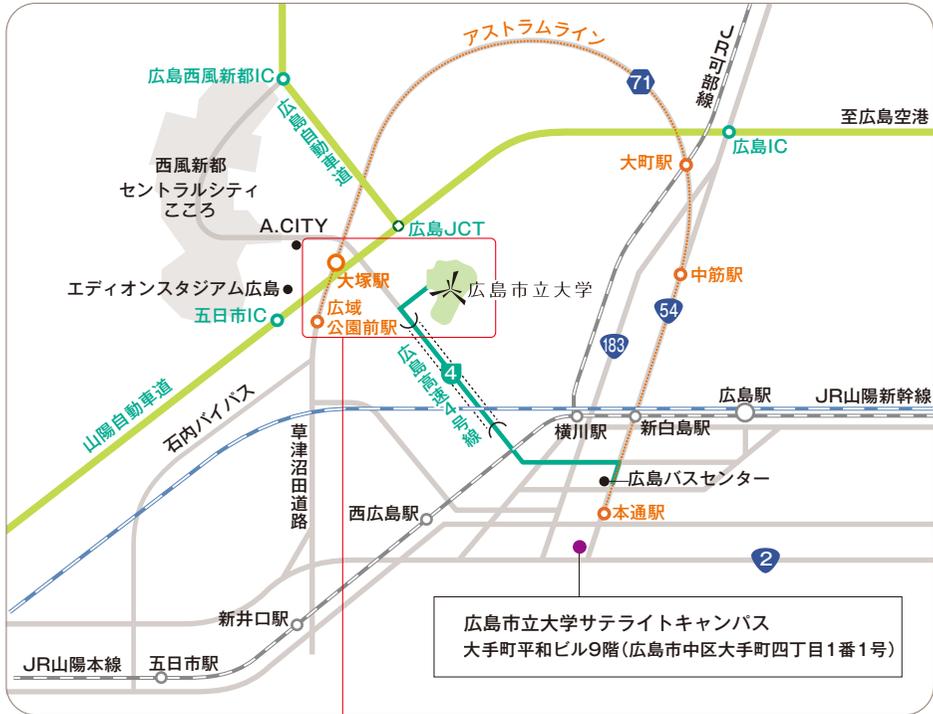
### イ 大学院生数

研究科	専攻	総定員	1年次	2年次	3年次	計
国際学研究科	前期	30	6	9		15
	後期	21	1	1	5	7
	計	51	7	10	5	22
情報科学研究科	前期	168	59	65		124
	後期	84		5	5	10
	計	252	59	70	5	134
芸術学研究科	前期	60	26	22		48
	後期	18	6	4	10	20
	計	78	32	26	10	68
平和学研究科	修士	20	2			2
計	修士・前期	278	93	96		189
	後期	123	7	10	20	37
	合計	401	100	106	20	226

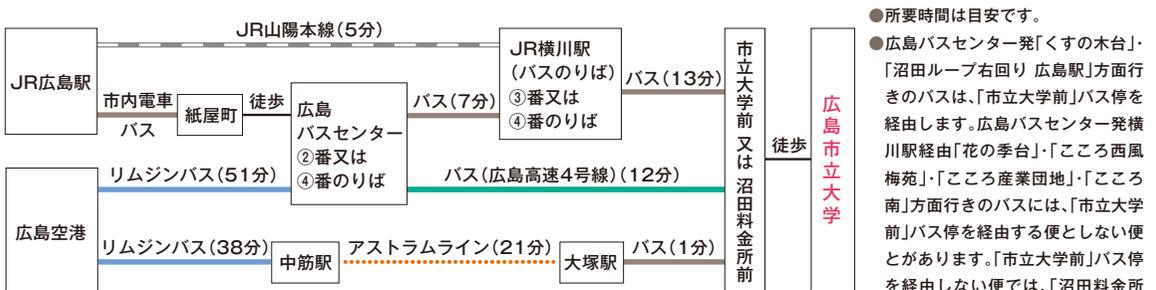
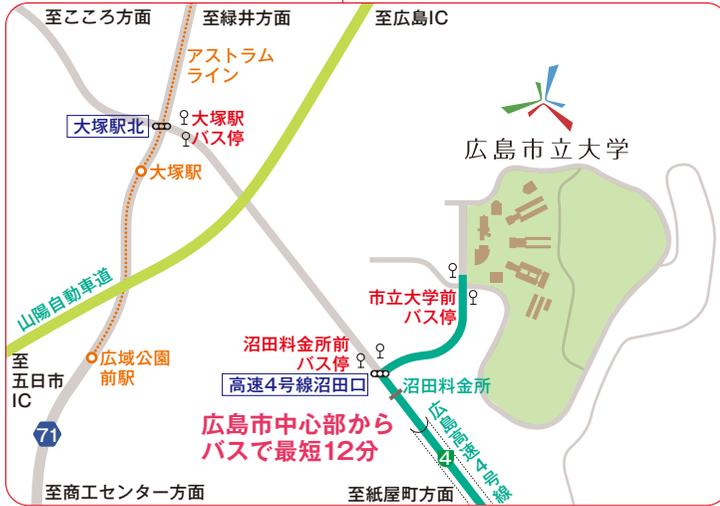
区 分	人 数	摘 要
外国人研究生	17	中国17
科目等履修生	6	中国2
特別聴講生	24	中国6、ドイツ8、韓国5、フランス4、カナダ1
外国人留学生	68	中国52、台湾1、ベトナム7、韓国6、フランス1、ガーナ1

# アクセスマップ

広域マップ



大学周辺図



※「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。